

日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事

建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
A-0	表紙・図面リスト	A-19	改修仕上表	E-1	電気設備工事特記仕様書(1)	M-1	機械設備工事特記仕様書(1)
A-1	特記仕様書(1)	A-20	改修平面図	E-2	電気設備工事特記仕様書(2)	M-2	機械設備工事特記仕様書(2)
A-2	特記仕様書(2)	A-21	改修立面図 (南・西)	E-3	改修-外構設備 既存図	M-3	改修前空調機器撤去平面図
A-3	配置図・付近見取図	A-22	改修立面図 (北・東)	E-4	改修-強電盤姿図	M-4	改修後空調設備平面図
A-4	既存仕上表	A-23	改修矩計詳細図	E-5	撤去-動力設備	M-5	換気設備機器表
A-5	既存平面図	A-24	撤去平面詳細図	E-6	既存-照明器具姿図	M-6	改修前換気設備撤去平面図
A-6	既存立面図 (南・西)	A-25	改修平面詳細図	E-7	撤去-電灯設備	M-7	改修後換気設備平面図
A-7	既存立面図 (北・東)	A-26	撤去天井伏図	E-8	撤去-コンセント設備	M-8	改修前衛生設備撤去平面図
A-8	既存天井伏図	A-27	改修天井伏図	E-9	撤去-弱電設備	M-9	改修後衛生設備平面図
A-9	既存矩計詳細図	A-28	改修軒天伏図	E-10	既存-弱電盤姿図	M-9-2	空調設備機器表
A-10	既存平面詳細図	A-29	改修展開図	E-11	改修-動力設備		
A-11	既存展開図1	A-30	改修建具表	E-12	改修-電灯設備		
A-12	既存展開図2	A-31	改修彩画詳細図1	E-13	改修-コンセント・防災設備図		
A-13	既存建具表1	A-32	改修彩画詳細図2	E-14	改修-弱電設備		
A-14	既存建具表2	A-33	改修家具図1				
A-15	既存彩画詳細図1	A-34	改修家具図2				
A-16	既存彩画詳細図2	A-35	改修家具図3				
A-17	既存RF梁・床伏図・断面リスト	A-36	改修家具図4				
A-18	既存軸組図						

		1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 0
		DATE R8.4	CHIEF	DRAW	S 表紙・図面リスト	DRAWING NO

建築改修工事仕様書

I. 工 事 概 要

- | | | | |
|------------|-------------------------|-----------------|--|
| 1. 工 事 場 所 | 東伯郡琴浦町別所地内 | | |
| 2. 敷 地 面 積 | 7,053.00 m ² | | |
| 3. 地 域 地 区 | 都市計画地域 (○内 ・外) | 市街化調整区域 (・内 ・外) | |
| 4. 建 物 概 要 | 用途地域 (指定なし) | 防火地域 (指定なし) | |

[illegible]

Ⅱ. 建築改修工事仕様

- ## 1. 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
- (2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意する。
- (3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- ## 2. 特記仕様
- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
- (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と◎印のついた場合は共に適用する。
- (3) 項目に記載〔 〕の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（ ）の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- ☐ 判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
- (5) 関係法令（条例を含む）の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。
- (6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

章	項 目	特 記 事 項
① 一般共通事項	① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（令和 7 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という） ※ 建築改修工事監理指針（令和 7 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ※ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成 3 0 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 建築物解体工事標準仕様書（令和 5 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 建築工事監理指針（令和 7 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	② 官公庁その他への手続 [1. 1. 3]	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	③ 電気保安技術者 [1. 3. 3]	担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	④ 工事安全計画書 [1. 3. 7]	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤ 発生材の処理等 [1. 3. 12]	・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・ P C B 含有シーリング材の調査・処理 ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。

環境への配慮
[1. 4. 1]

⑦ 材料の品質等
[1. 4. 2]

採取箇所 ※図示

採取箇所数 計 箇所

・ 第二次判定

専門分析機関にて PCB 含有量の分析を行う。

分析箇所 計 箇所

・ 除去処理工事

除去範囲 ※図示

・ せっこうボードの処理

石綿含有せっこうボード 改修特記仕様書第 9 章による

・ ひ素・カドミニウム含有せっこうボード

・ 製造業者に回収委託

・ 埋立処分（管理型最終処分場）

処分施設の名称・所在地（ ）

○ 石綿含有、ひ素・カドミニウム含有以外のせっこうボード

・ 再資源化（再資源化施設）

○ 最終処分（管理型最終処分場）

処分施設の名称・所在地（ ）

化学物質を放散させる建築材料等

1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上り塗材は、アセトアルデヒド及びブスチレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを放散しないが、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。

2) ホルムアルデヒド放散量の区分において、規制対象外とは次の①又は②に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放散建築材料以外 の材料

② 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(3) ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

国等による環境物品等の関連の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の関連の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（資材（材料及び機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。）に留意する

材料・機材等の品質及び性能

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承認を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等）を監督員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の手紙を受けた場合はこの限りではない。

- ① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。
- ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。
- ③ 安定的な供給が可能である。
- ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。
- ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。
- ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。

5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型枠用鋼製デッキプレート	現場発泡断熱材
鉄骨柱下無収縮モルタル	フリーアクセスフロア
無収縮グラウト材	可動間仕切
乾式保護材	移動間仕切
既調合モルタル	トイレブース
ルーフドレン	煙突用成形ライニング材
吸水調整材	天井点検口
錠前類	床点検口
クローザ類	グレーチング
自動扉機構	屋上緑化システム
自閉式上吊り引戸機構	トップライト
重量シャッター	ポリマーセメントモルタル
軽量シャッター	既調合目地材
オーバーヘッドドア	鋳鉄製ふた
防水剤	

⑧

石綿含有建材の調査

[1.5.1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う
貸与資料（ ）

- ・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

材料名	分析方法（定性）	分析方法（定量）
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと
 サンプル数 1箇所あたり3サンプル
 採取箇所 ・ 図示

施工数量調査
[1. 6. 2]

調査範囲 ※外壁（庇、笠木等） ・ 屋根 ・ 図示

調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・ 図示

外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う

屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。

また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に２部提出する（必要に応じて写真等を添付する。）

調査のための破壊部
の補修
[1. 6. 3]

補修方法 ※ 図示

11

技能士
[1. 7. 2]

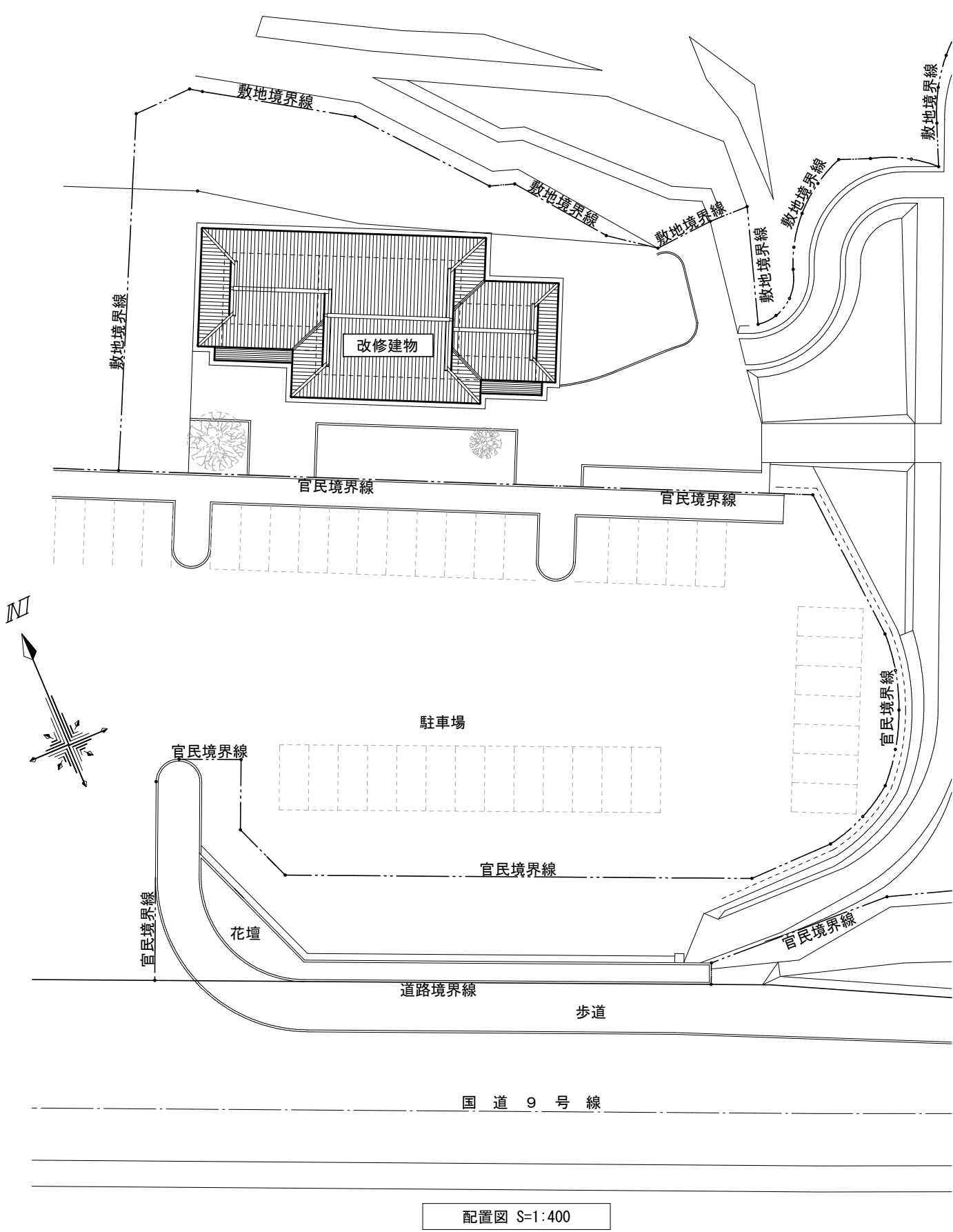
下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う

(技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者)

また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用する

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・ とび作業
防水改修工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートローテ工法防水工事作業 ・ F R P 防水工事作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・ 樹脂接着剤注入工事作業
	左官	○ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業
建具改修工事	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
	建具製作	・ 木製建具加工作業
	ガラス用フィルム施工	・ 建築フィルム作業
内装改修工事	建築大工	・ 大工工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
	内装仕上施工	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋼製下地工事作業 ○ プラスチック系床仕上工事作業 ・ カーベット系床仕上作業 （２級及びプラスチック系仕上げ工事作業を含む） ・ ボード仕上げ工事作業
	表装	○ 壁装作業
	左官	・ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業
塗装改修工事	塗装	○ 建築塗装作業
耐震改修工事	とび	・ とび作業
	鉄筋施工	・ 鉄筋組立作業
	型枠施工	・ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
	鉄工	・ 構造物鉄工作業
環境配慮改修工事	配管	・ 建築配管作業
	路面表示施工	・ 溶解ペイントマーカール工事作業
	造園	・ 造園工事作業

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室		承認	管理技術者	担当	作図	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 1
DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷	KANNON TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	安谷	安谷	安谷	安谷	S 特記仕様書 (1) 1:1	DRAWING NO



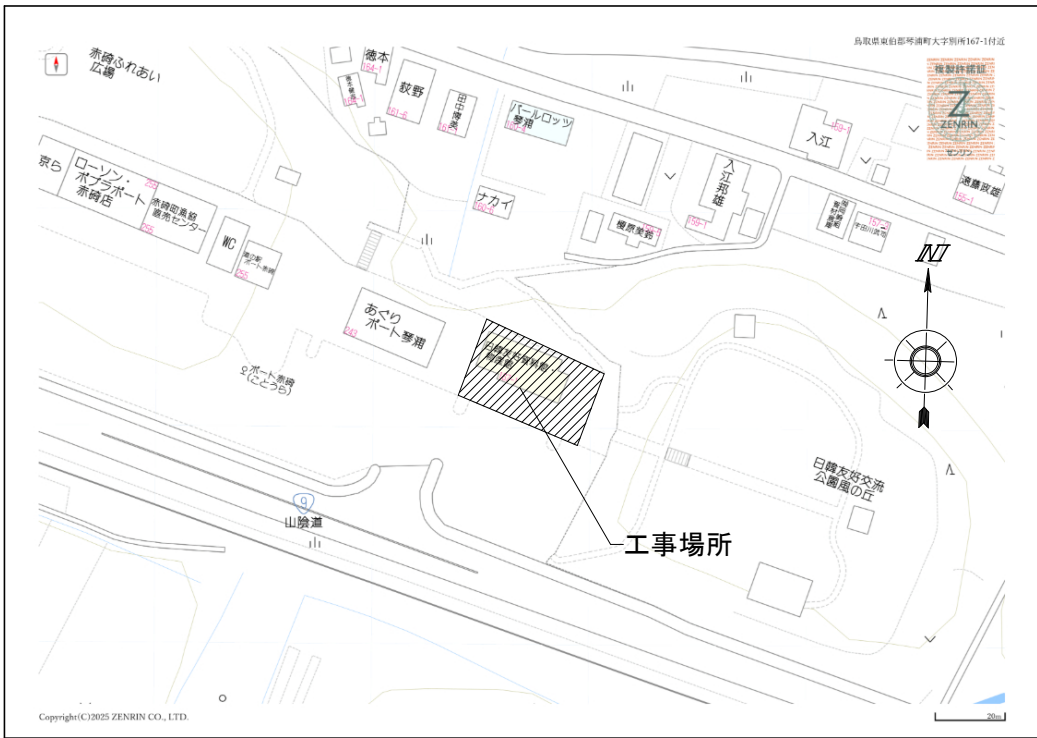
工事概要・備考	日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事をする。
	工事内容については別図参照のこと。
	工事について、現地調査のこと。
	工事は、近隣等に支障がないよう関係者と十分な打合せをし留意の事。
	必要に応じてアスベスト調査をし、監督員と協議すること。
	情勢の変化に応じて、工期及び単価について別途協議をする。

概略工事工程表(参考)

※この工程は概略であり、監督員と十分に協議の上、実施工程表を作成し承認を得て行う事。

	1ヶ月			2ヶ月			3ヶ月			4ヶ月			5ヶ月		
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
改修工事	準備・仮設工事			補修・改修工事			補修・改修工事			仕上げ・外構			書類作成完了		
				解体工事											

面 積 表					1階	230. 25㎡	16. 43㎡	246. 68㎡	
敷 地 面 積	7, 463. 00㎡				床面積	合計	230. 25㎡	16. 43㎡	246. 68㎡
	資料館・物産館	待風軒・友情の鐘	合 計	建 ぺ い 率					4. 72%
建 築 面 積	323. 07㎡	29. 35㎡	352. 42㎡	容 積 率					3. 31%



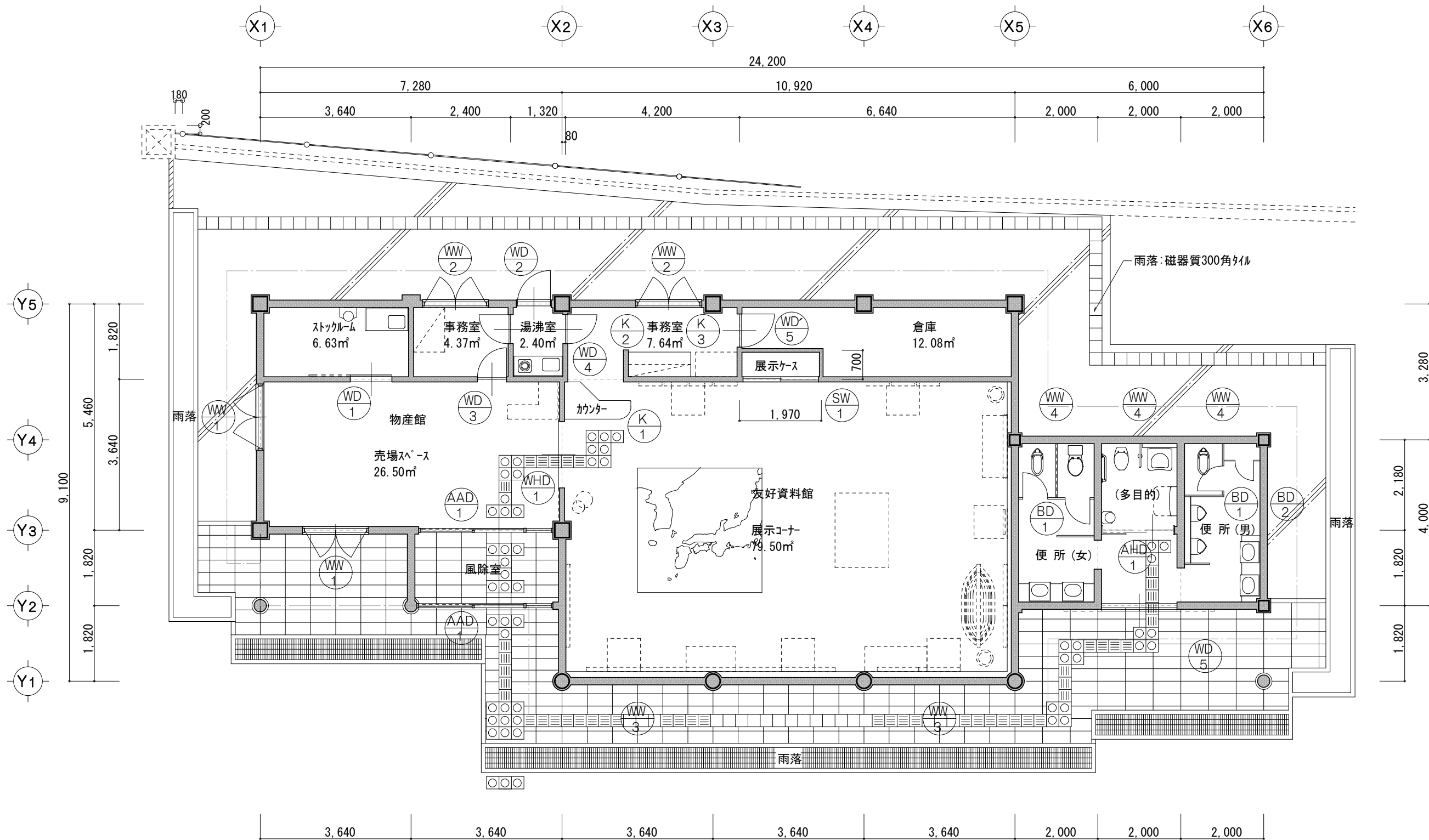
付近見取図

	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 付近見取図、配置図	S 1:400	NO A — 3 DRAWING NO
	DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷					

外 部 仕 上 げ 表					
屋 根	日本瓦(本葺き風)GAL-フィン ^g 1.0t下地 野地板:杉板15t	根 廻	御影石30×175 びしゃん仕上げ り		
外 壁	珉 ^ル タル金コ ^リ 押えの上SAP(艶消し)塗 ラスカ ^ト 7.5t下地 柱型:ラス珉 ^ル タル金コ ^リ 押えの上SAP(艶消し)塗	犬 走	御影石25t JB仕上げ(南側) 珉 ^ル タル木コ ^リ 押え仕上(他3方)		
軒 天	野地板・垂木 ^ノ 顯し SAP(艶消し)塗				
開 口	アルミサッシ(フロント・ビ ^ル 用) ^都 製サッシ				

内 部 仕 上 げ 表						
室 名	床	巾 木	壁	天 井	廻 縁	摘 要
風 除 室	御影石25t SB仕上げ	御影石30×175 びしゃん仕上げ	珉 ^ル タル金コ ^リ 押えの上SAP(艶消し)塗 ラスカ ^ト 7.5t下地 柱型:ラス珉 ^ル タル金コ ^リ 押えの上SAP(艶消し)塗	野地板・垂木 ^ノ 顯し 合成樹脂調合 ^ペ イント刷毛塗り(つや調整)		
物 産 館	ホ ^レ ジ ^ニ ア ^ス ビ ^ニ ル床タイル2.5t(御影石調) 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	木製25×100 SAP塗り(つや調整)	SAP(艶消し)塗 PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	ロ ^ク ク ^ワ ール吸音板12t PB9.5t捨張り 軽鉄天井下地	木製 SAP塗り(つや調整)	
ストック ルーム	塩ビ ^ビ 系シート2.0t 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	ソ ^ソ ト巾木 H=60	SAP(艶消し)塗 耐水PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 耐水PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	化粧石膏 ^ボ ー ^ト 9.5t 軽鉄天井下地	塩ビ ^ビ	室名札(ウッ ^ド フルサイン)
事 務 室	塩ビ ^ビ 系シート2.0t 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	ソ ^ソ ト巾木 H=60	SAP(艶消し)塗 PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	化粧石膏 ^ボ ー ^ト 9.5t 軽鉄天井下地	塩ビ ^ビ	室名札(ウッ ^ド フルサイン)
湯 沸 室	塩ビ ^ビ 系シート2.0t 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	ソ ^ソ ト巾木 H=60	SAP(艶消し)塗 耐水PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 耐水PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	化粧石膏 ^ボ ー ^ト 9.5t 軽鉄天井下地	塩ビ ^ビ	
資 料 館	ホ ^レ ジ ^ニ ア ^ス ビ ^ニ ル床タイル2.5t(御影石調) 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	木製25×100 SAP塗り(つや調整)	SAP(艶消し)塗 PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	ロ ^ク ク ^ワ ール吸音板12t(木格子組) PB9.5t捨張り 軽鉄天井下地	木製 SAP塗り(つや調整)	室名札(ウッ ^ド フルサイン)
事 務 室	ホ ^レ ジ ^ニ ア ^ス ビ ^ニ ル床タイル2.5t(御影石調) 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	木製25×100 SAP塗り(つや調整)	SAP(艶消し)塗 PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	化粧石膏 ^ボ ー ^ト 9.5t 軽鉄天井下地	木製 SAP塗り(つや調整)	室名札(ウッ ^ド フルサイン)
倉 庫	塩ビ ^ビ 系シート2.0t 珉 ^ル タル金コ ^リ 押え下地	ソ ^ソ ト巾木 H=60	SAP(艶消し)塗 PB12.5t下地(目地処理) 柱型:軽天 ^バ ー取付 PB12.5t下地SAP(艶消し)塗	耐水PB12.5tの上SAP(艶消し)塗 軽鉄天井下地	塩ビ ^ビ	室名札(ウッ ^ド フルサイン)
ト イ レ (男・女)	磁器質25角モ ^ザ イク ^タ イル(無釉) (INAX:ア ^コ ル ^テ ィ ^ム 程度) タイル下地珉 ^ル タル塗り		磁器質25角モ ^ザ イク ^タ イル(施釉) (INAX:ド ^ミ ノ ^ク ラン程度) タイル下地珉 ^ル タル塗り	耐水PB12.5tの上SAP(艶消し)塗 軽鉄天井下地	塩ビ ^ビ	ビ ^ビ クトサイン(ウッ ^ド フルサイン)
ト イ レ (多目的)	磁器質25角モ ^ザ イク ^タ イル(無釉) (INAX:ア ^コ ル ^テ ィ ^ム 程度) タイル下地珉 ^ル タル塗り		磁器質25角モ ^ザ イク ^タ イル(施釉) (INAX:ド ^ミ ノ ^ク ラン程度) タイル下地珉 ^ル タル塗り	耐水PB12.5tの上SAP(艶消し)塗 軽鉄天井下地	塩ビ ^ビ	ビ ^ビ クトサイン(ウッ ^ド フルサイン)
備 考	石膏 ^ボ ー ^ト 12.5t 不燃 NM-8612 石膏 ^ボ ー ^ト 9.5t 不燃 NM-8612 耐水石膏 ^ボ ー ^ト 12.5t 準不燃 QM-9826 ジ ^ブ ^ト ン 9.5t 準不燃 QM-9824 ロ ^ク ク ^ワ ール吸音板12.5t 不燃 NM-8599 無石綿ケ ^イ カル板 10.0t 不燃 NM-8578 塗装 不燃 NM-8585 準不燃 QM-9816 SAP:特殊ア ^ク リ ^ル 樹脂系塗料					

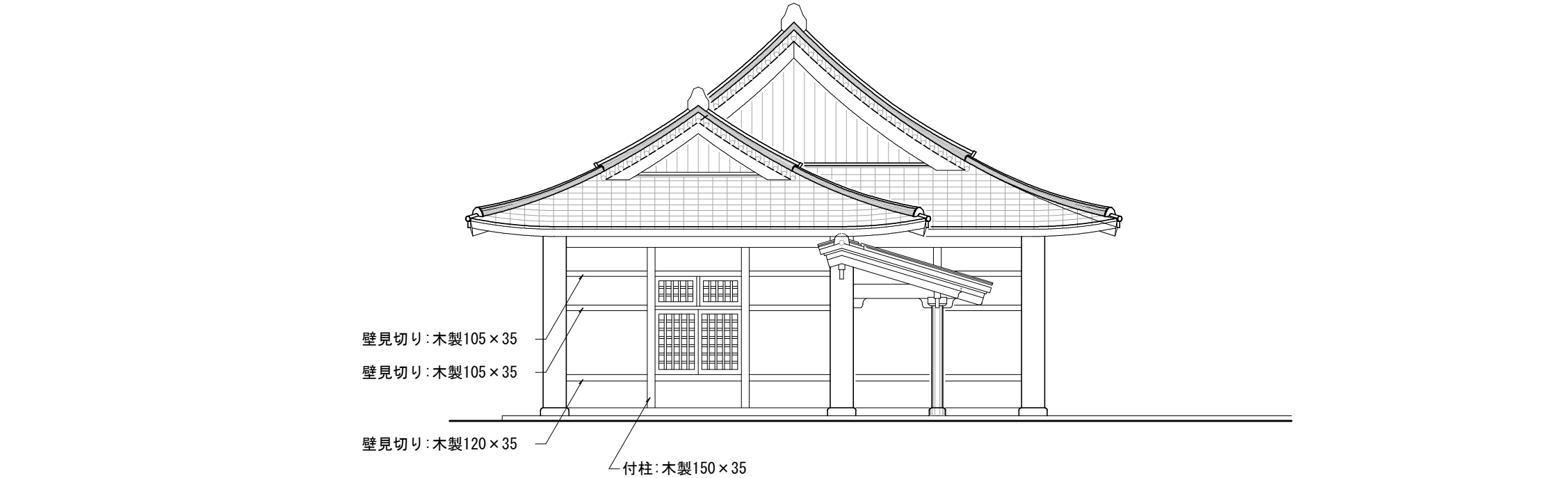
	1級建築士登録第304900号 安谷 潔 美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 4
	DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷		S 既存 外部仕上表・内部仕上表	DRAWING NO



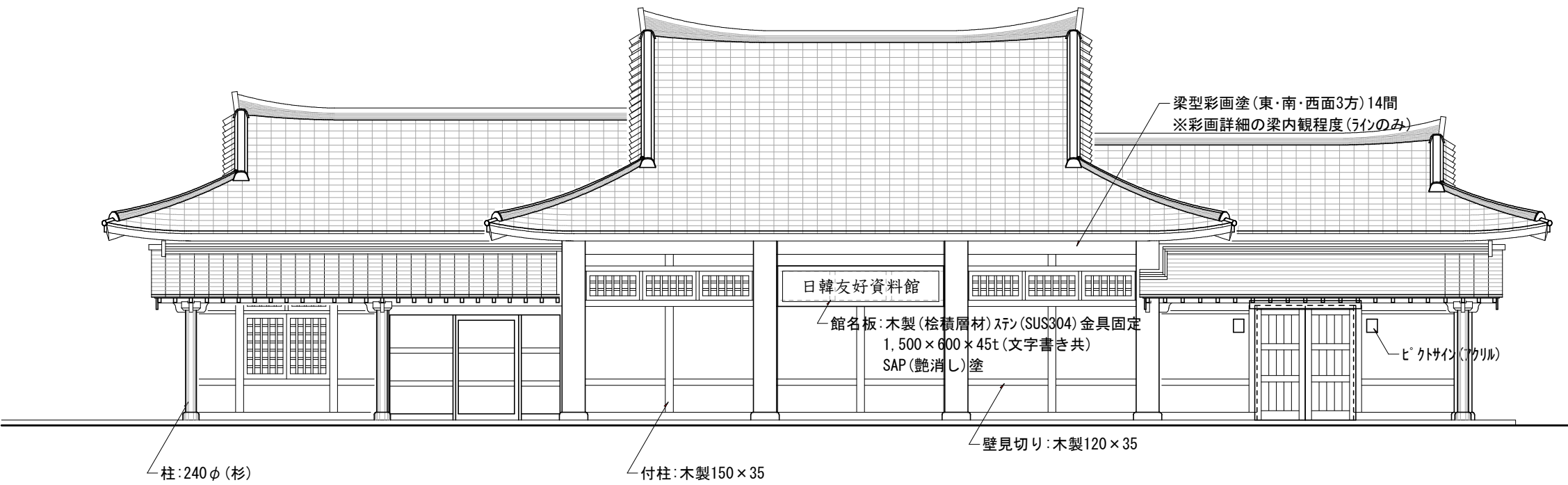
平面図 1:100

床面積:169.75㎡
建築面積 :225.57㎡

			1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 5
			DATE R8. 4	CHIEF		DRAW 安谷	S 1:100	

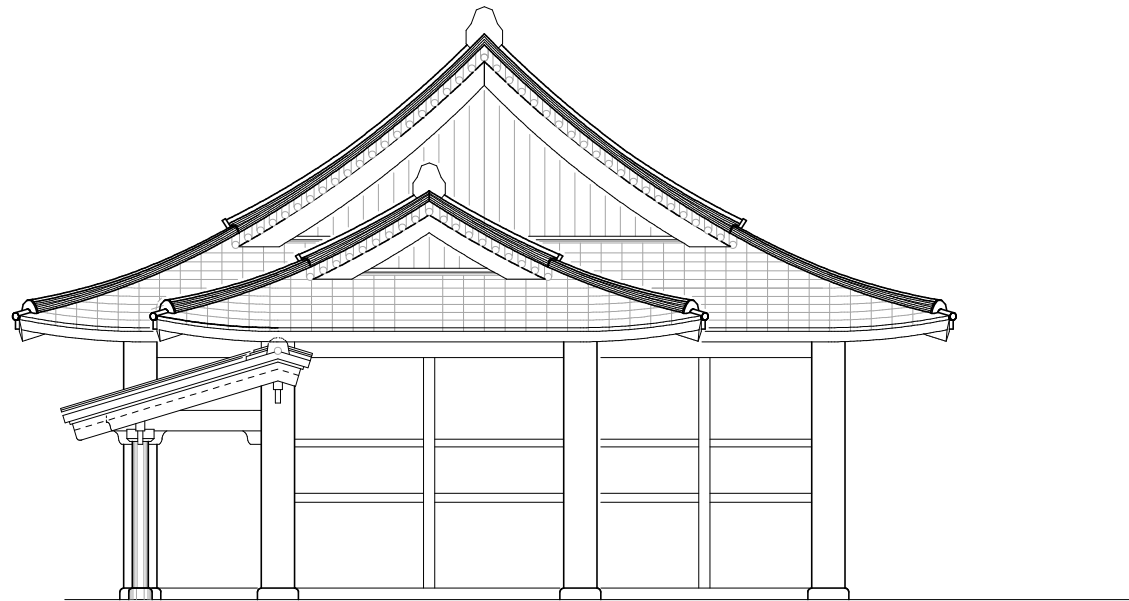


西側立面図 1:100

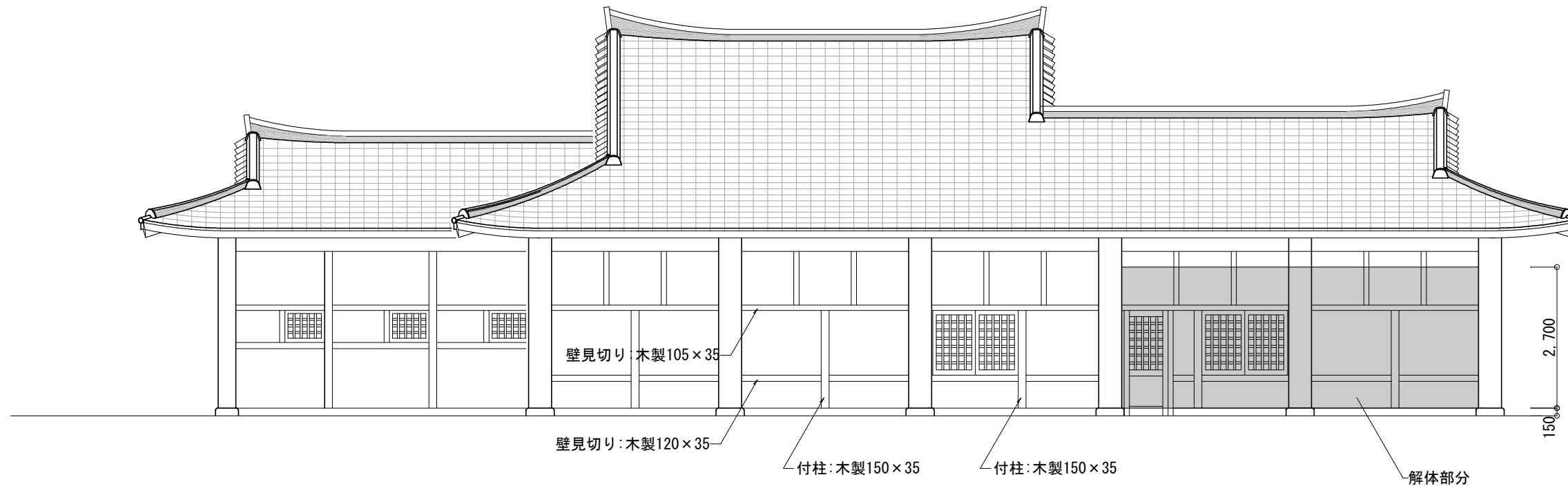


南側立面図 1:100

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 6
DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 既存立面図 1:100		DRAWING NO

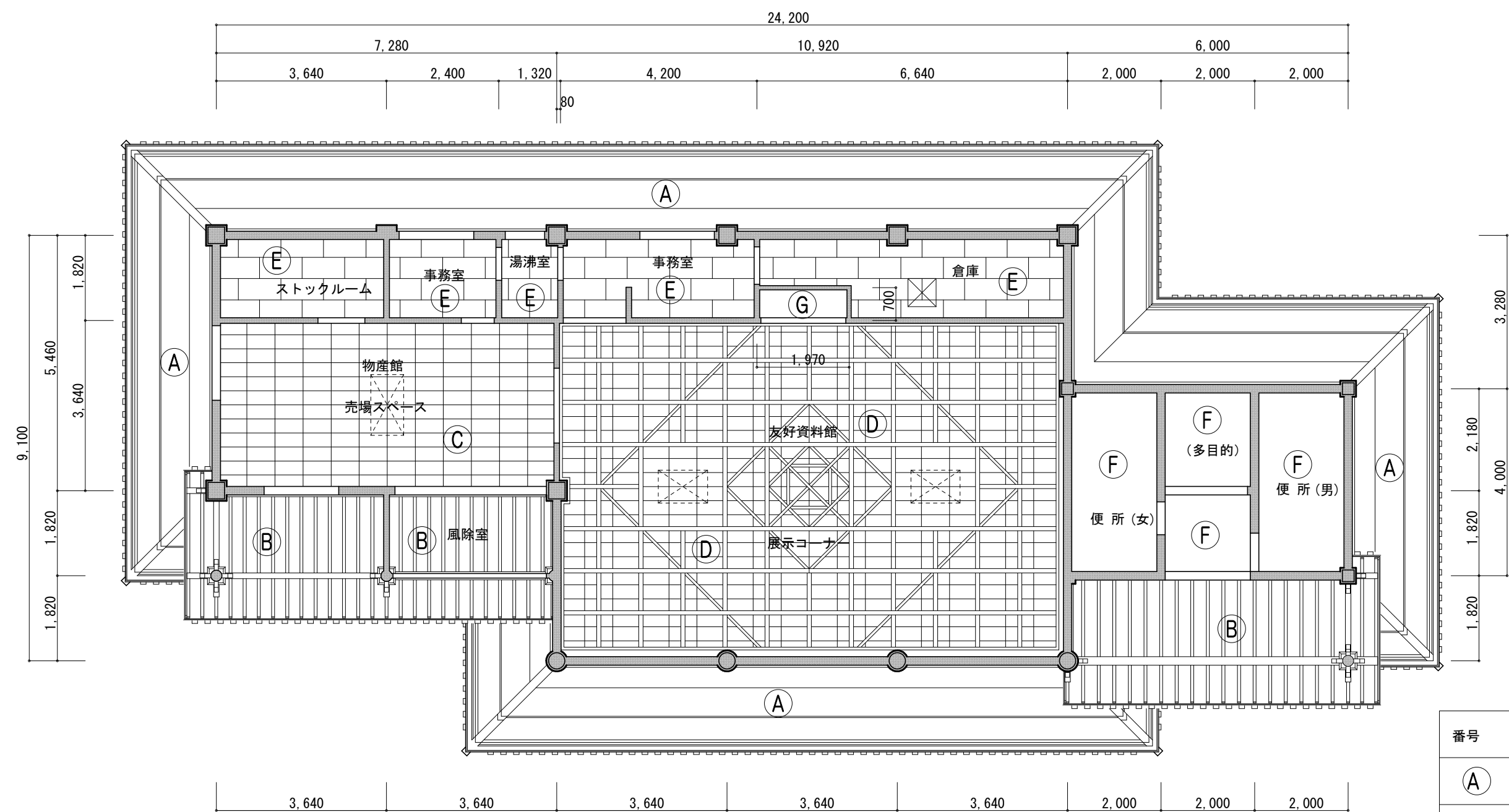


東側立面図 1:100



北側立面図 1:100

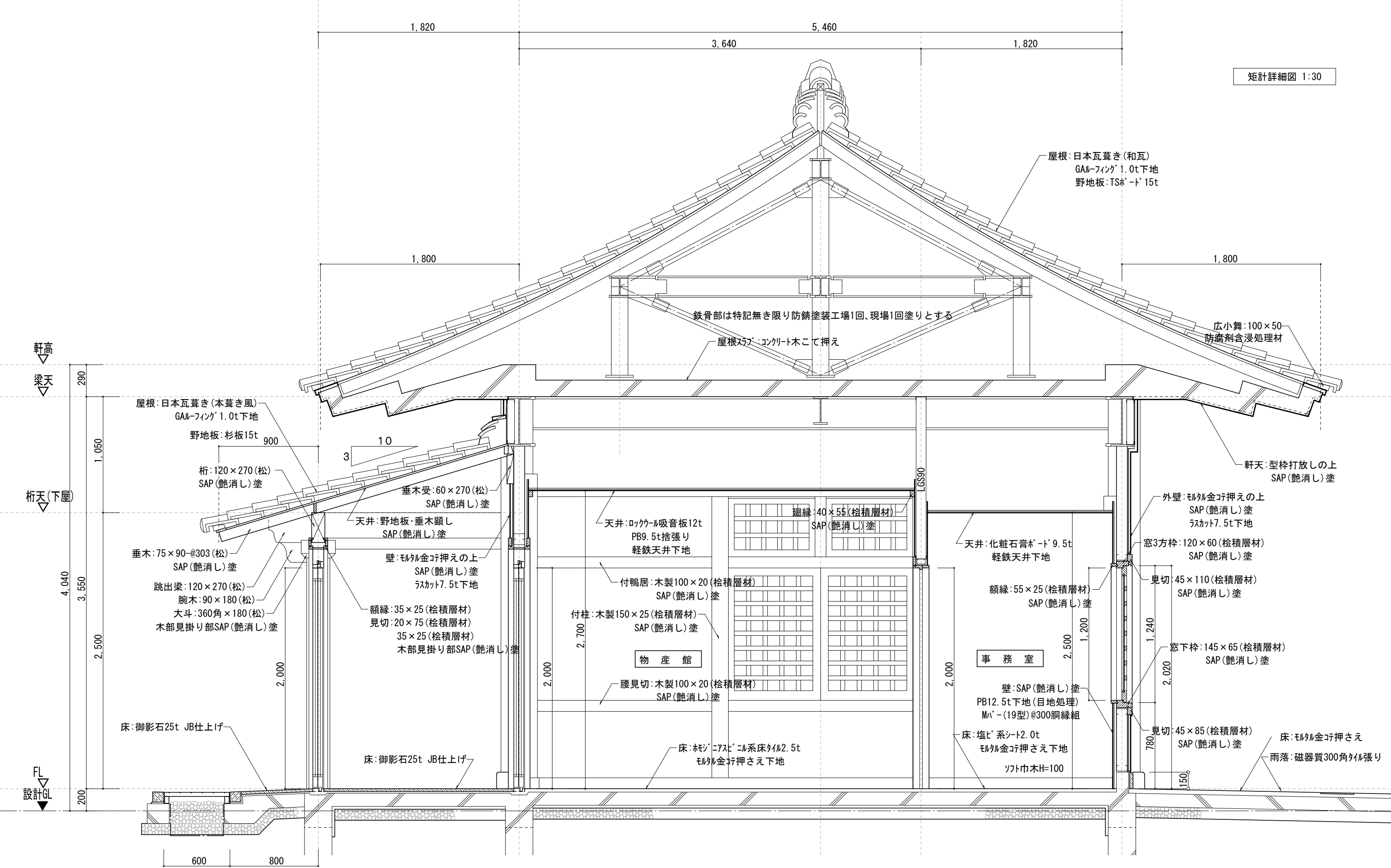
	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 7
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷			
				既存立面図	S 1:100	DRAWING NO



天井伏図 1:100

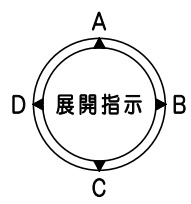
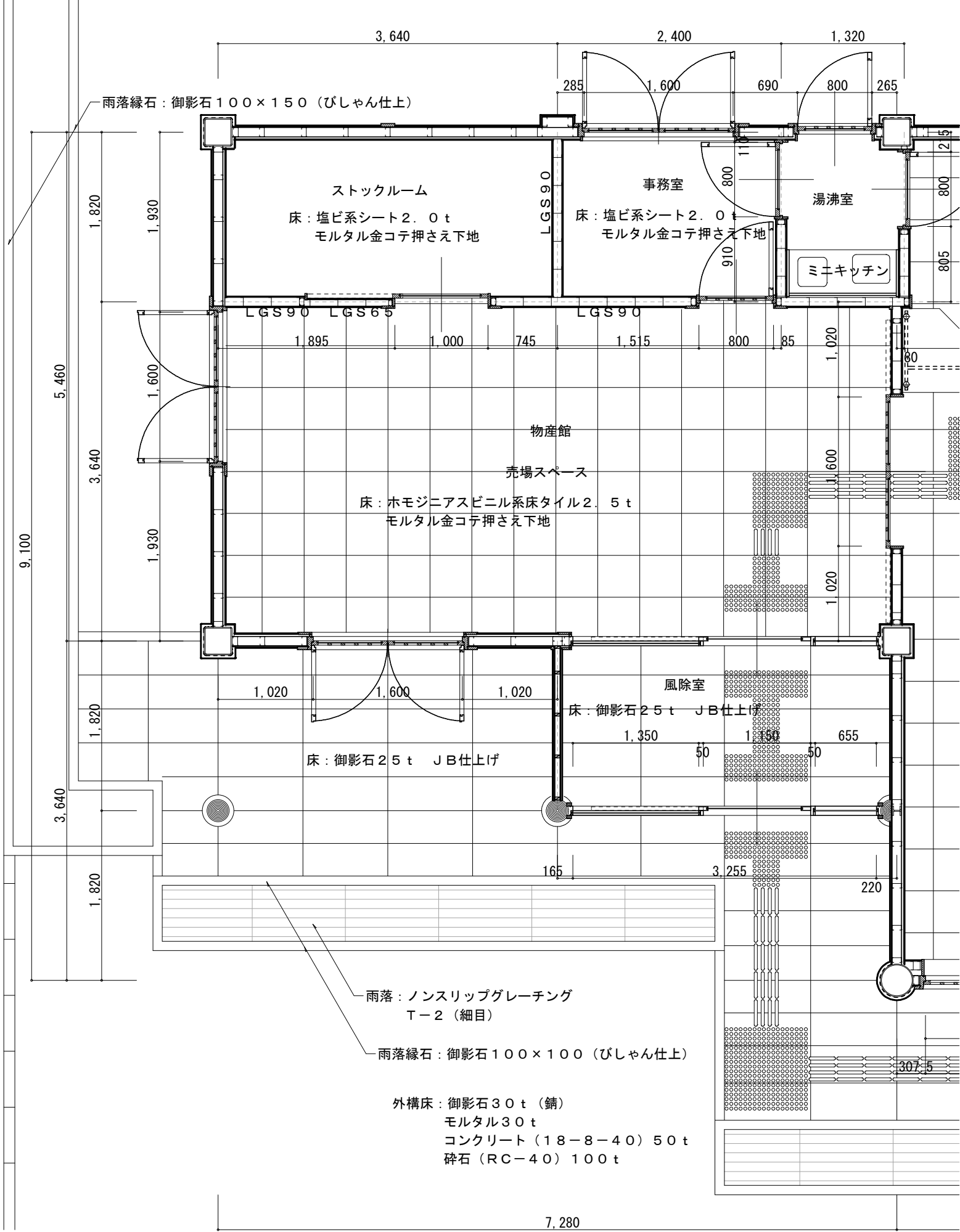
番号	仕上
Ⓐ	SAP塗 コンクリート打放し下地
Ⓑ	野地, 垂木隠しの上SAP塗
Ⓒ	ロックール吸音板12t (PB9. 5t捨張) LGS下地
Ⓓ	ロックール吸音板12t (PB9. 5t捨張) LGS下地, 木化粧格子組 (SAP塗)
Ⓔ	化粧石コブ'ート' (9. 5×455×910) LGS下地
Ⓕ	耐水PB12. 5tの上SAP塗 LGS下地
Ⓖ	PB9. 5tの上SAP塗 LGS下地
ⓧ	点検口 (7ℓ製) 600角

	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 8
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷			
				既存天井伏図	S 1:100	DRAWING NO



矩計詳細図 1:30

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 9
DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 1:30		DRAWING NO

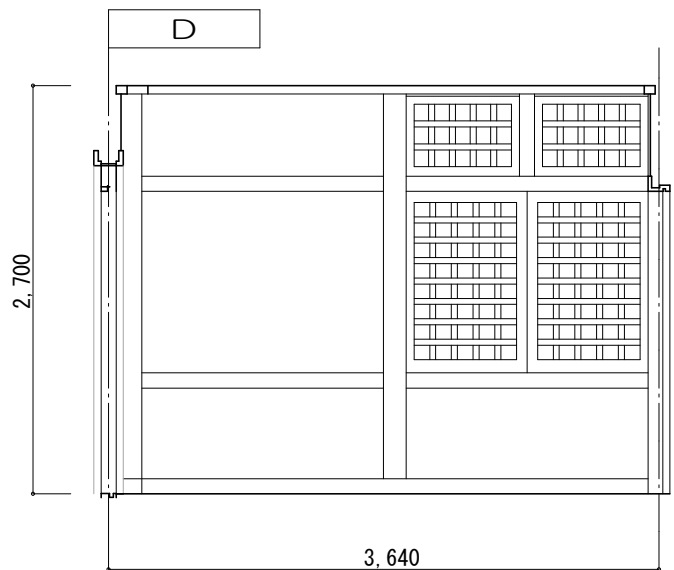
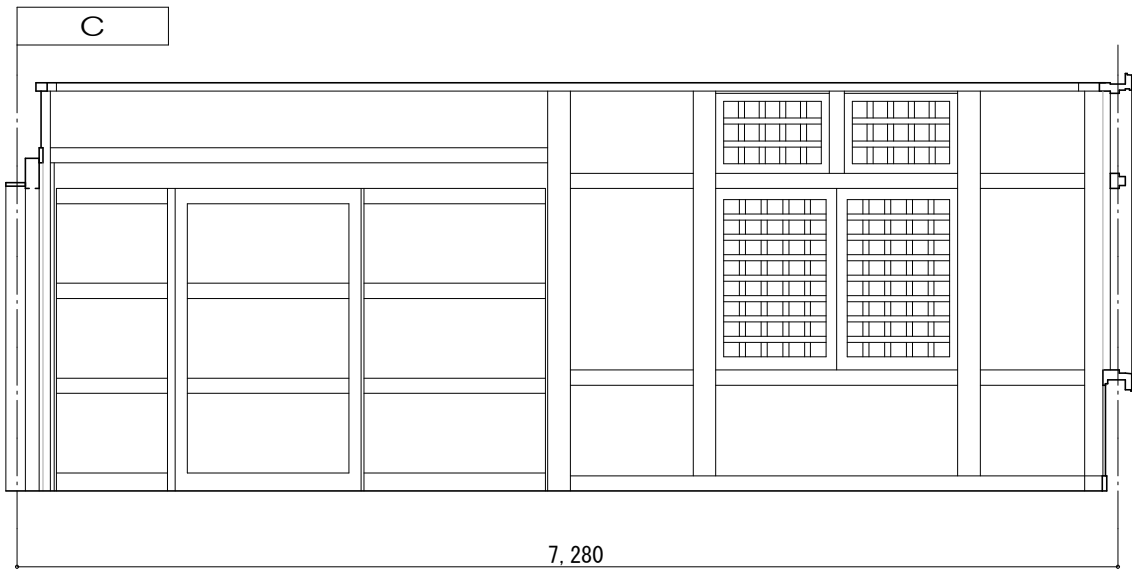
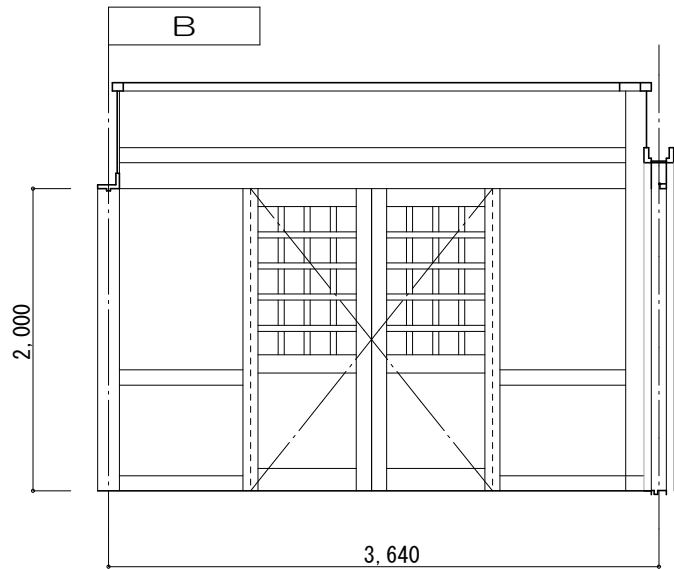
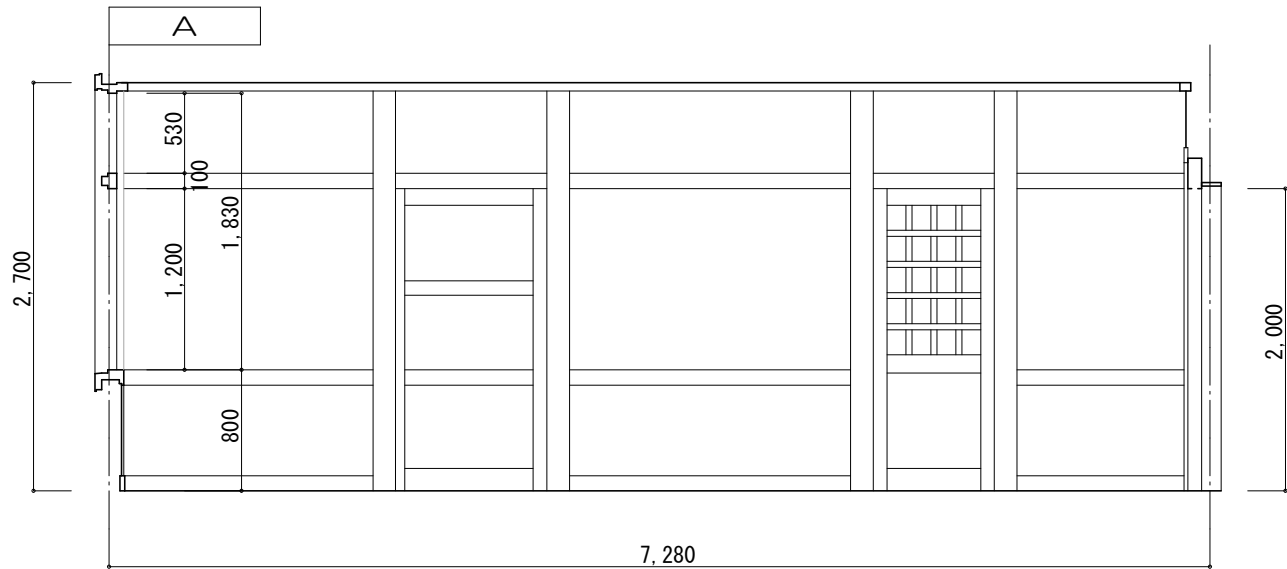
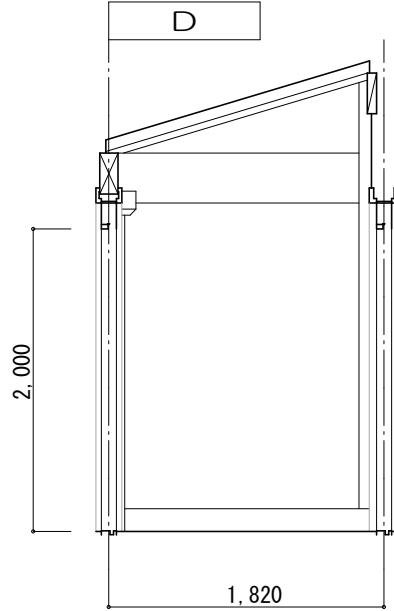
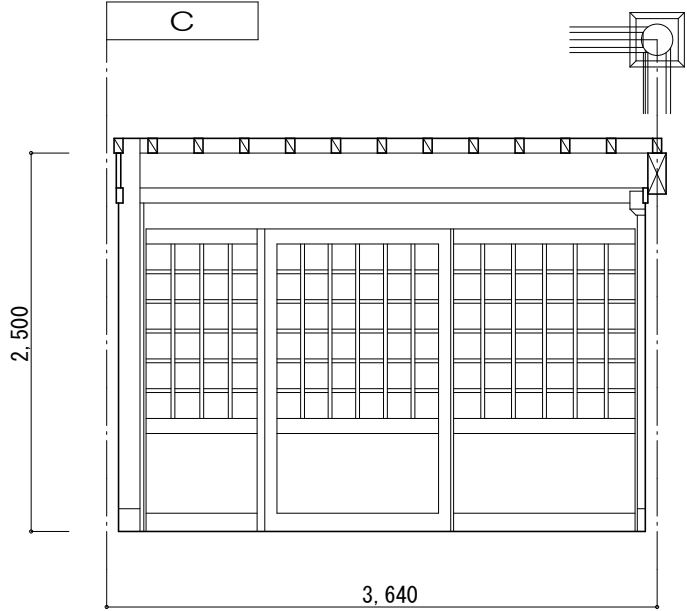
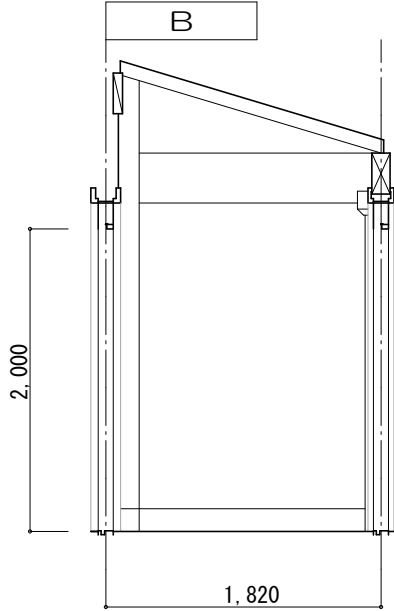
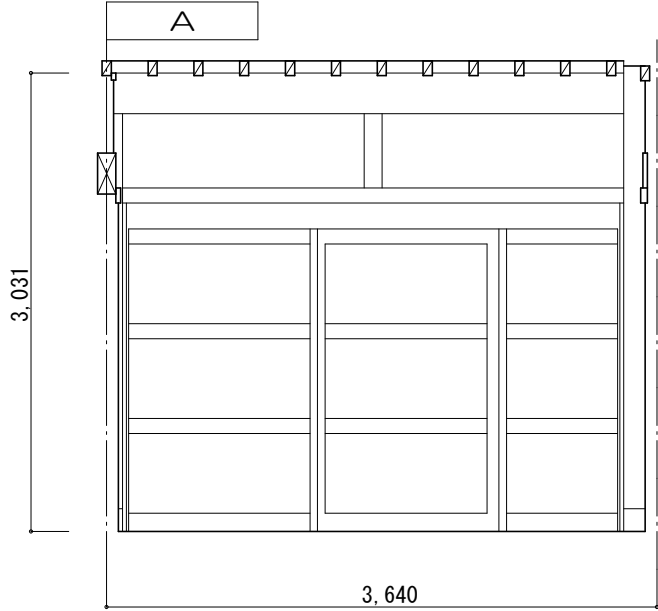


平面詳細図 1:50

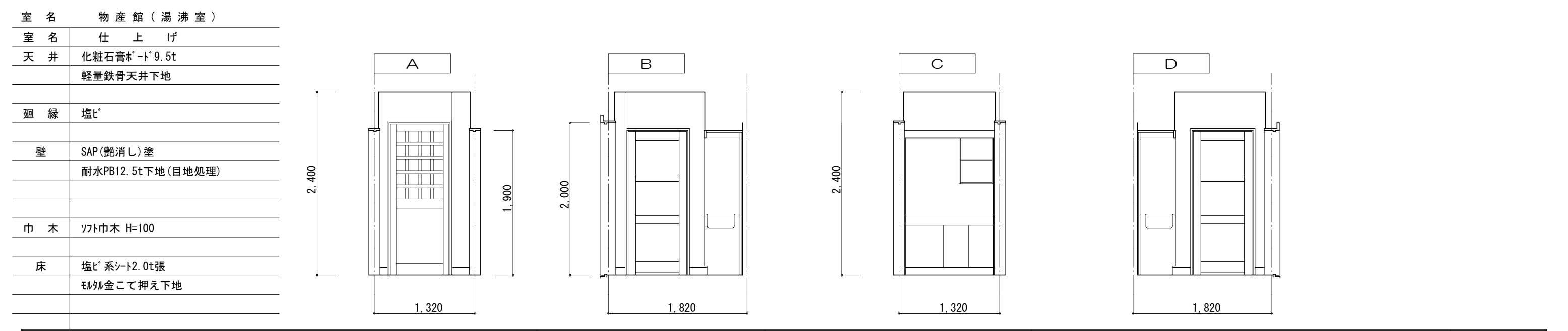
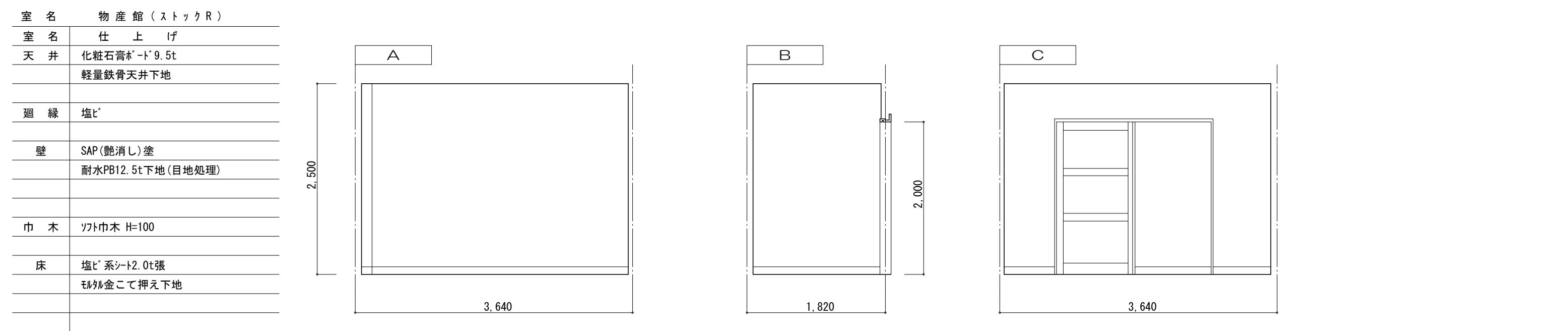
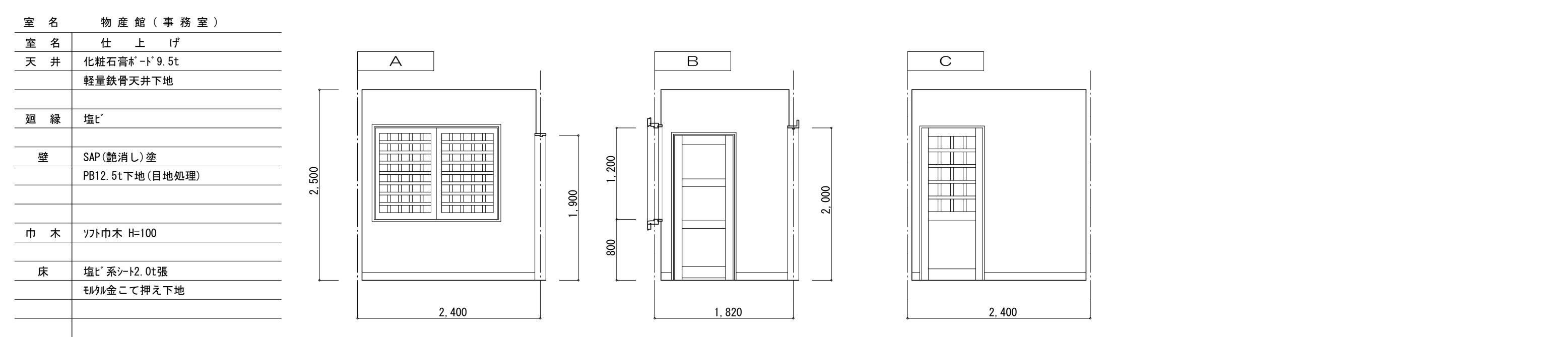
1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン カノン設計室		TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 10
DATE R8.4				KANNON		既存平面詳細図		DRAWING NO
CHIEF				TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		S 1:50		
DRAW 安谷								

室 名	資 料 館（風 除 室）
室 名	仕 上 げ
天 井	野地板(杉)15t垂木頭し
	SAP(艶消し)塗
廻 縁	木製(SOP塗)
壁	SAP(艶消し)塗
	PB12.5t下地(目地処理)
	柱型：ラスメル金こて押えの上SA
	P(艶消し)塗
巾 木	御影石 H=150ぴしゃん仕上
床	御影石 25t JB仕上

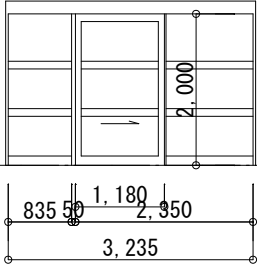
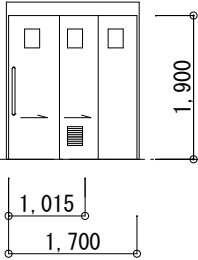
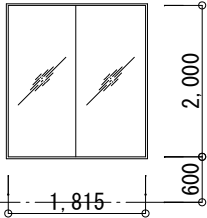
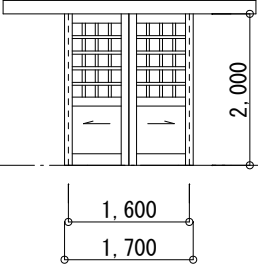
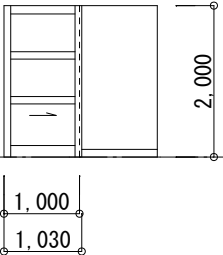
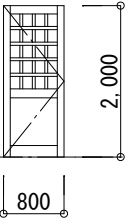
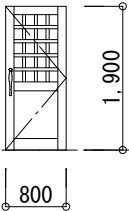
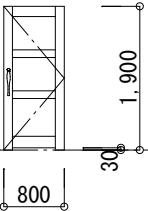
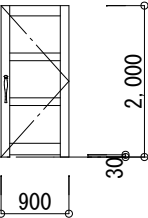
室 名	物 産 館（店 舗）
室 名	仕 上 げ
天 井	ロックウール吸音板12t
	PB9.5t捨張
	軽量鉄骨天井下地
廻 縁	木製(SOP塗)
壁	SAP(艶消し)塗
	PB12.5t下地(目地処理)
巾 木	木製 H=100 (SOP塗)
床	モニアスビニル床タイル2.5t張
	メル金こて押え下地



	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン	カノン設計室	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 11
	DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷	KANNON			
					TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	既存展開図1	S 1:50
							DRAWING NO

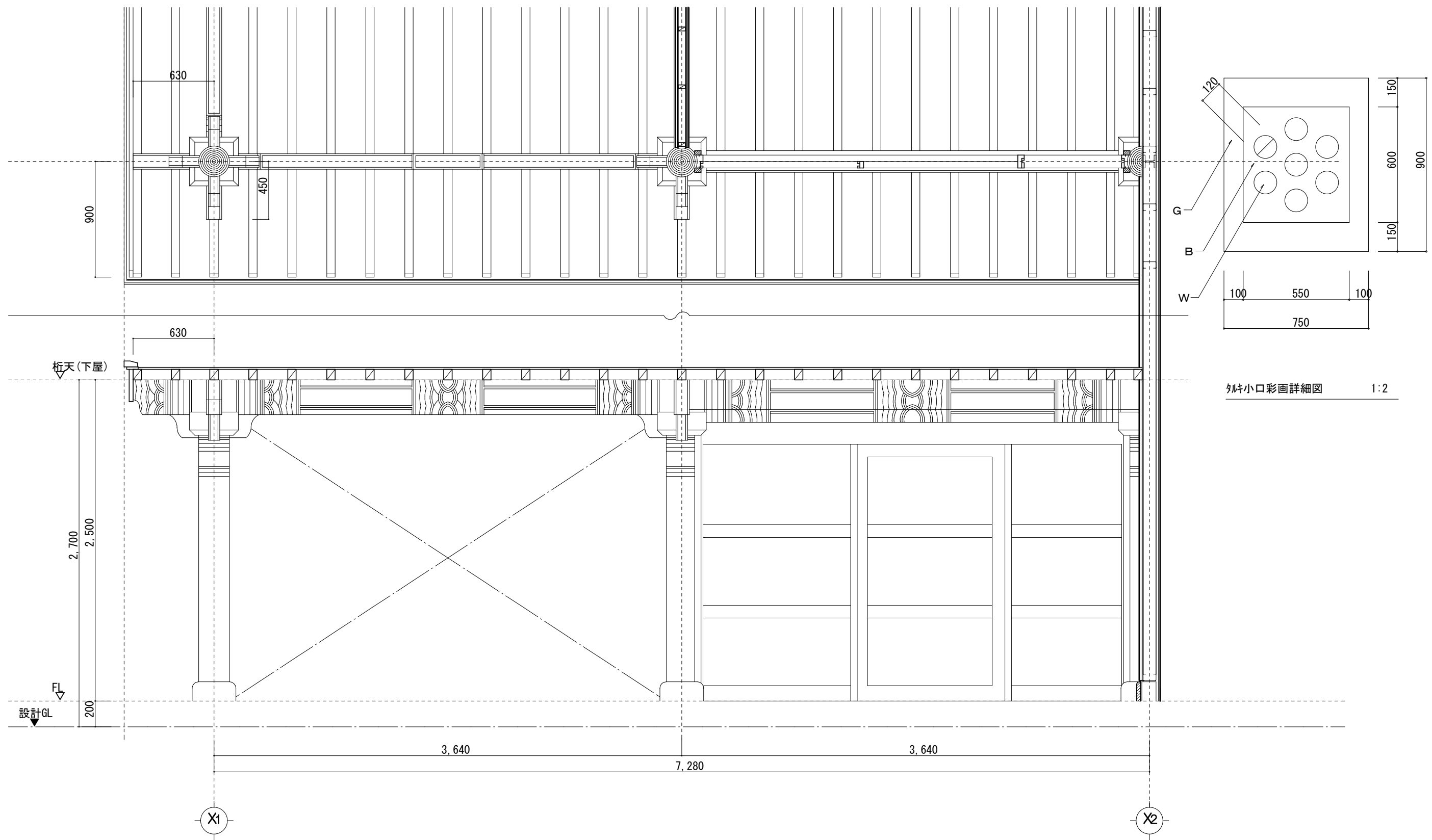


1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 KANNON TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 12
DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 既存展開図2 1:50	DRAWING NO

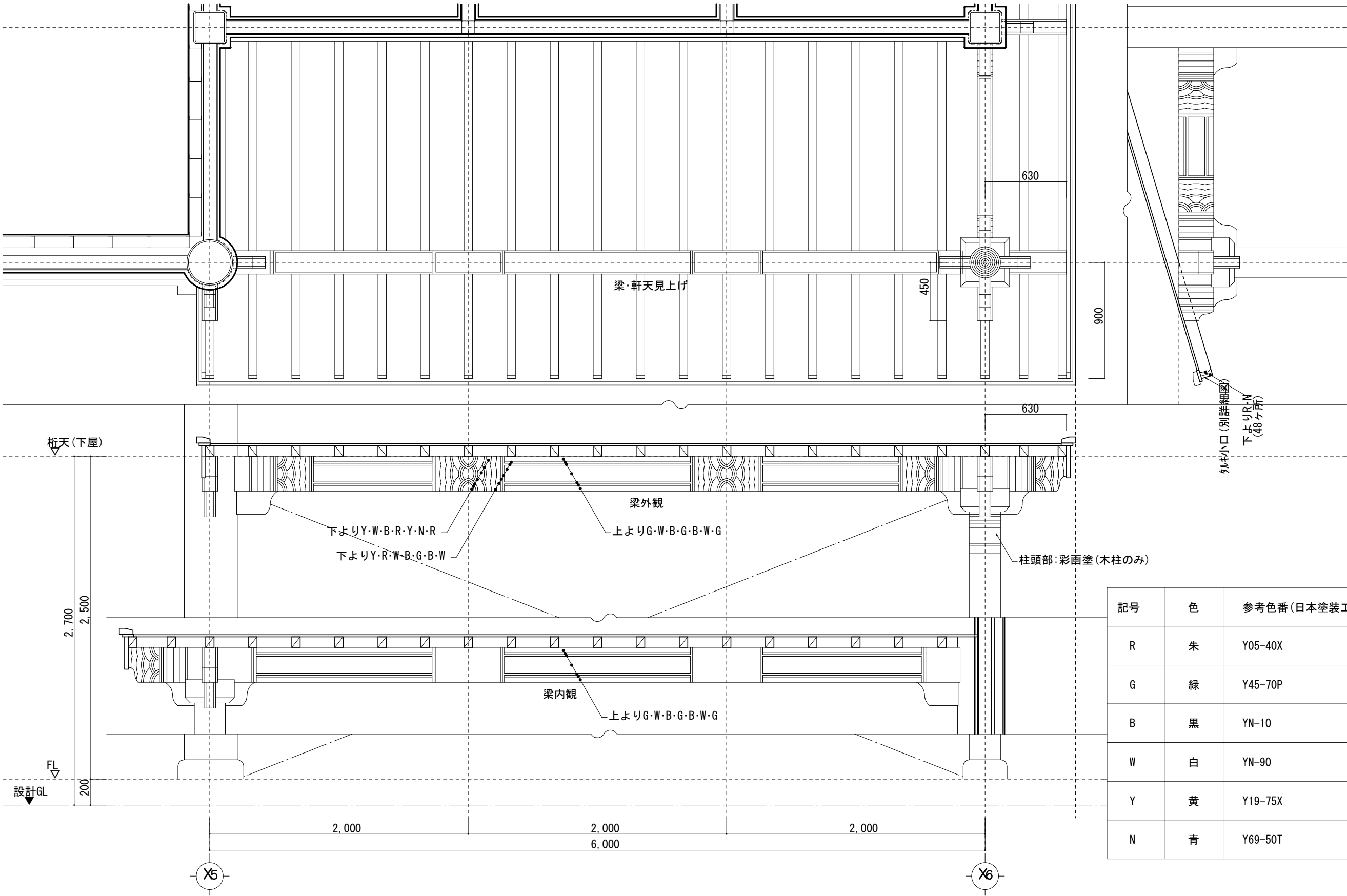
記 号	<div><div><div>⊙ AAD 1</div></div>袖 F I X 付片引き自動ドア</div>	<div><div><div>⊙ AHD 1</div></div>2 枚片引きハンガー戸</div>	<div><div><div>⊙ SW 1</div></div>引違いガラス戸</div>	<div><div><div>⊙ WHD 1</div></div>引き分けハンガー戸</div>	
姿 寸 図 法					
数 量	2（風除室）	1（多目的WC）	1（展示室）	1（物販～資料館）	
材 質	アルミ（特注色）	アルミ（特注色）	溶融亜鉛メッキ鋼板 1.6 t	桧積層材（鏡板：杉）	
見 込	100	100	145	40	
硝 子	トメイ 5 t	すりガラス 3 t	トメイ 10 t	すりガラス 3 t	
塗 装	メーカー焼付け塗装	メーカー焼付け塗装	SOP 塗	SOP 塗り（つや調整）	
金 物	付属金物一式、AP 内外 3 方 水抜き穴 プッシュスイッチ、電子制御エンジン装置 引戸錠（シリンダー／サムターン）	付属金物一式、AP 内外 3 方 ハンガーレール（自閉装置付）、ガイドレール 引き手（ステン）、ガラスリ ハンガー戸錠（非常開付表示錠／大型サムターン）	ステンハマ、ガラス戸用戸車 ガラス戸用錠（シリンダー）	ハンガーレール、点検口付カバー、ハンガーレール用吊金物 ガイドレール、彫込引き手 ハンガー戸錠（シリンダー／サムターン）	
記 号	<div><div><div>⊙ WD 1</div></div>片引き戸</div>	<div><div><div>⊙ WD 2</div></div>片開き戸</div>	<div><div><div>⊙ WD 3</div></div>片開き戸</div>	<div><div><div>⊙ WD 4</div></div>片開き戸</div>	<div><div><div>⊙ WD 5</div></div>片開き戸</div>
姿 寸 図 法					
数 量	1（物販～ストックR）	1（湯沸室）	1（物販～事務室）	2（湯沸室～事務室）	1（事務室～倉庫）
材 質	桧積層材（鏡板：杉）	桧積層材（鏡板：杉）	桧積層材（鏡板：杉）	桧積層材（鏡板：杉）	桧積層材（鏡板：杉）
見 込	40	40	40	40	40
硝 子		すりガラス 3 t	すりガラス 3 t	すりガラス 3 t	
塗 装	SOP 塗り（つや調整）	SOP 塗り（つや調整）	SOP 塗り（つや調整）	SOP 塗り（つや調整）	SOP 塗り（つや調整）
金 物	敷居レール、戸車、彫込引き手 引き戸錠（シリンダー／サムターン）	丁番（3 点吊）、レバーハンドル、DC（ストップ有） 本締め錠（シリンダー／サムターン） しめし合わせ部気密材（軟質ゴム系）取付 沓摺りステン（SUS304）1.5 t 加工	丁番（3 点吊）、DC（ストップ有） 握み手（エニカー T728 程度） 本締め錠（シリンダー／サムターン） クワズリ（ステン）40×20×1.5 t	丁番（3 点吊）、DC（ストップ有） 握み手（エニカー T728 程度） 本締め錠（シリンダー／サムターン） クワズリ（ステン）40×20×1.5 t	丁番（3 点吊）、DC（ストップ有） 握み手（エニカー T728 程度） 本締め錠（シリンダー／サムターン） クワズリ（ステン）40×20×1.5 t

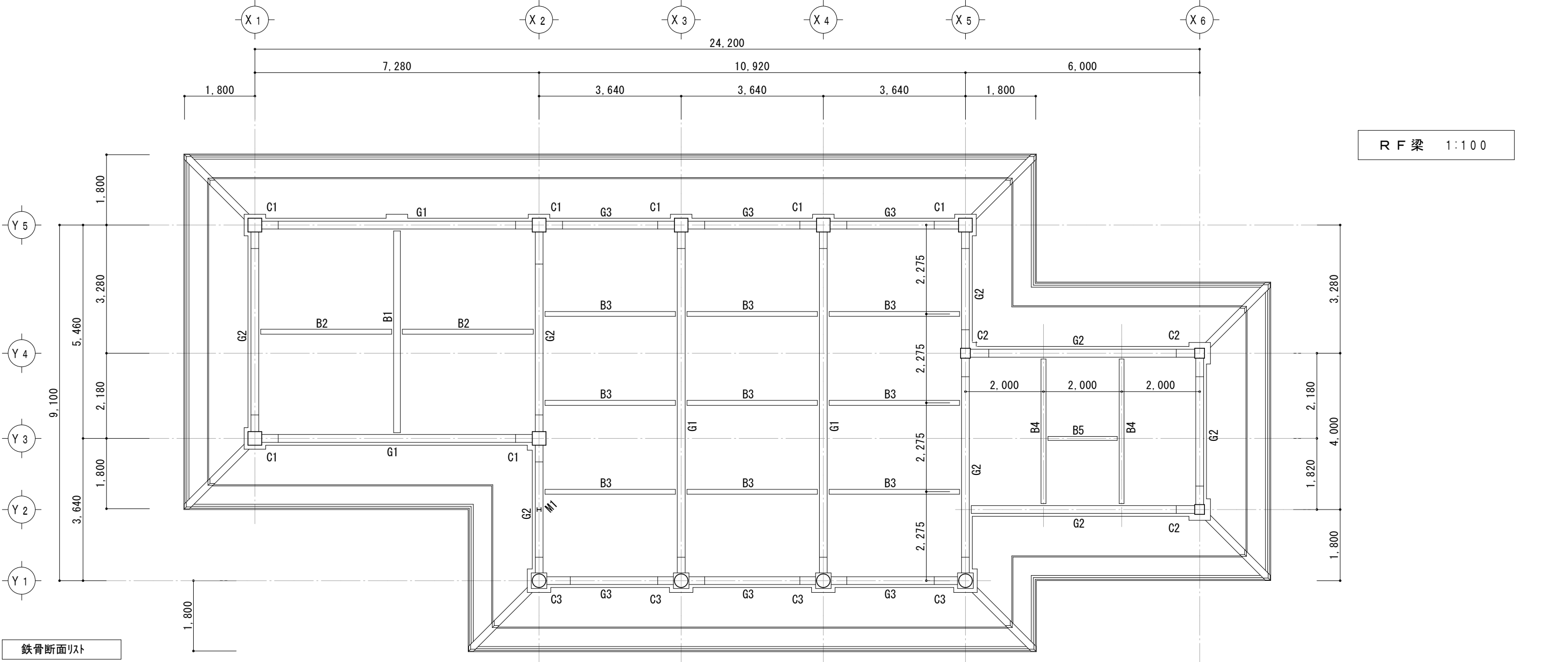
	1 級建築士登録第 304900 号 安谷 潔 美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 13
	DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷		S 既存建具表1 1:100	DRAWING NO

記 号	<div><div><div>WW</div><div>1</div></div></div> 7mm突出し窓付き両開き窓	<div><div><div>WW</div><div>2</div></div></div> 両開き窓	<div><div><div>WW</div><div>3</div></div></div> 3連突出し窓	<div><div><div>WW</div><div>4</div></div></div> 突出し窓	
姿 寸 図 法					
数 量	2（物販店）	2（事務室）	2（資料館）	3（便所）	
材 質	桧積層材	桧積層材	桧積層材（鏡板：杉）	桧積層材（鏡板：杉）	
見 込	40	40	40	40	
硝 子	トメイ5 t	トメイ5 t		すりガラス3 t	
塗 装	SOP塗り（つや調整）	SOP塗り（つや調整）	SOP塗り（つや調整）	SOP塗り（つや調整）	
金 物	丁番（2点吊）．窓用ストッパー．フリス落し（上下） グレモンハンドル．突出し窓用材トコ．Nラッチ しめし合わせ部気密材（軟質ゴム系）取付 ※Nラッチ操作用フック棒（L＝900－2本）	丁番（2点吊）．窓用ストッパー．フリス落し（上下） グレモンハンドル しめし合わせ部気密材（軟質ゴム系）取付	突出し窓用材トコ．Nラッチ しめし合わせ部気密材（軟質ゴム系）取付	突出し窓用材トコ．Nラッチ しめし合わせ部気密材（軟質ゴム系）取付	
記 号	<div><div><div>BD</div><div>1</div></div></div> 7°ス片開き戸	<div><div><div>BD</div><div>2</div></div></div> 7°ス片開き戸	<div><div><div>WD</div><div>5</div></div></div> 引分けハガー戸		
姿 寸 図 法				<div>〔特記事項〕</div> <div><div>・建具金物は、特記なき限りステンレス（SUS304）製とする。</div><div>・木製ドア杵摺りは、特記なき限りステンレス（SUS304）40×20×2.0t加工とする。（アソカ6φー@500内部に埋め込み）</div><div>・ガラスは、ホリカルファイト®系シーリング止めとする。</div><div>・木製建具のフラットドアには、空気孔を設ける事。</div><div>・建具金物及び硝子は、見本品を提出し、係員の承諾を得た物を使用する事。</div><div>・各建具は、加工図を提出し、係員の承諾を得て製作にかかる事。</div></div>	
数 量	3（便所）	1（便所）	1		
材 質	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	木製		
見 込	40	40	40		
硝 子					
塗 装					
金 物	グレビティ丁番（閉鎖型）．取手．表示付ラッチ．ラッチ受．帽子掛け	グレビティ丁番（閉鎖型）．取手（物置用） 本締め錠（片側シリンダー）	取手、標準金物一式		



1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン カノン設計室		TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 15
DATE R8.4				CHIEF 安谷		S 1:30, 1:2		DRAWING NO
KANNON				TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		既存彩画詳細図1		

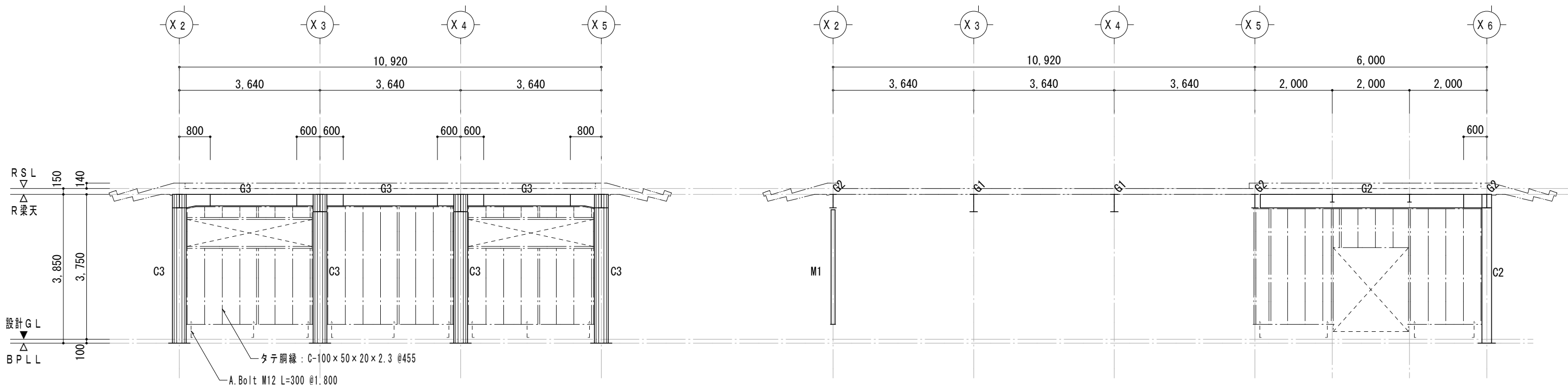




鉄骨断面リスト			
符 号	部 材	備 考	
		B. P. L	A. BOLT
C1	□-300×300×12	BPL-16×460×460	A. BOLT 4-M16 L=600
C2	□-250×250× 9	BPL-12×410×410	A. BOLT 4-M16 L=600
C3	φ-355.6×11.1	BPL-16×410×410	A. BOLT 4-M16 L=600
M1	H -100×100× 6 × 8	BPL-12×130×155	A. BOLT 2-M16 L=600
G1	H -450×200× 9 ×14		
G2	H -350×175× 7 ×11		
G3	H -300×150×6.5× 9		
B1	H -350×175× 7 ×11		
B2	H -300×150×6.5× 9		
B3	H -200×100×5.5× 8		
B4	H -200×100×5.5× 8		
B5	H -150× 75× 5 × 8		
桁胴縁	C-100× 50×20×2.3	@455 @1,820毎2C	

使用鋼材		使用ボルト	
H・L型鋼・鋼板	SS 400	H. T. B	F10T
角型鋼管	STKR400	中ボルト・アンカーボルト	SS400
鋼管	STK 400		
軽量形鋼	SSC 400		

特記事項	
特記なきスラブは、S2とする。	
特記なきスラブ天端は、RSL±0 (GL+3,900)とする。	
鉄骨梁天端は、RSL-150とする。	
鉄骨梁上は、スタッドジベル打ち φ16 H=80 @300とする。	
スタッドジベルは、梁巾200以上を升り、200未満をシングル打ちとする。	

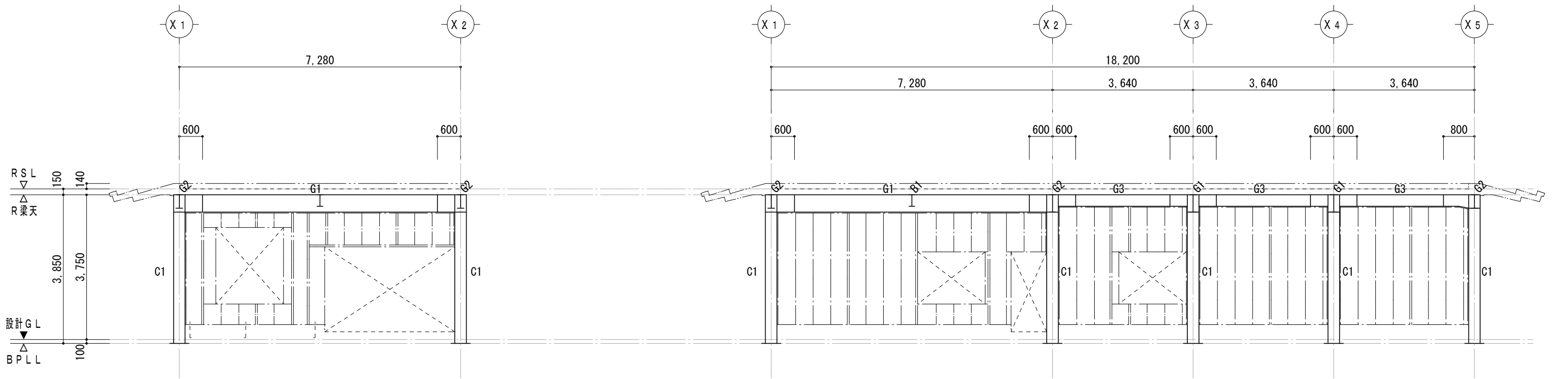


Y1通り軸組図

1:100

Y2通り軸組図

1:100



Y3通り軸組図

1:100

Y5通り軸組図

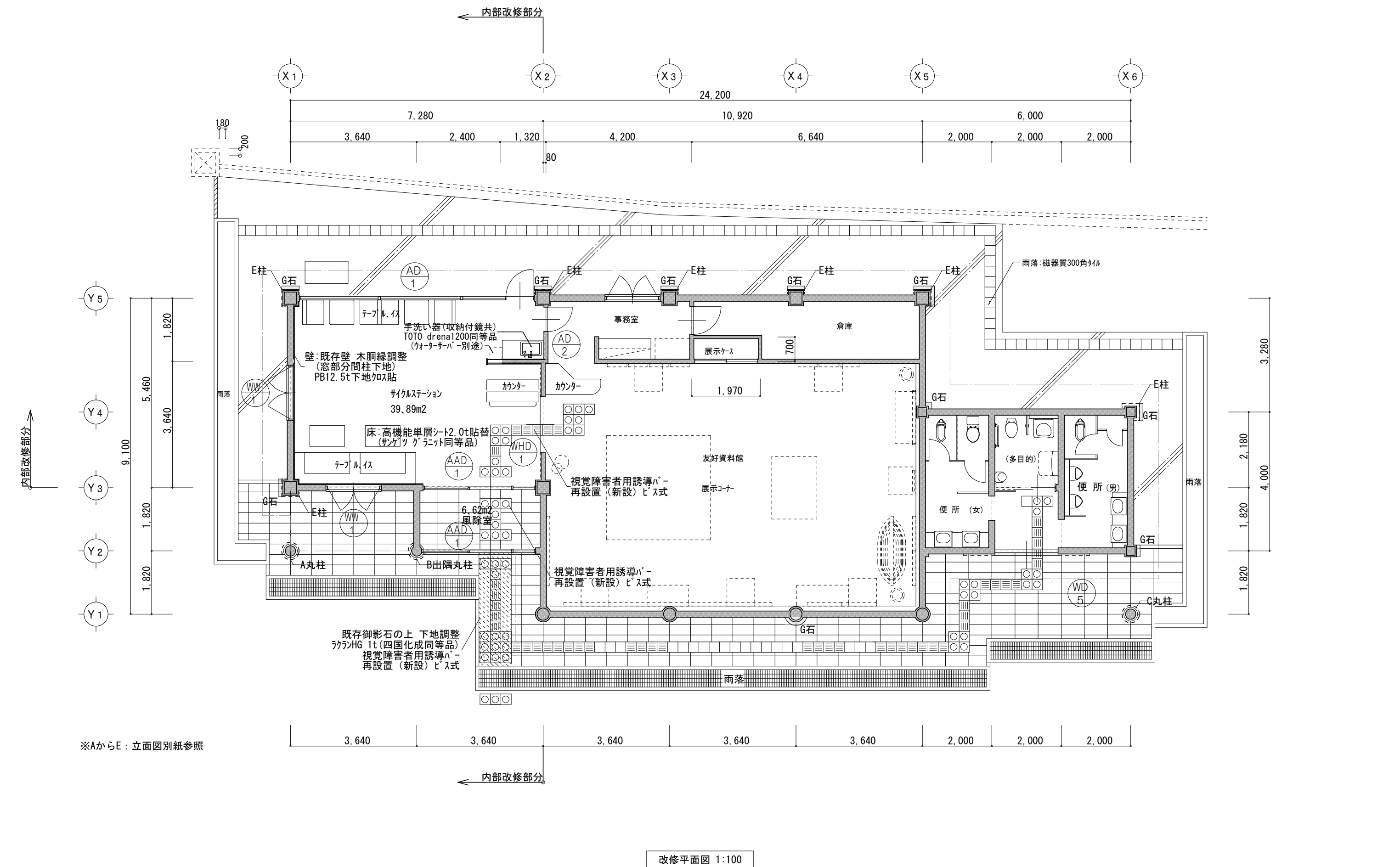
1:100

				1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 18
				DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷	既存軸組図	S 1:100
								DRAWING NO

外 部 仕 上 げ 表					
屋 根	既存のまま		鉄骨モルタル柱E: 既存モルタル撤去処分の上、鉄骨ケレン3種 下地処理、 鉄板6t錆止め塗装(鉄板素地C種・錆止めB種) フェルト20K張り、ダイヤラス張り(ビス止め)、サントコスリ コーナー定規取付、ベースモルタル中塗仕上、補修材仕上、下地調整RB種、AEP塗り工程B種	アプローチ	一部既存の上 下地調整 ラケンHG 1t(四国化成同等品) 視覚障害者用誘導バー撤去処分 再設置 ビス式(新設)
外 壁	既存のまま:ベージュ色部分 木製丸柱A:腐敗部分根接、丸柱加工金輪継手、ホルト(ステンM16)穴埋木 木材:杉(赤身勝ち)仕上240 250×250×1000 木栓(堅木)30×100×500 丸柱カバー SUS304 1.0t 焼き付け塗装 φ270×1820 シーリング 20×20		北面解体取合部分補修 軽鉄調整、左官仕上げ、下地調整RB種、AEP塗り工程B種 一部設備撤去工事部分巾木御影石修繕		
	木製丸柱B:木材ケレン 丸柱カバーAと仕様同様	軒 天	下地調整RB種、AEP塗り工程B種(図示)	根廻	一部根廻石G:御影石離れ部分撤去処分のうえ新設御影石(現場合わせ作成)
	木製丸柱C:木材ケレン、下地調整RB種、AEP塗り工程B種 A、B、C柱:柱頭部彩画塗(色模様既存復元) 木部付柱、見切、木製建具:木材ケレン、下地調整RB種、AEP塗り工程B種 付柱、長押等:見切材のダボ柱・腐食ビスの交換	開口部	既存のまま:資料館木製窓 その他木製窓:木材ケレン、下地調整RB種、AEP塗り工程B種 風除室外部AAD-1:腐食補修、ケレン、下地調整RB種、SOP塗り工程B種 便所入り口WD-5: 木材ケレン、下地調整RB種、AEP塗り工程B種 ハンガー部分共、下地調整RB種、SOP塗り工程B種	看板 彩色	南外壁面 看板:文字変更(現場指示) アルミ複合板 南面西面彩色: 既存彩色に復元 一部ケレン
	彩色:南側、西側 根廻石上から梁上まで既存の上に彩色 一部ケレン調整(現場指示)	破風	木材ケレン、下地調整RB種、AEP塗り工程B種		

改修部分(改修一部を含む)

内 部 仕 上 げ 表							
室 名		床	巾 木	壁	天 井	廻 縁	摘 要
撤去	物 産 館	絨シニアビニル床タイル2.5tハグリ撤去処分 モルタル金コシ押え下地 既存のまま 視覚障害者用誘導バー撤去処分	木製25×100 撤去処分	PB12.5t下地SAP塗 既存のまま 柱型:既存のまま	ロックール吸音板12t 撤去処分 PB9.5t捨張り 撤去処分 軽鉄天井下地 既存のまま CH2700	木製 撤去処分	
改修	サイクル ステーション	高機能単層シート2.0t貼 下地調整 (サンケツ グラニット同等品) 視覚障害者用誘導バー再設置 (新設)	ソフト巾木 H=60	木胴縁調整(窓部分間柱下地) PB12.5t下地 ビニルクロス貼	ロックール吸音板12t貼 PB9.5t捨張り 軽鉄天井下地 既存調整 CH2700	塩ビ	造り付間仕切り・椅子 カウンター・テーブル
撤去	ストック ルーム	塩ビ系シート2.0tハグリ撤去処分 モルタル金コシ押え下地 既存のまま	ソフト巾木 H=60 撤去処分	PB12.5t下地SAP塗 既存のまま 柱型:既存のまま	化粧石膏ボード9.5t 撤去処分 軽鉄天井下地 撤去処分 CH2500	塩ビ 撤去処分	
	事 務 室	塩ビ系シート2.0tハグリ撤去処分 モルタル金コシ押え下地 既存のまま	ソフト巾木 H=60 撤去処分	PB12.5t下地SAP塗 既存のまま 柱型:既存のまま	化粧石膏ボード9.5t 撤去処分 軽鉄天井下地 撤去処分 CH2500	塩ビ 撤去処分	
	湯 沸 室	塩ビ系シート2.0tハグリ撤去処分 モルタル金コシ押え下地 既存のまま	ソフト巾木 H=60 撤去処分	耐水PB12.5t下地SAP塗 既存のまま 柱型:既存のまま	化粧石膏ボード9.5t 撤去処分 軽鉄天井下地 撤去処分 CH2400	塩ビ 撤去処分	
改修	サイクル ステーション	高機能単層シート2.0t貼 下地調整 (サンケツ グラニット同等品) 視覚障害者用誘導バー再設置 (新設)	ソフト巾木 H=60 一部ソフト巾木 H=150	木胴縁調整(窓部分間柱下地) PB12.5t下地 ビニルクロス貼 洗面ウォーターサーバー前 不燃化粧材3.0t	ロックール吸音板12t貼 PB9.5t捨張り 軽鉄天井下地 (新設) CH2700	塩ビ	造り付間仕切り・椅子 手洗い器(収納付鏡共) TOTO drena1200同等品
備 考		石膏ボード 12.5t 不燃 NM-8612 石膏ボード 9.5t 不燃 NM-8612 ロックール吸音板12.5t 不燃 NM-8599	SAP:特殊アクリル樹脂系塗料		屋外塗装 木部・モルタル部 RB種下地調整 AEP塗り工程B種 鉄部塗装 RB種下地調整 SOP塗り工程B種 屋外鉄骨柱補修 上記記載	屋内塗装 木部・鉄部 RB種下地調整 SOP塗り工程B種	



1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 20
DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 改修平面図 1:100		DRAWING NO

※彩色

南側、西側 巾木石上から梁上まで
既存の上に彩色
一部ケリ調整（現場指示）

A 丸柱 修繕部分

1本 腐敗部分根接
継手、角柱から丸柱への加工
ボルト（ステンM16）穴埋木

木材：杉（赤身勝ち）仕上240 250×250×1000
木柱（堅木）30×100×500

曳家作業 ジャッキアップ、控え柱共

丸柱カバー SUS304 1.0t 焼き付け塗装
φ270×1820
シーリング 20×20

B 出隅丸柱 修繕部分

丸柱カバー 仕様同様

C 柱 修繕部分

ケリ、下地処理、AEP2回塗り

D 付柱、見切、木製建具

修繕部分

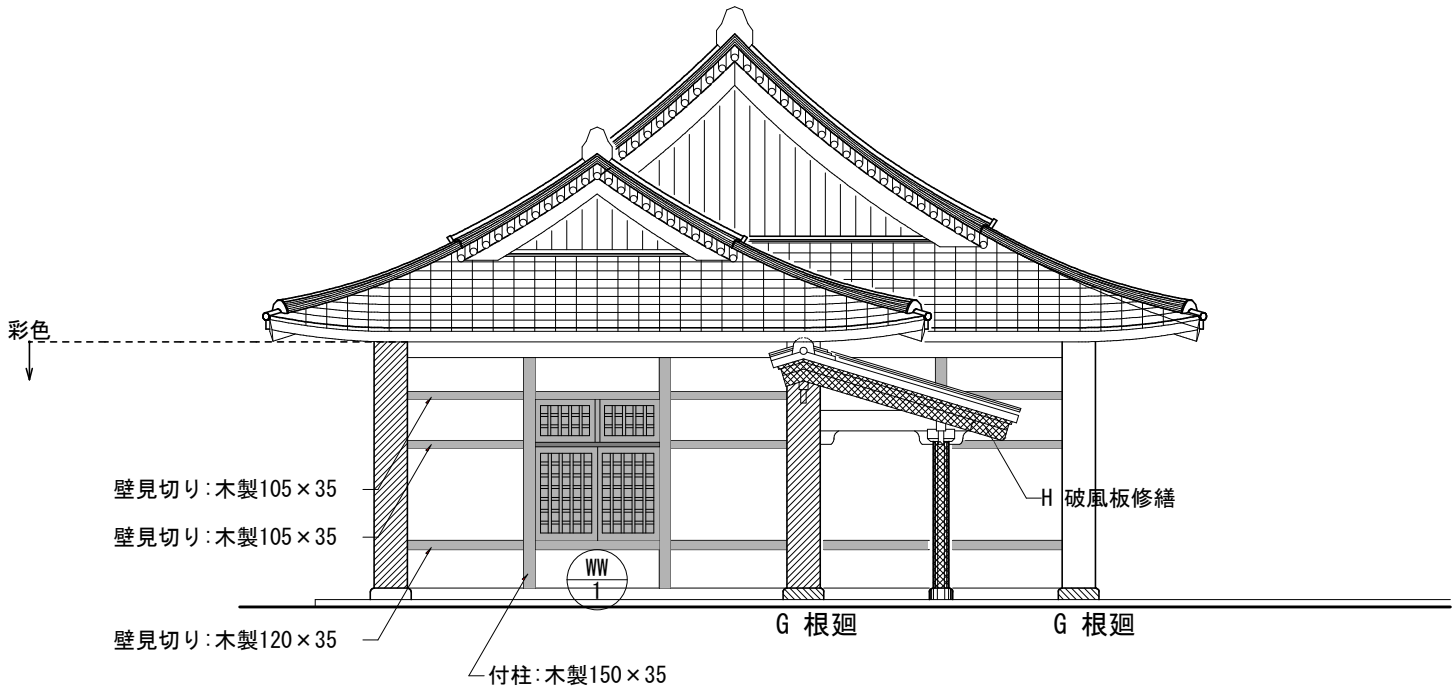
ケリ、下地処理、AEP2回塗り

付柱、長押等
見切材のボルト・栓・腐食ビスの交換
100ヶ所程度

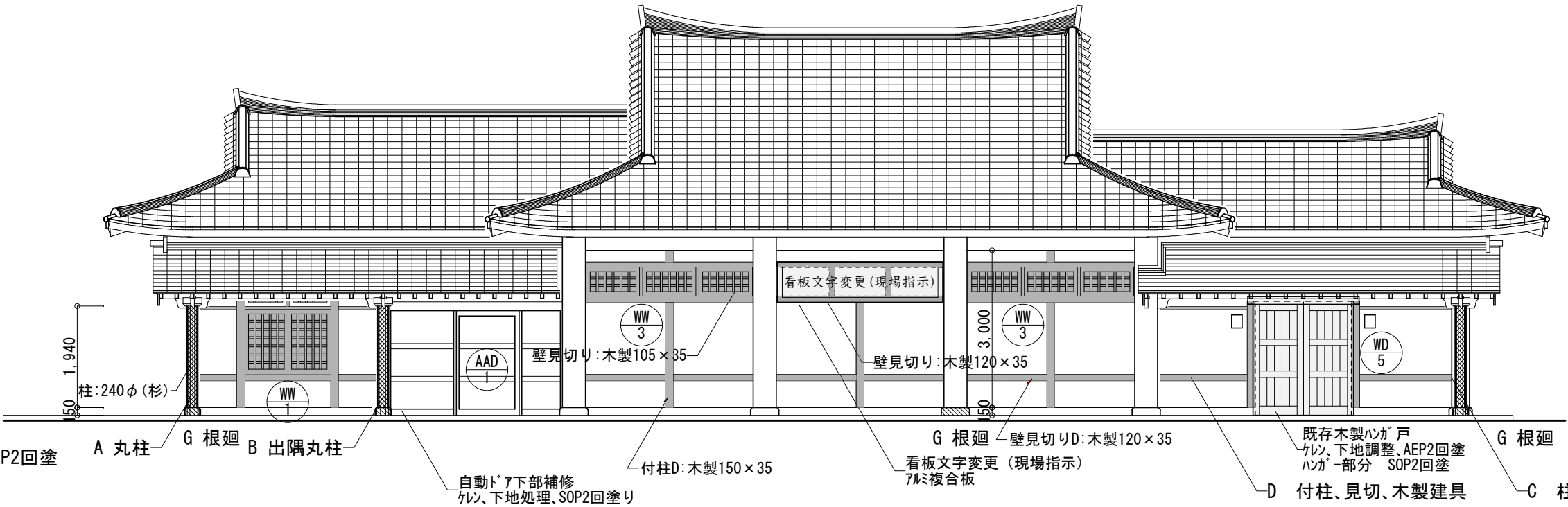
G 根廻 御影石修繕部分

H 破風板修繕ケリ下地処理AEP2回塗

A、B、C柱：柱頭部彩画塗（色模様既存復元）

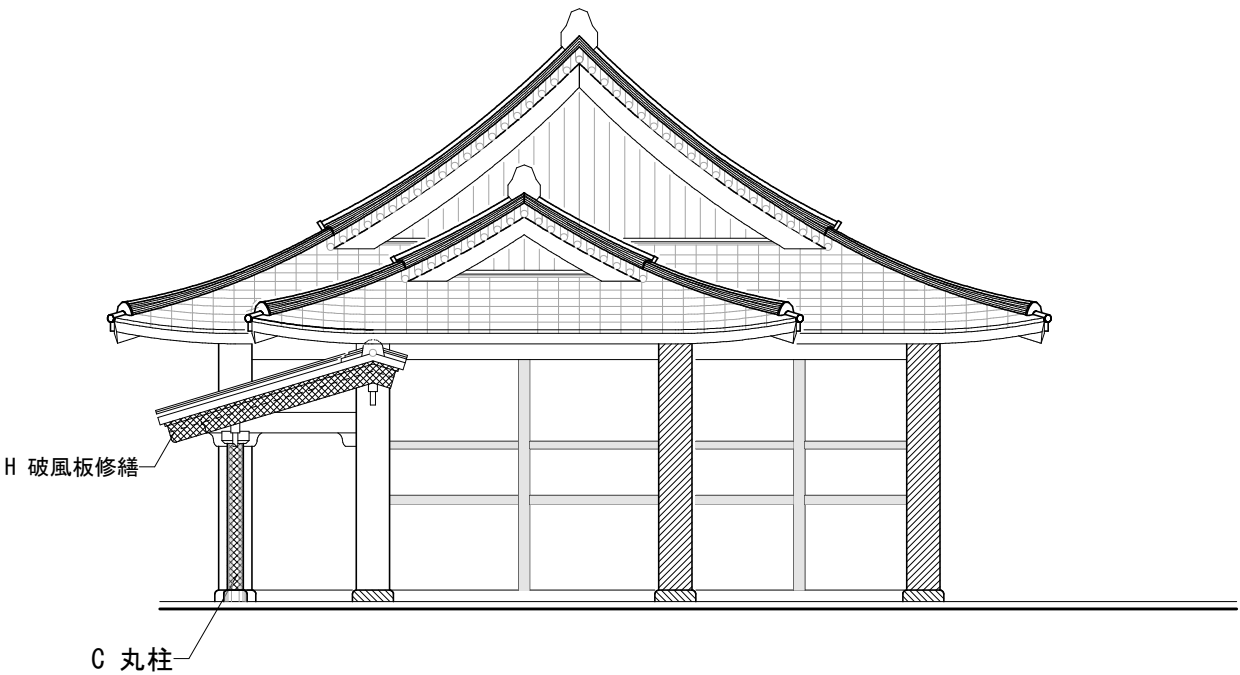


西側立面図 1:100



南側立面図 1:100

	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 改修立面図	S 1:100	NO A — 21 DRAWING NO
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷				



東側立面図 1:100

E 柱 修繕部分

既存モルタル撤去処分の上、鉄骨ケラ3種 下地処理、鉄板6t錆止め塗装(鉄板素地C種・錆止めB種)
フェルト20K張り、タテヤラス張り(ビス止め)、サトウコシ
コーナー定規取付、ベースモルタル中塗仕上、補修材仕上、下地調整RB種、AEP塗り工程B種

F 解体取合部分補修

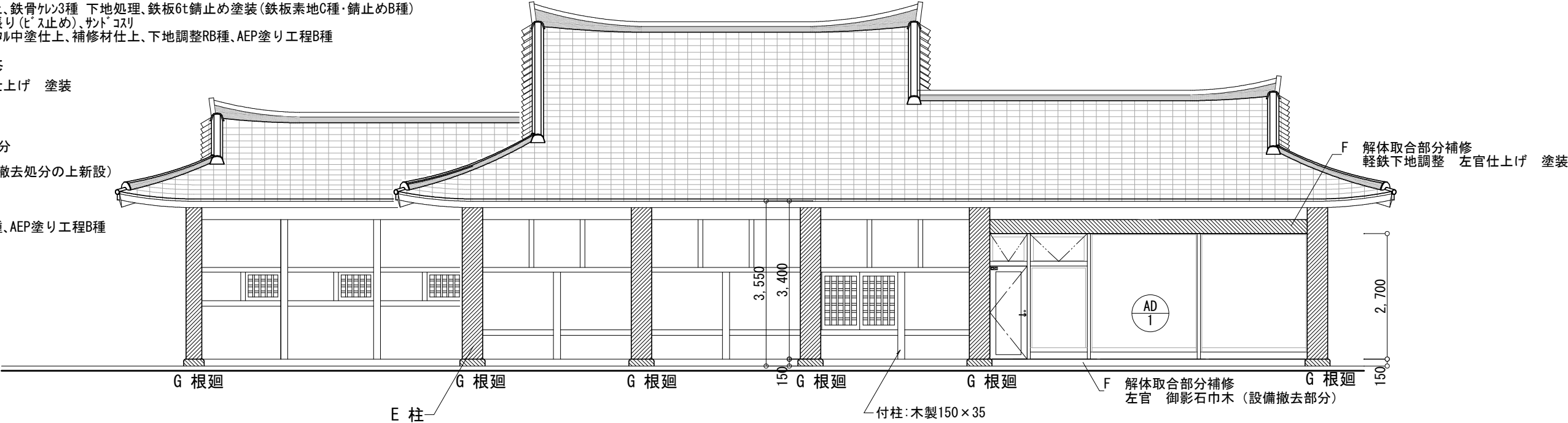
軽鉄下地調整 左官仕上げ 塗装

G 根廻 修繕部分

石離れ部分補修(既存撤去処分の上新設)

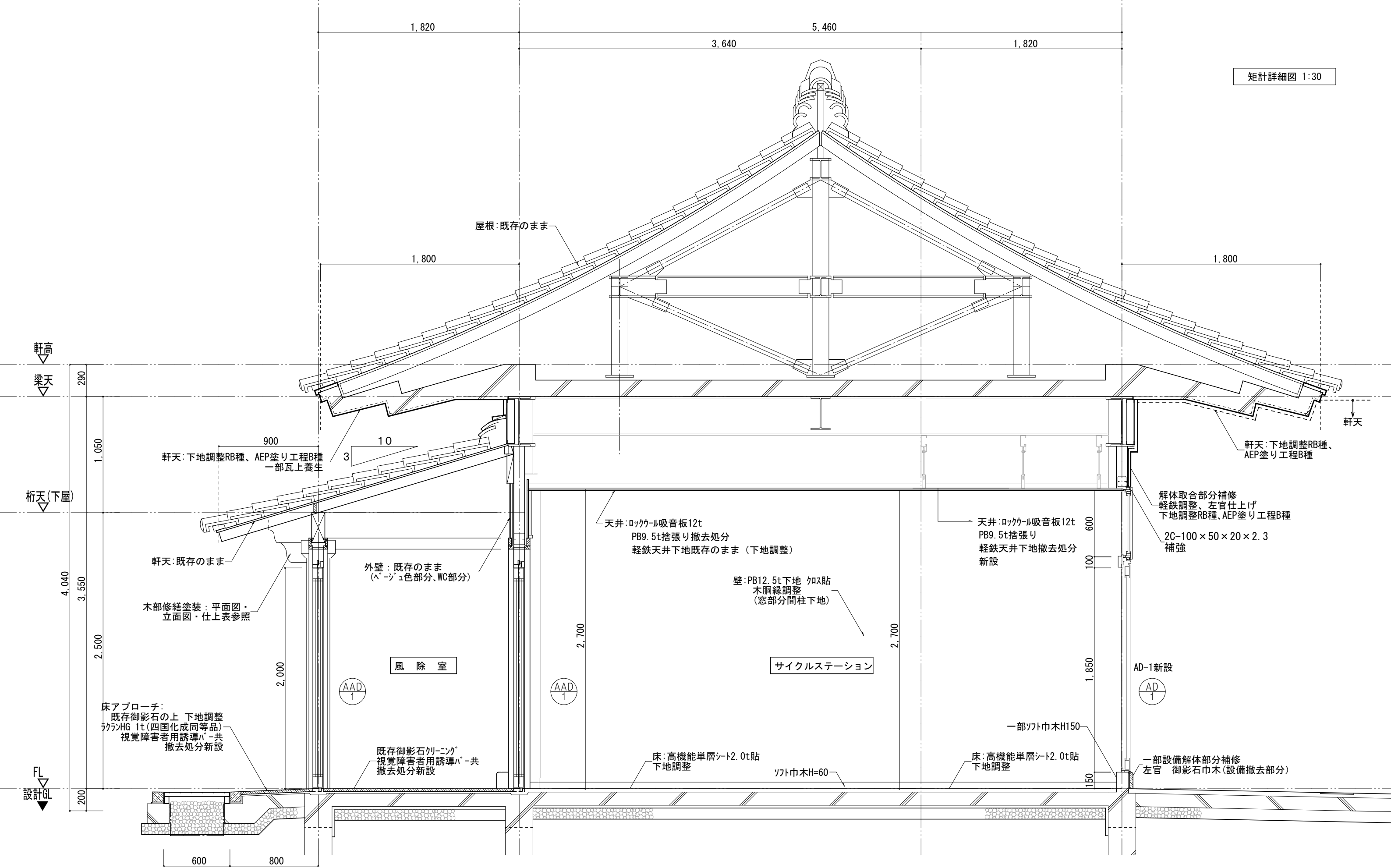
H 破風板修繕

木材ケラ、下地調整RB種、AEP塗り工程B種



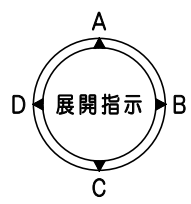
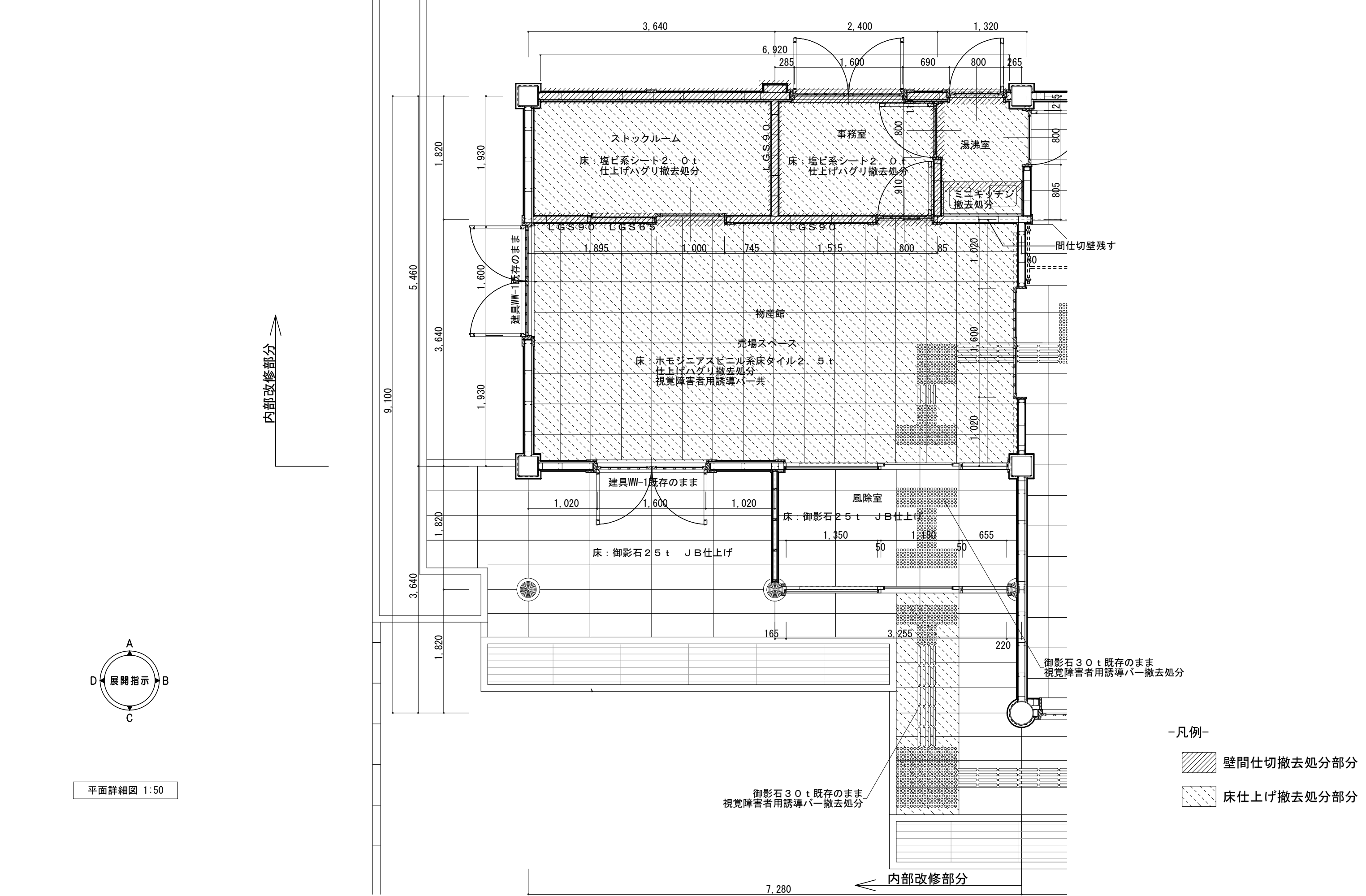
北側立面図 1:100

	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 改修立面図	S 1:100	NO A — 22 DRAWING NO
	DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷					



矩計詳細図 1:30

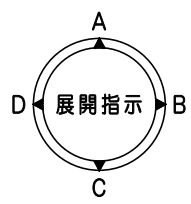
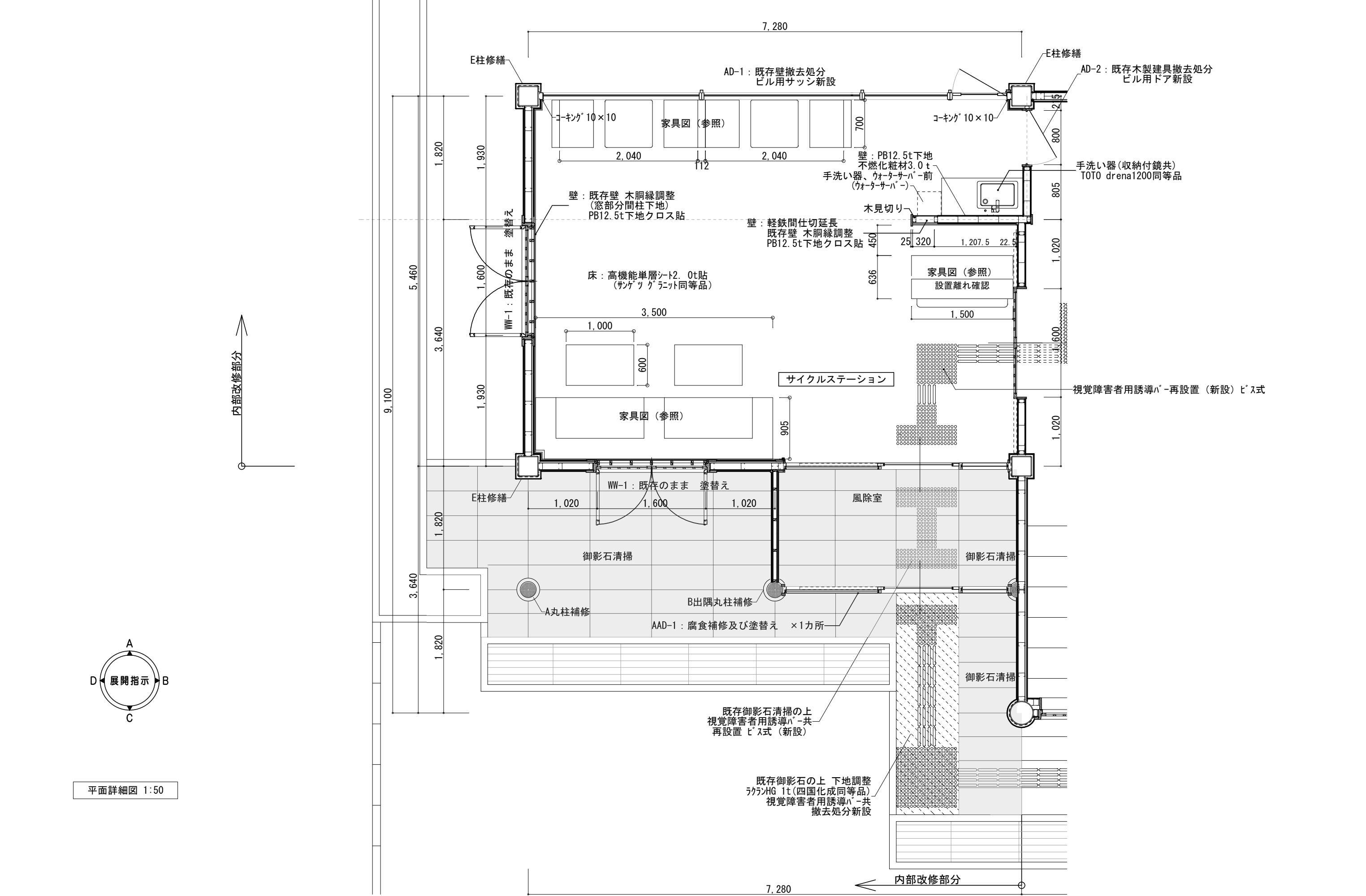
1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 改修矩計詳細図	S 1:30	NO A — 23 DRAWING NO
DATE R8.4	CHIEF	DRAW					



平面詳細図 1:50

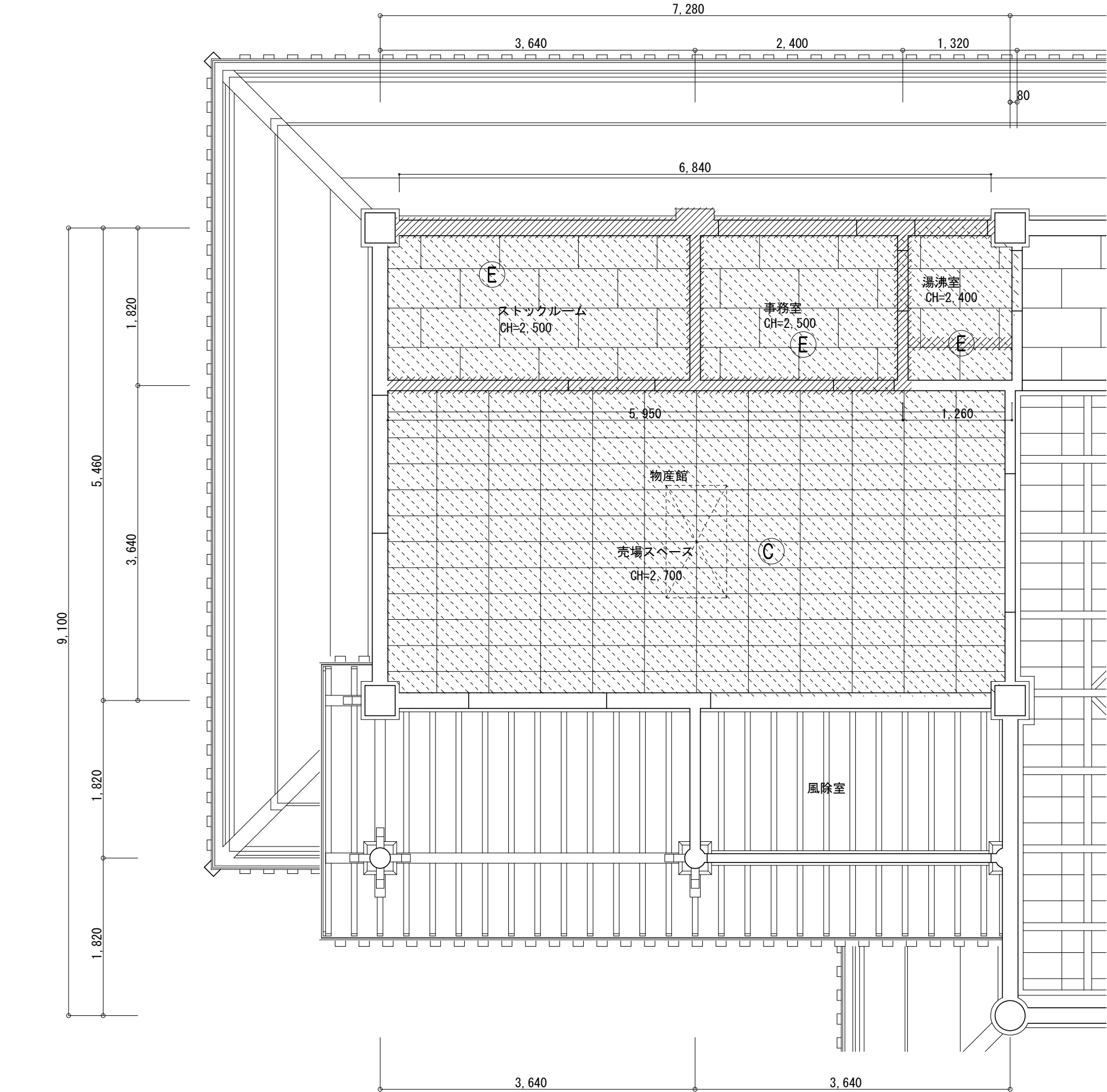
- 凡例-
- 壁間仕切撤去処分部分
 - 床仕上げ撤去処分部分

	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 KANNON TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 24
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		撤去平面詳細図	S 1:50	DRAWING NO



平面詳細図 1:50

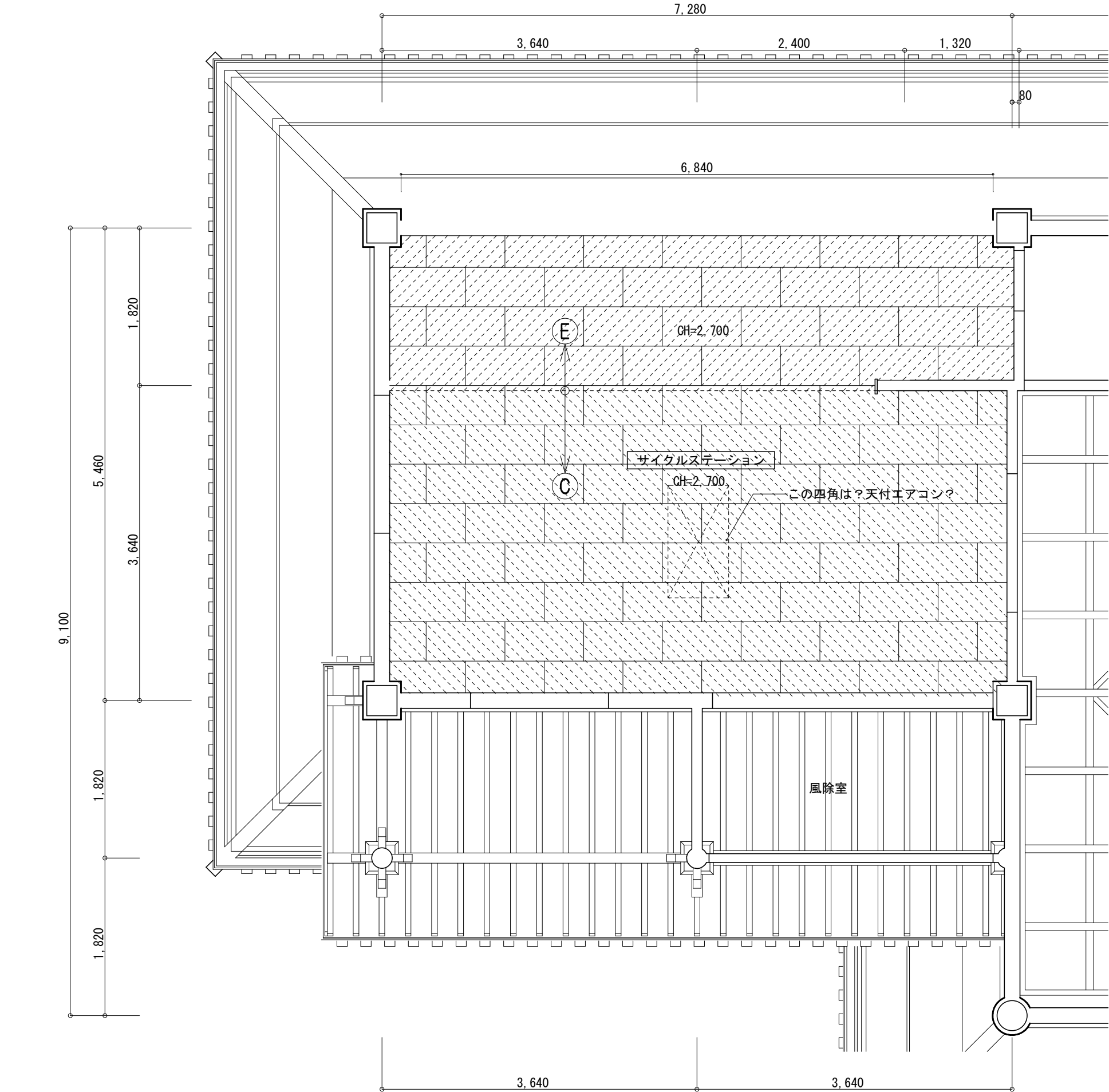
	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176 KANNON	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 25
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		改修平面詳細図	S 1:50	DRAWING NO



番号	仕上
Ⓔ	化粧石コロート® (9.5×455×910) 撤去処分 LGS下地 共撤去処分
Ⓒ	ロックウール吸音板12t (PB9.5t捨張) ハグリ 撤去処分 LGS下地 既存のまま

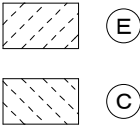
- 凡例 -
- 壁撤去部分
 - 天井撤去部分

1級建築士登録第304900号 安谷 潔 美				住空間デザイン カノン設計室		T I T L E 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		N O A — 2 6	
DATE R8. 4				CH I E F 安谷		S 1:50		D R A W I N G N O	
				KANNON		撤去天井伏図			
				TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176					

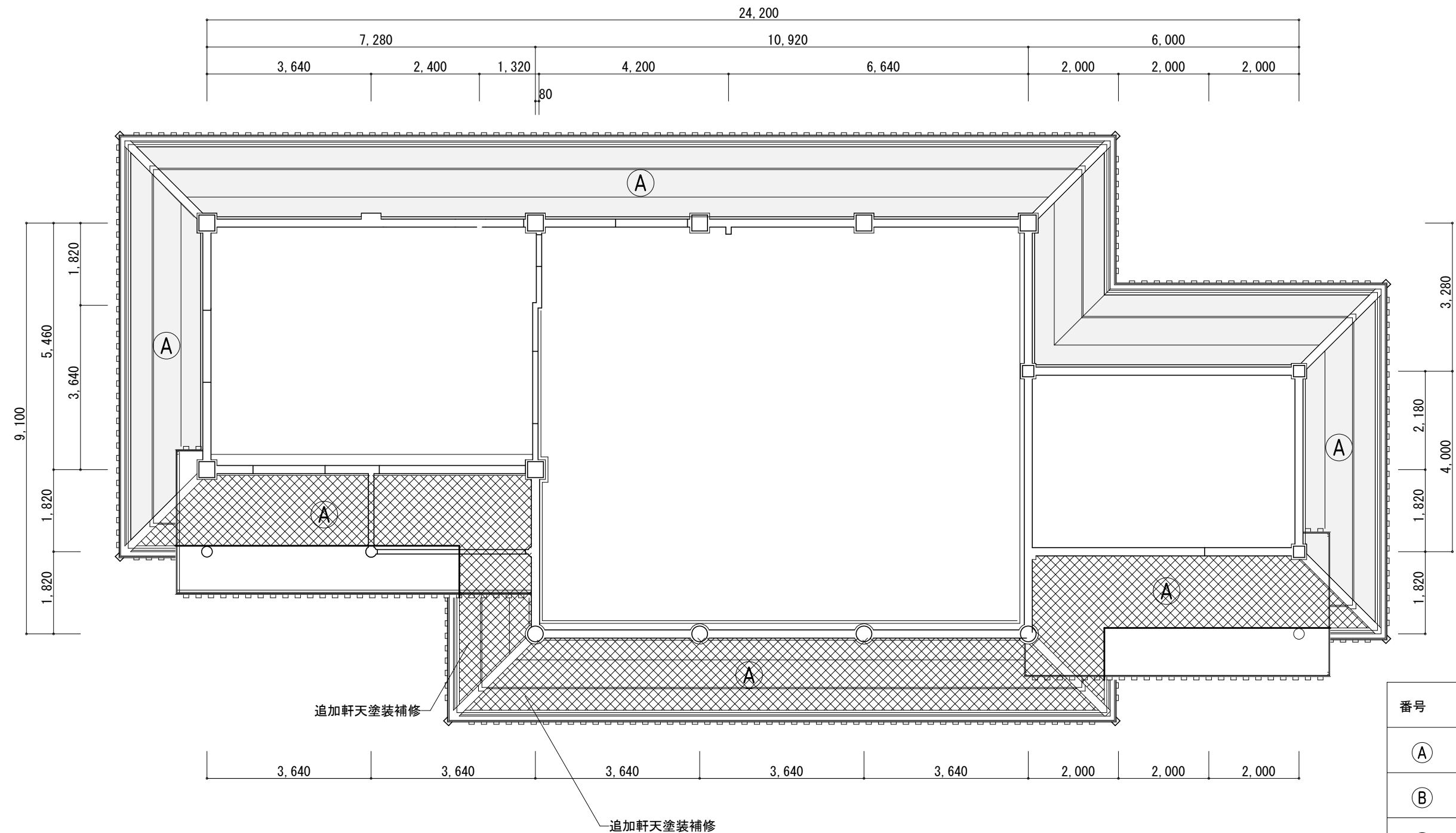


番号	仕上
Ⓔ	ロックール吸音板12t (PB9. 5t捨張) 張 LGS下地設置
Ⓒ	ロックール吸音板12t (PB9. 5t捨張) 張 LGS下地 既存のまま 調整

- 凡例 -

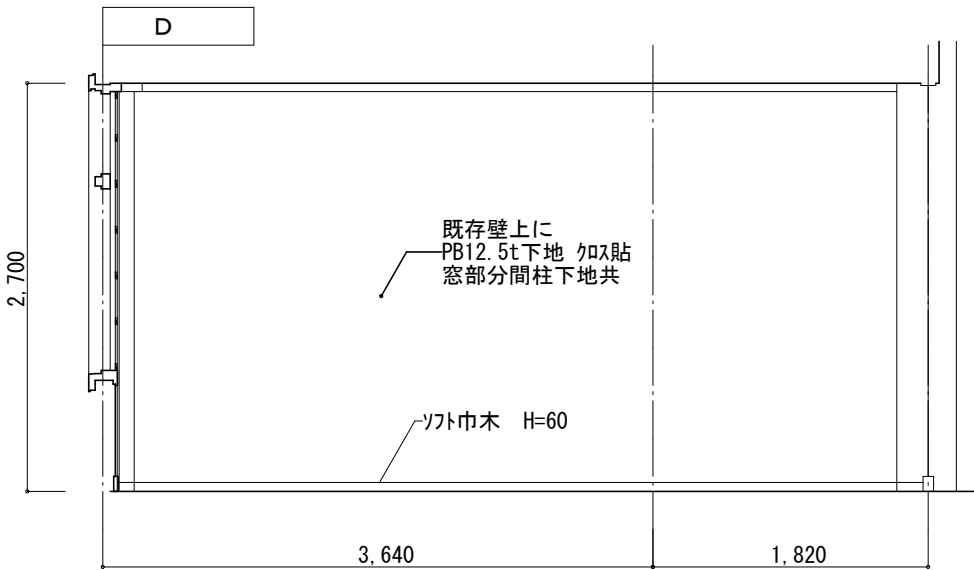
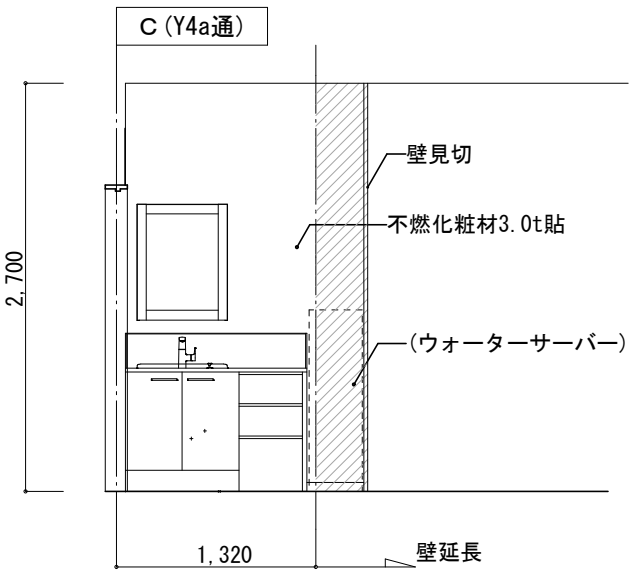
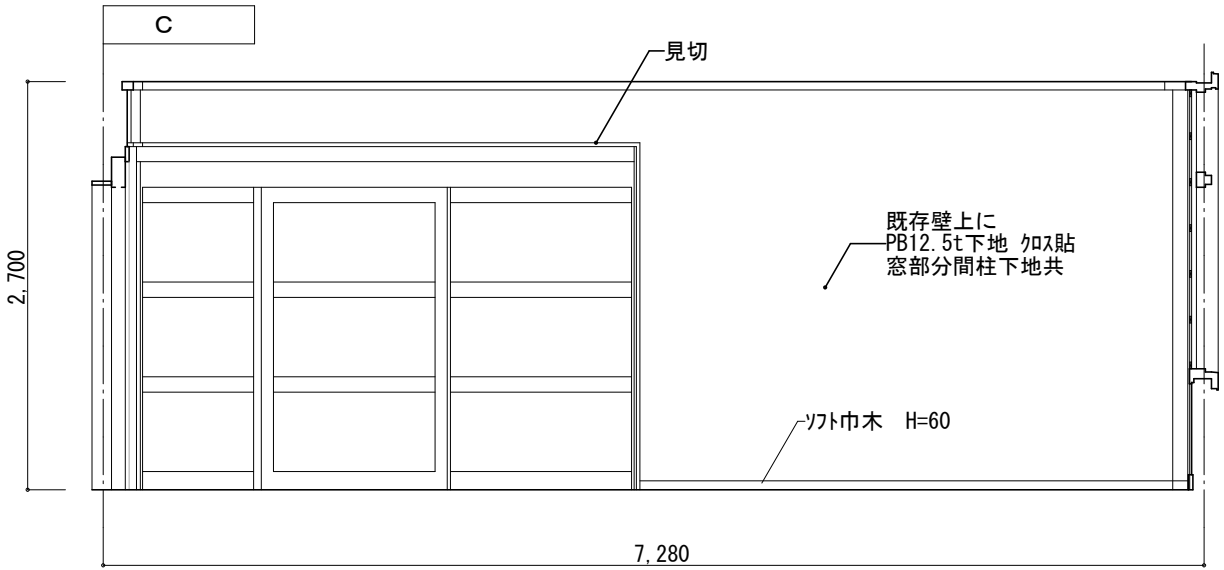
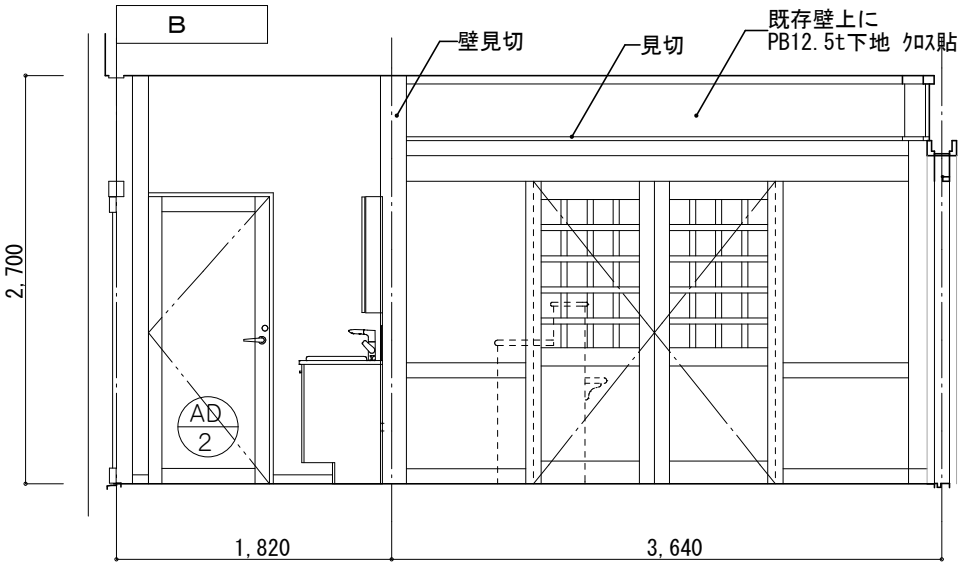
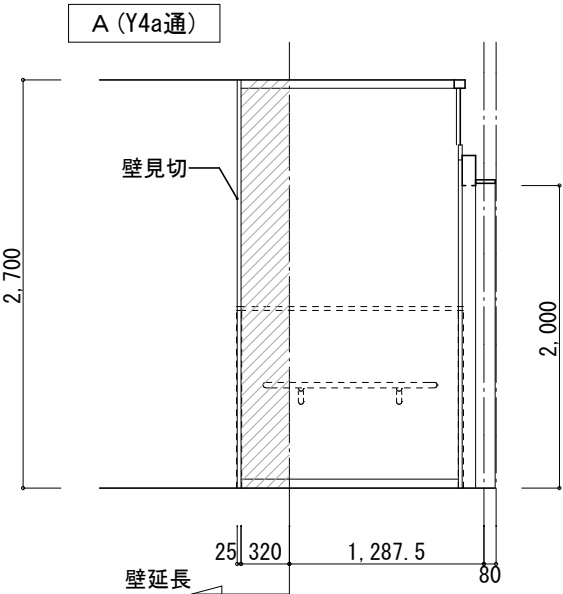
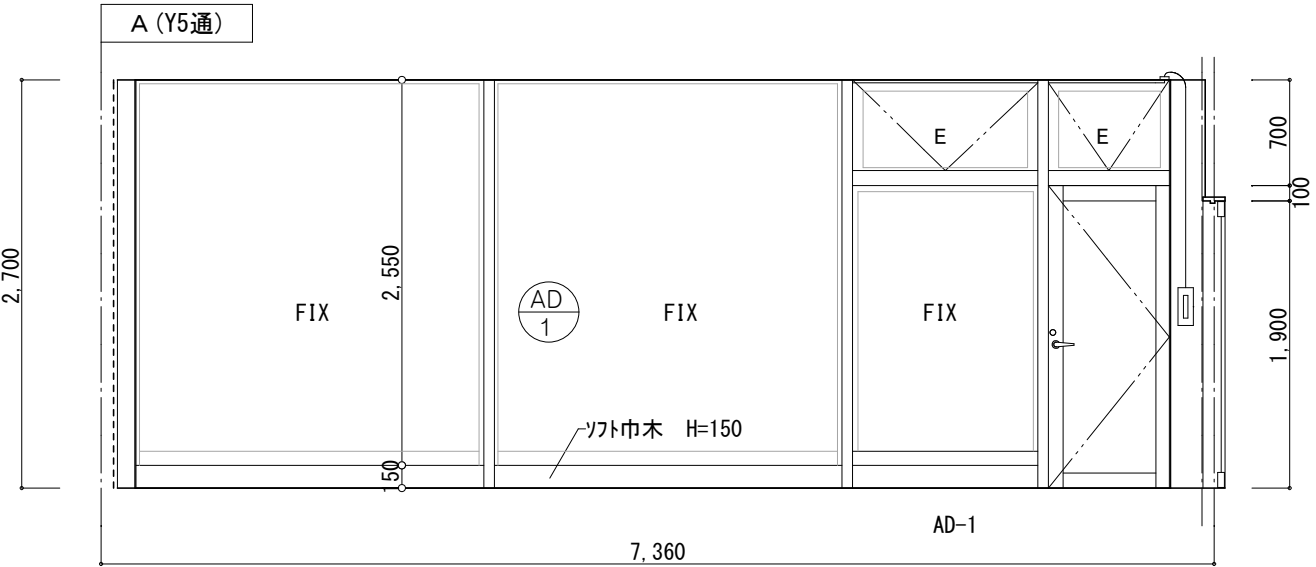


1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 27
DATE R8. 4				DRAW 安谷		S 1:50		DRAWING NO



番号	既存仕上
Ⓐ	SAP塗 コンクリート打放し下地
Ⓑ	野地, 垂木隠しの上SAP塗
Ⓒ	ロックール吸音板12t (PB9. 5t捨張) LGS下地
Ⓓ	ロックール吸音板12t (PB9. 5t捨張) LGS下地, 木化粧格子組 (SAP塗)
Ⓔ	化粧石コブ・ト (9. 5×455×910) LGS下地
Ⓕ	耐水PB12. 5tの上SAP塗 LGS下地
Ⓖ	PB9. 5tの上SAP塗 LGS下地
☒	点検口 (7ℓミ製) 600角

室 名	サイクルステーション
仕 上 げ	
天 井	ロックール吸音板12t貼
	PB9. 5t捨張り
	軽量鉄骨天井下地（新設、調整）
廻 縁	塩ビ
壁	木胴縁調整(窓部分間柱下地)
	PB12. 5t下地 クロス貼
	洗面ウォーターサーバー前 不燃化粧材3. 0t
巾 木	ソフト巾木 H=60 H=150
床	下地調整、高機能単層シート2. 0t貼
	(サンゲツ グラニット同等品) 下地調整
	視覚障害者用誘導パッド再設置（新設）



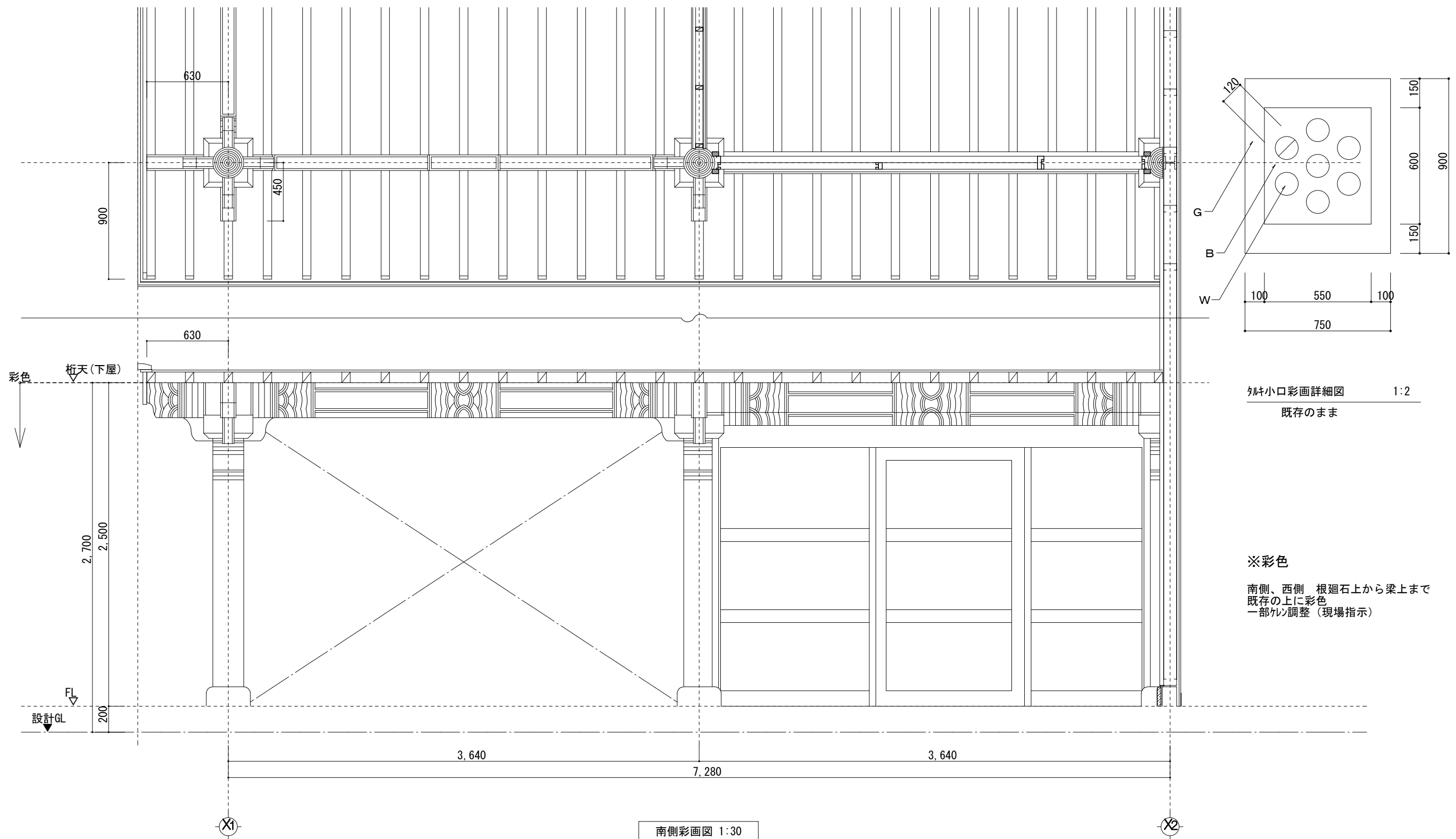
				1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 29
				DATE R8. 4	CHIEF		DRAW 安谷	改修展開図（サイクルステーション） 1:50	DRAWING NO

記 号	AD 1	FIX付排煙外倒し窓付片開きド ^ア	AD 2	片開きド ^ア	
姿 寸 図 法					
数 量	1	(サイクルステーション)	1	(サイクルステーション)	
材 質	アルミ (標準色)		アルミ (標準色)		
見 込	1 0 0		4 0		
硝 子	LOW-E6+A6+FL6		型板 6 t		
塗 装					
金 物	付属金物一式. A P 内外 3 方 ド ^ア チェック、レバ ^ー ハンド ^ル 錠 美和LA20-SV (同等品) オペ ^ー レーターワンタッチ隠蔽、シール		付属金物一式 ド ^ア チェック、レバ ^ー ハンド ^ル 錠 美和LA (同等品) 引き手 (ステン). ガラリ、シール		

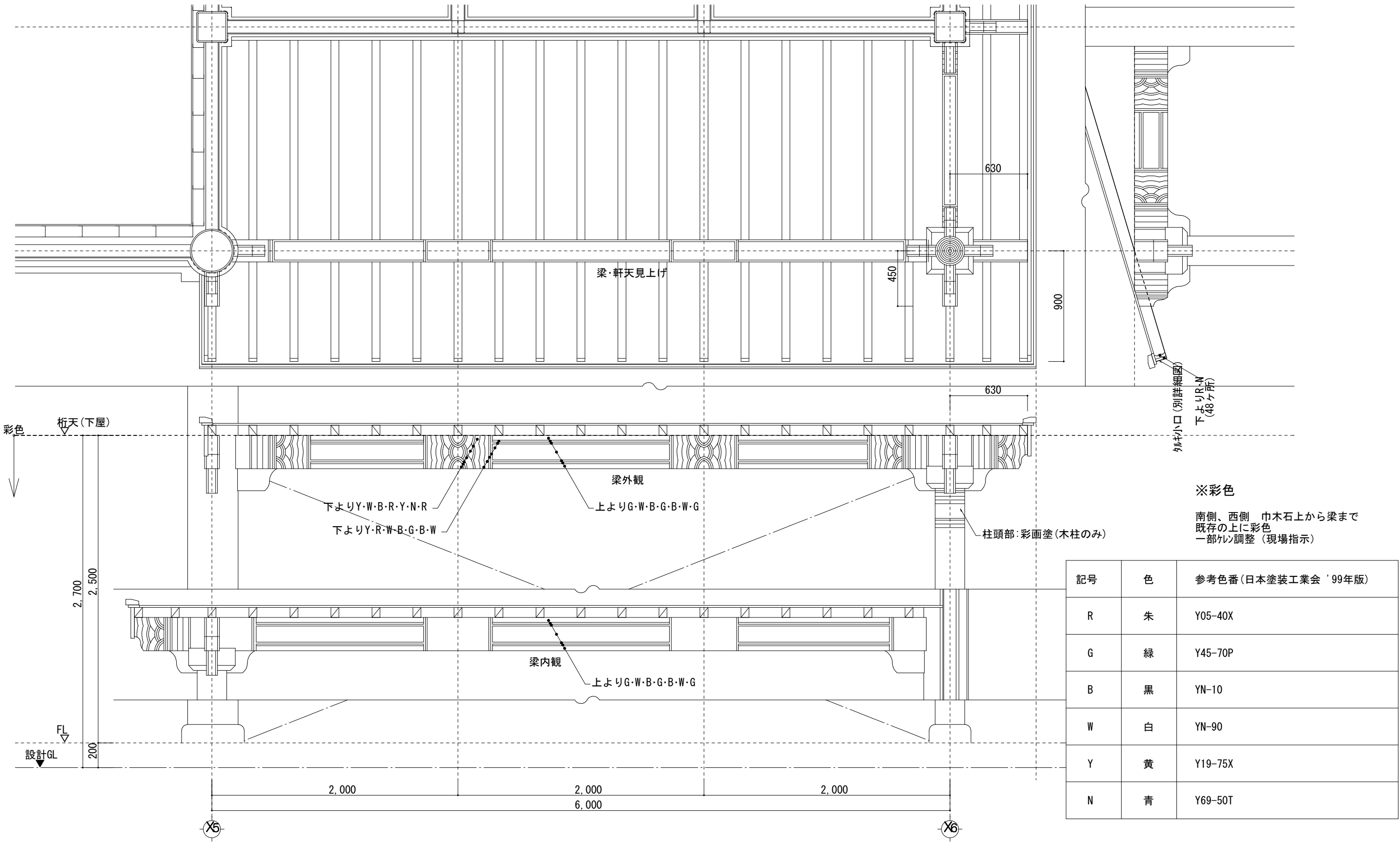
〔特記事項〕

- ・建具金物は、特記なき限りステンレス（ＳＵＳ３０４）製とする。
- ・ガラスは、ホリカルファイト®系シーリング止めとする。
- ・建具金物及び硝子は、見本品を提出し、係員の承諾を得た物を使用する事。
- ・各建具は、加工図を提出し、係員の承諾を得て製作にかかる事。納期に留意する。
- ・施錠（マスターキー）については、確認の事。

	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 30
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 1:100	DRAWING NO

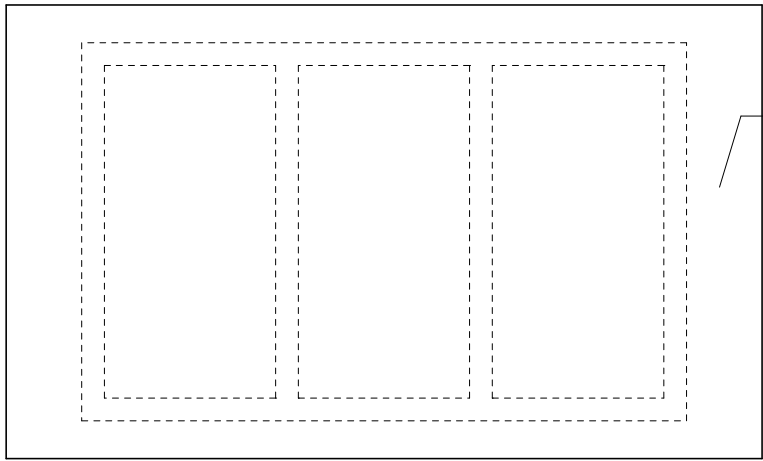
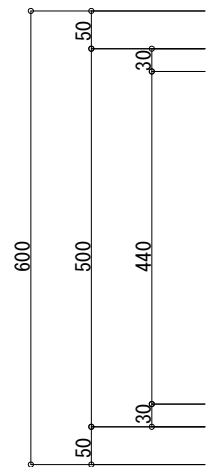


			1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室		TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 31	
			DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷	KANNON TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		S 1 : 30, 1 : 2		DRAWING NO
							改修彩画詳細図1			

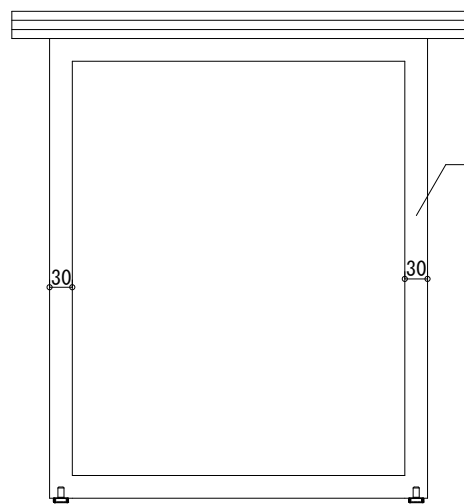
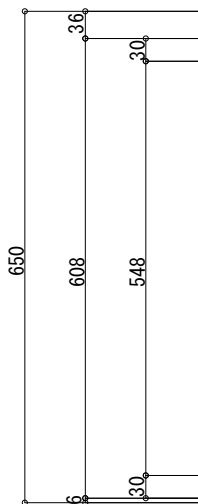
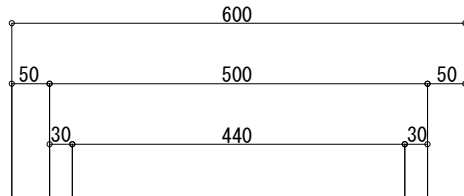
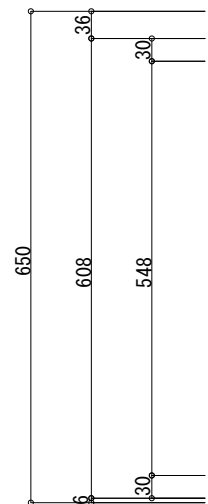
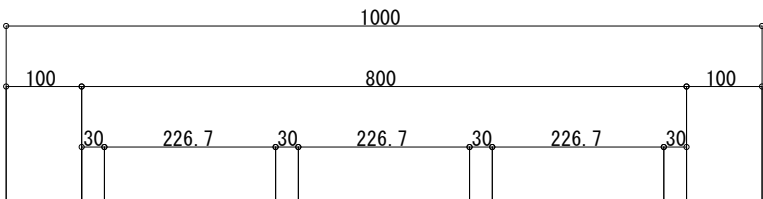
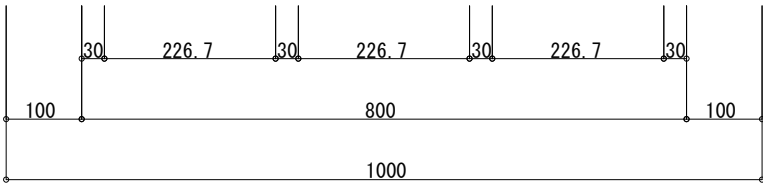




	1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サウスイーストン模様替え工事	NO A — 33
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 改修家具図1 カウンター 1:15	DRAWING NO

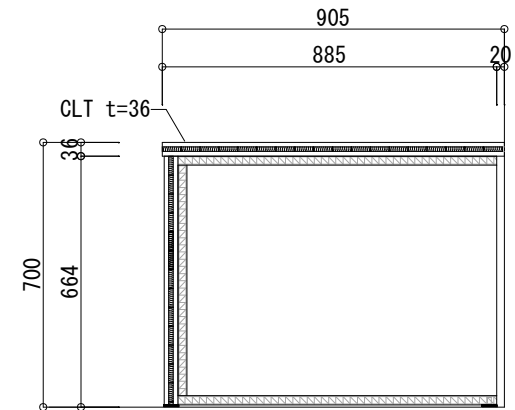
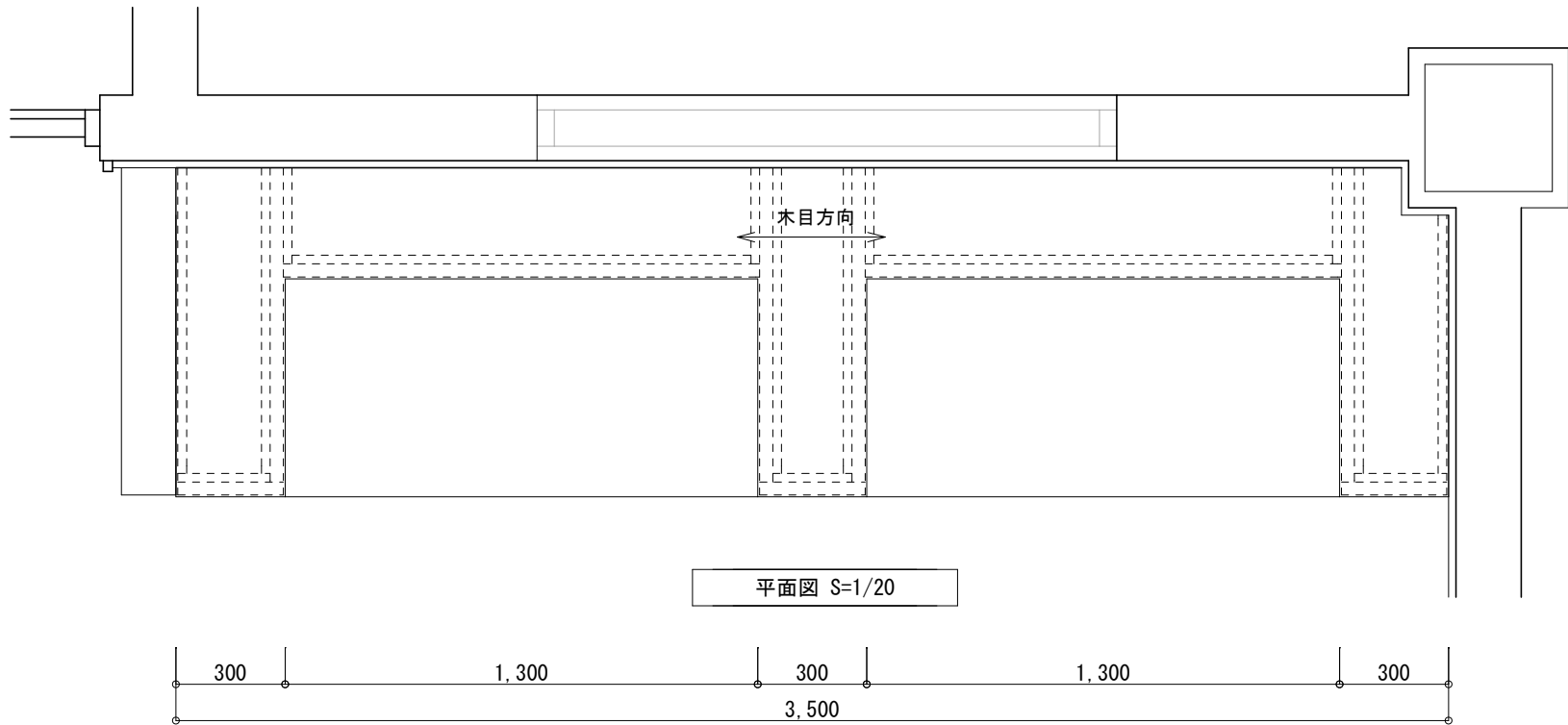


天板: CLT t=36 (ウレタン塗装)

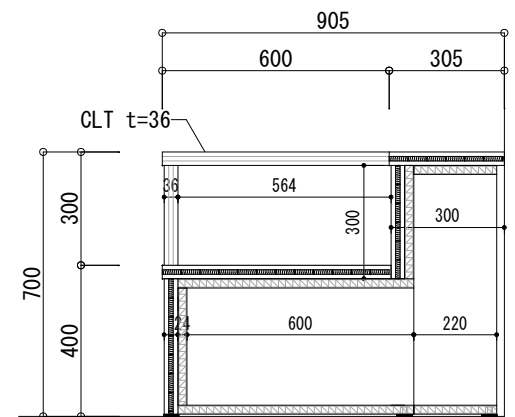
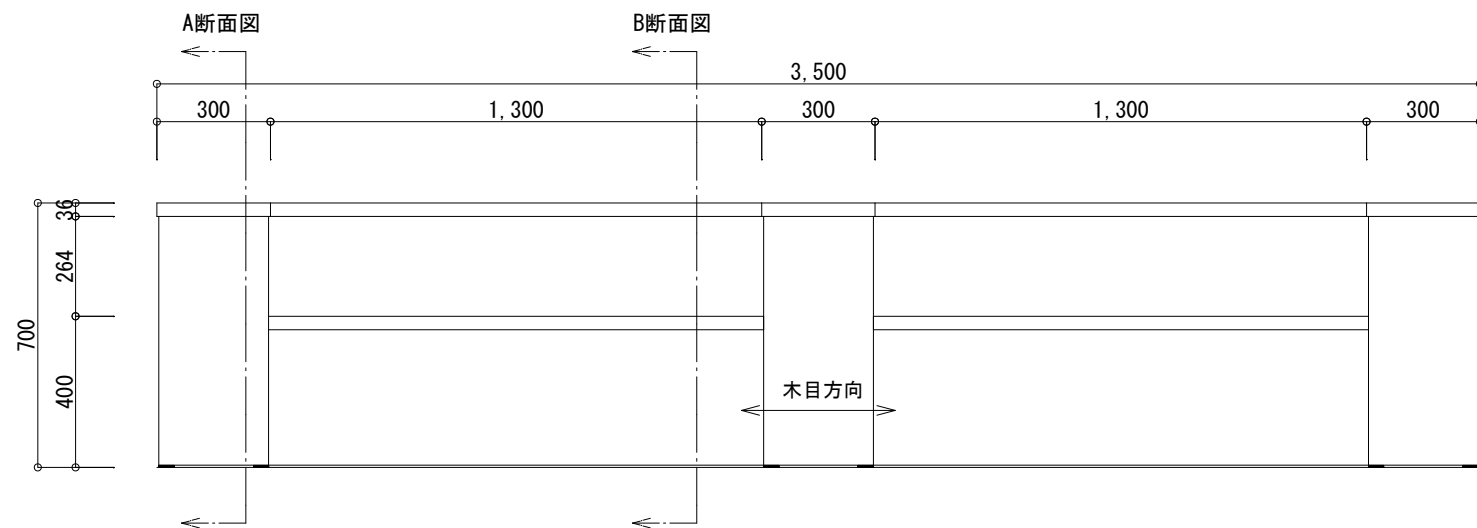


脚: スチール (黒艶消し塗装)

				1級建築士登録第304900号 安谷 潔美	住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 34
				DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷	改修家具図2 入口側テーブル S 1:10	DRAWING NO

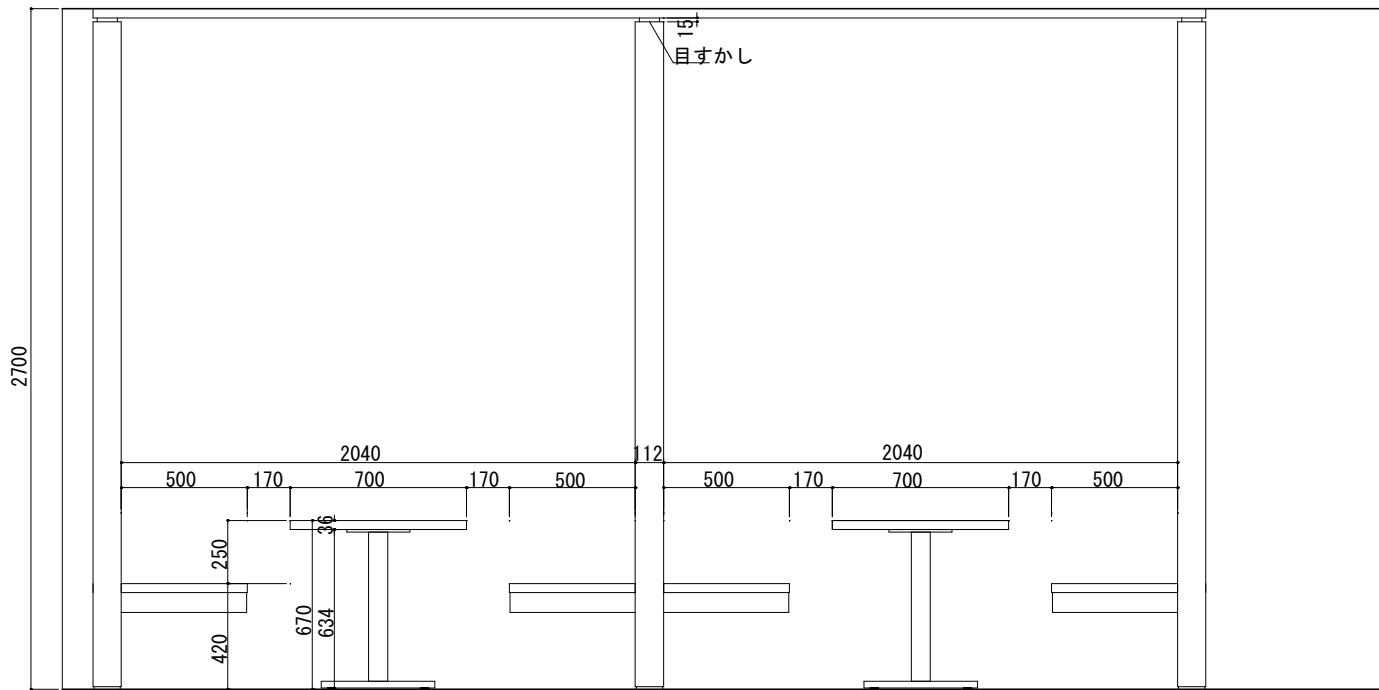
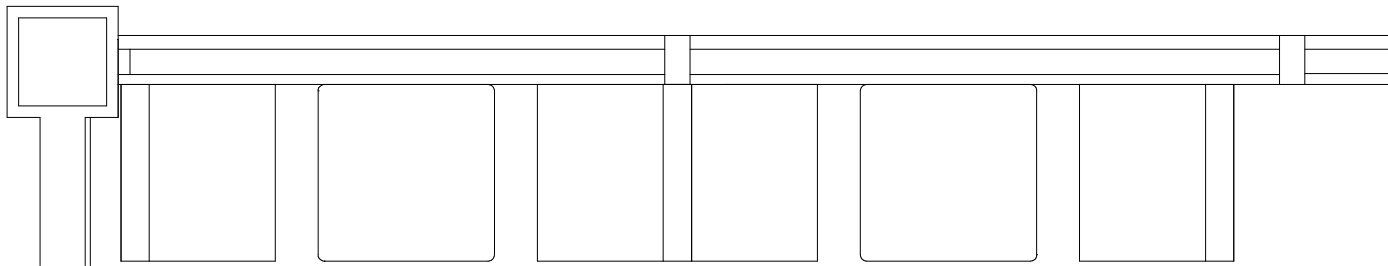


A断面図 S=1/20

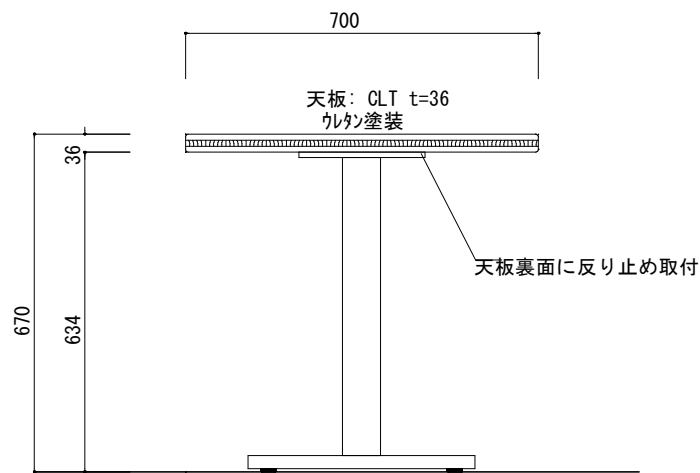
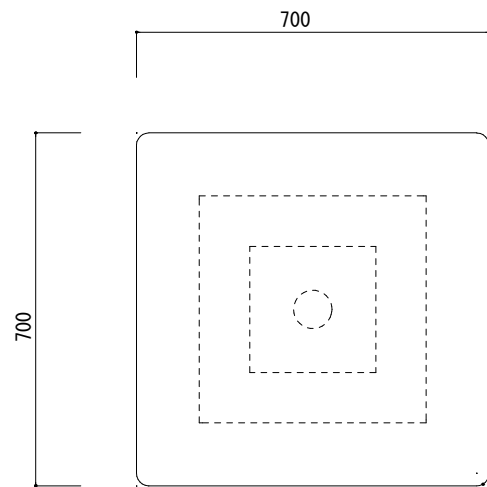


B断面図 S=1/20

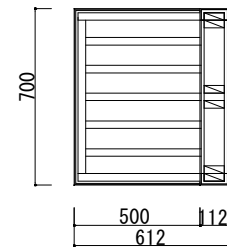
				1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン KANNON		カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 35
				DATE R8.4	CHIEF	DRAW 安谷			改修家具図3 入口側椅子		S 1:20	DRAWING NO



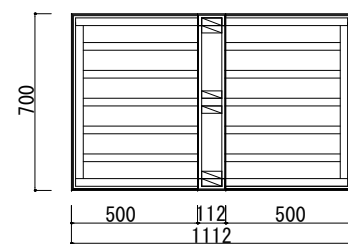
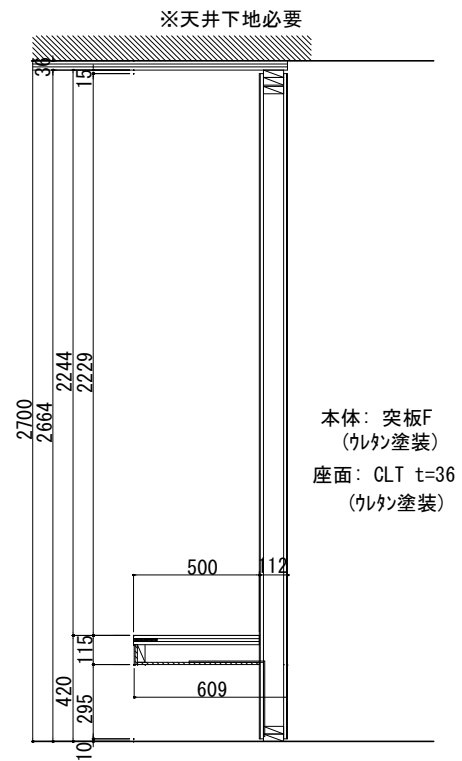
ベンチ・テーブル 1:30



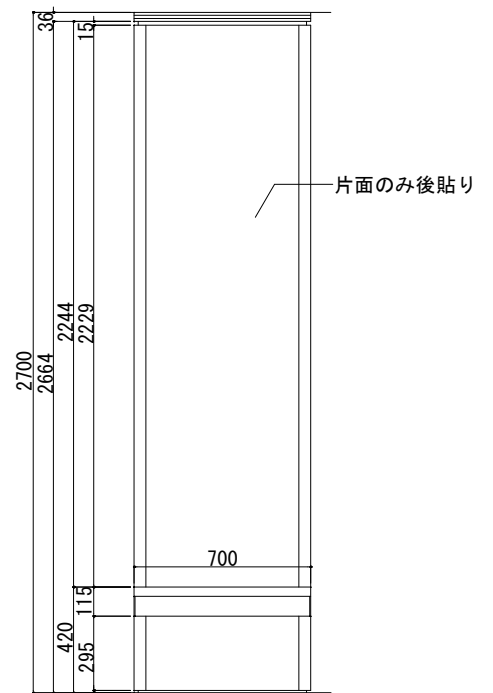
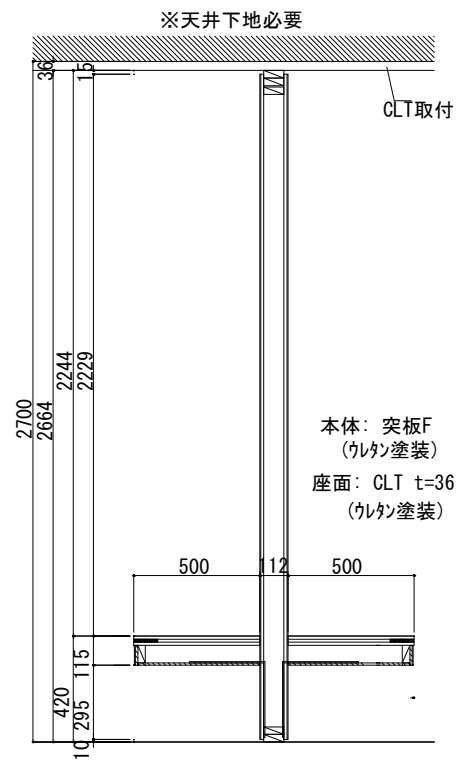
テーブル 1:15



ベンチ 1:30



ベンチ 1:30



1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 36
DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷		S 改修家具図4 窓側ベンチ・テーブル 1:30, 15		DRAWING NO

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工 事 場 所 東伯郡琴浦町大字別所

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築面積(㎡)による延べ面積(㎡)	消防法施行令第4条第一の区分	備 考
1	日韓友好資料館	S	1	695.5	() 項	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工 事 種 目 (㊦ 印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
㊦ 電灯設備		○						
㊦ 動力設備		○						
● 電熱設備								
● 雷保護設備								
● 受変電設備								
● 電力貯蔵設備								
● 発電設備								
● 構内情報通信網設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備								
㊦ 拡声設備		○						
● 誘導支援設備								
● テレビ共同受信設備								
● 監視カメラ設備								
● 駐車場管制設備								
● 防犯・入退室管理設備								
● 火災報知設備								
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 構内配電線路								
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								

4 設 備 概 要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

○ の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
電 灯 設 備	㊦ 電気方式 幹線 ㊦ 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V 分枝 ㊦ 単相2線式 (㊦ 100V ㊦ 200V) ● 直流2線式100V ㊦ 非常用照明器具 ● 誘導灯 ㊦ 電圧計 ● 電圧調整器 ● 電圧調整器 ● 電圧調整器
動 力 設 備	㊦ 電気方式 幹線 ㊦ 単相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100/200V 分枝 ㊦ 単相3線式200V ㊦ 単相2線式 (㊦ 100V ㊦ 200V)
雷 電 保 護 設 備	● 受雷部 ● 避雷導線 ● 接地極
受 変 電 設 備	● 電気方式 高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (100V ● 200V) 改修工事 既存設備 ● kW 新設工事 100kW未満 100kW以上500kW未満 500kW以上 ● 屋内形 ● 屋外形 ● キュービクル式配電盤 (● P形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高圧スイッチギア、変圧器 (CB-3形) 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB

項 目	特 記 事 項
電力貯蔵設備	● 直流電源装置 用途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄電池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 (Ah) 形式 ● 棚仕によるUPS ● 簡易形UPS 用途 ● 電算機用 ●
発電設備	● 自家発電装置 電気方式 三相3線式 ● 6.6kV ● 210V 機器類 形 式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 乾式シリコン ● 薄膜 ● 風車 ● プロペラ形 ●
通信情報設備	● 構内情報通信網設備 ● 機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ● 構内交換設備 ● 交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ● 情報表示設備 ● マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置 ● 映像・音響設備 ● 増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 () ㊦ 拡声設備 用 途 ㊦ 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送 ● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置 ● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール ● アンテナ (● UHF ● BS ● CS) ● CATV ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 機器 (● 本工事 ● 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ● 別途工事) ● 受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ● 運動制御器 (回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体) 感知器 (● 共用 ● 専用) 複合装置 ● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独 受信機 (回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)
中央監視設備	● 形式 ● 警報機 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 ● 監視制御対象設備 ● 動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 ● 伝送方式 ● アナログ方式 ● デジタル方式
構内配電線路	● 電気方式 三相3線式 (● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 施工方法 ● 地中埋設式 ● 架空線式 ● 外灯点滅方式 ● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)
構内通信線路	● 用途 ● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV ● 施工方法 ● 地中埋設式 ● 架空線式
テレビ電波防	● 対策方法 ● 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式 (● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) ● 責任分界点 ● 各戸の保安器一次側 ●

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書のうち、㊦印の付いたものによる。
- ㊦ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下、「標準仕様書」という。)
- ㊦ 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)
- ㊦ 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和4年版) (以下、「標準図」という。)
- (2) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- (3) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は ㊦ の付いたものを適用する。
- ㊦ の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。㊦ と ㊦ の付いた場合は共に適用する。
- (3) 一般共通事項のうち () 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

項 目	特 記 事 項
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
2 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事業用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合において、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建設工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (● 配線用遮断機 ●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の数量PCB分析 ※ 無し ● 有り
3 電気工事士	
4 工事安全計画書等	
㊦ 変圧器の分析及び処理	

⑥ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承認を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。 提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。
⑦ 機材の品質・性能証明	
⑧ 施工図等	
⑨ 完成写真等	
⑩ 完成図等	
⑪ 他工事との取合い	他工事との取合い 電気設備 機械設備 施 設 ● コンクリート壁、床、梁貫通部 補 強 ● ● ※ スリーブ・箱入 ※ ● ● ● 鉄骨造の開口及び補強 ● ● ● ※ ● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共) ※ ● ● ㊦ 経量鉄骨梁のボックス取付用下地 ※ ● ● ● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの板枠及び埋込部分の 仮 枠 ※ ● ● 補強 補 強 ● ● ※ ● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ● ● ● ※ ㊦ 埋込分電盤取付用の天井、壁の下地材・仕上り材 切 り 込 み ※ ● ● ● 補 強 ● ● ● ※ ● 自動閉鎖装置を付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ ● ● ● ※ ● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット (重を含む) ● ● ● ※ ● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線 ● ● ● ※ ● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線 ● ● ● ※ ● テレビアンテナ 基 礎 ● ● ● ※ アンカーボルト ※ ● ● ● ㊦ 天井点検口 ● ● ● ※ ● 自立型制御盤の基礎 ※ ● ● ● ● 機器類のコンクリート基礎 屋 内 ・ 屋 外 設 置 ※ ● ● ● 屋 上 設 置 ● ● ● ※
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
⑬ 表示板	設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する) ※ 工事表示板 ● お願い表示板 1,200 900 1,200 1,600 建設工事中 御通行の皆様へ 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○改修工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築局 建築住宅課 ○○部室 連絡先 ○○-○○○○ 1,200 1,600 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○建設部局建築課長 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○建設事務所環境建築

一般共通事項

⑮工事用仮設物

16 土工事

⑰電線類

⑱電線本数・管路等

19 屋外露出配管の仕上げ

20 露出配管の塗装（付属品含む）

21 波付硬質合成樹脂管（FEP）

⑳フラッシュプレートの材質

㉑カバープレートの表示

24 プルボックスの塗装

25 耐震施工

26 接地極

㉑屋上、屋側の支持金物等

28 耐露防止

㉑アスベスト含有建材の処理

一般共通事項

構内につくることが ※ できる ● できない

埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類（ ） ● 真砂土（ ）

漏洩発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に埋積

本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

壁内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者種準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハログン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次制御の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管（原鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ【めっき付容量 300g/m以上】とする。

塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室（ ） ●

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ● 樹脂製

シール等を貼付け、用途を表示する。

ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無（素地仕上） ● 有（指定色仕上）

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器については、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.0	
	防振支持の機器		2.0	1.5	
	水 槽 類		1.5	1.0	
中間階	機 器	1.5	1.0	0.6	
	防振支持の機器		1.5	1.0	
	水 槽 類		1.0	0.6	
地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.4	
	防振支持の機器		1.0	0.6	
	水 槽 類		1.5	0.6	

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階

中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器（ ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災感知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合室 ●

2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B×3連～2組
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B×3連～2組
● A種	E A	10Ω以下	E B×3連～2組
● B種	E B	Ω以下	E B×2連～2組
● C種	E C	10Ω以下	E B×3連～2組
● D種	E D	100Ω以下	E B×1
● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B×3連～2組
● 交換機用	E t	Ω以下	E B×3連～1組
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B×3連～2組
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B×1
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B×1
● 測定用	E o	—	E B×1

（連絡の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする）

（E D、E D t、E D a、E L t、E oの場合、E BはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする）

（その他単独の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする）

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理現場をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（ ）

一般共通事項

⑱ 補修など

31 はつり

32 はつり工事における非破壊検査

33 あと施工アンカー

34 室内空気中の化学物質の濃度測定

㉑ 火災保険等

36 鳥取県公共事業環境配慮指針

37 建築物省エネ法

① 照明器具

2 一般照明の照度測定

③ 非常用照明の照度測定

4 照明制御の照度測定等

② 機器への接続

1 大地抵抗率の測定

2 外部管保護設備接地システム

1 変圧器移動車輪

2 デマンド監視装置

3 室内照明

1 交流無停電電源装置（UPS）

方式（ ● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式 ）

1 自家発電装置

● ディーゼル発電装置

● ガスエンジン発電装置

● ガスタービン発電装置

● 燃料電池発電装置

● 燃料電池発電装置

運転時間（ h ） 系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ）

出力（ kW ） 配電盤外箱（ ● 有 ● 無 ）

保安装置（ 重故障項目特記 ● 有 ● 無 ） 外部用端子（ ● 要 ● 不要 ）

減圧水栓及び初期注水栓の材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 ）

オイルタンク（ ● 地下 ● 屋内 ）

据付：機械設備工事標準図（ ● 施工30、32（タンク室無し） ● 施工31、33（タンク室有り））

燃料小出槽（ 注2）：汲油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上面フロートは通過形接点とする。

材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス製 ）

燃料油等（ ● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス（ ） ）

排気系統配管断熱材の厚さ（ mm ） ばい煙測定口（ ● 設ける ● 設けない ）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（ 以下） 運転音（ dB以下）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ）

公称最大出力（ kW ） 耐風速（ m/s ）

パワーコンディショナ（ 相 線式 V ） 定格容量（ kW ）

自立運転機能（ ● 有 ● 無 ）

表示装置（ ● 有 ● 無 ） 方式（ ※ 液晶 ● ）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ） 定格出力（ kW ）

1 交換装置

局軸応答方式（ ● 局軸中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式 ）

停電補償時間（ 分 ）

※ 本工事 ● 別途工事

※ モジュラージャック ● 電話用プレート

4 回線数

内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用／実装／容量）

● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台

● デジタルコードレス電話機 台 ● LP電話機 台

6 電話機への配線

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

● ボタン電話機（ ● EM-BTIEE 0.4～2P ● ）（ ※ 15m ● ）

● 内線電話機（ ● EM-TIEF 0.65～20 ● TIVF 0.65～20 ）（ ※ 15m ● ）

● 多機能電話機（ ● EM-BTIEE 0.4～2P ● ）（ ※ 15m ● ）

● LP電話機（ ● EM-UTP 0.5～4P ● ）（ ※ 15m ● ）

1 マルチサイン装置

イメージスキャナ（ ● 設ける ● 設けない ）

制御装置（ ● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形 ）

呼出機能（ ● 有 ● 無 ） 方式（ ● 発光ダイオード ● 液晶 ● ）

3 時刻表示装置

観時計（ ● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線 ）

太陽電池式屋外時計（点灯時間 h 点灯保証日数 日）

1 プロジェクタ

光出力（ ● I形 ● II形 ● III形 ） 解像度（ ● A形 ● B形 ● C形 ）

コントラスト比（ ● X形 ● Y形 ）

Ⅲ. 機 材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

㈱永井電機工業所 ㈱平木電機産業

小林制御電機 ㈱富士オートメーション

勝美産業㈱ ㈱増岡電機製作所

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美

住空間デザイン KANNON

TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176

承認 安谷

管理技術者 安谷

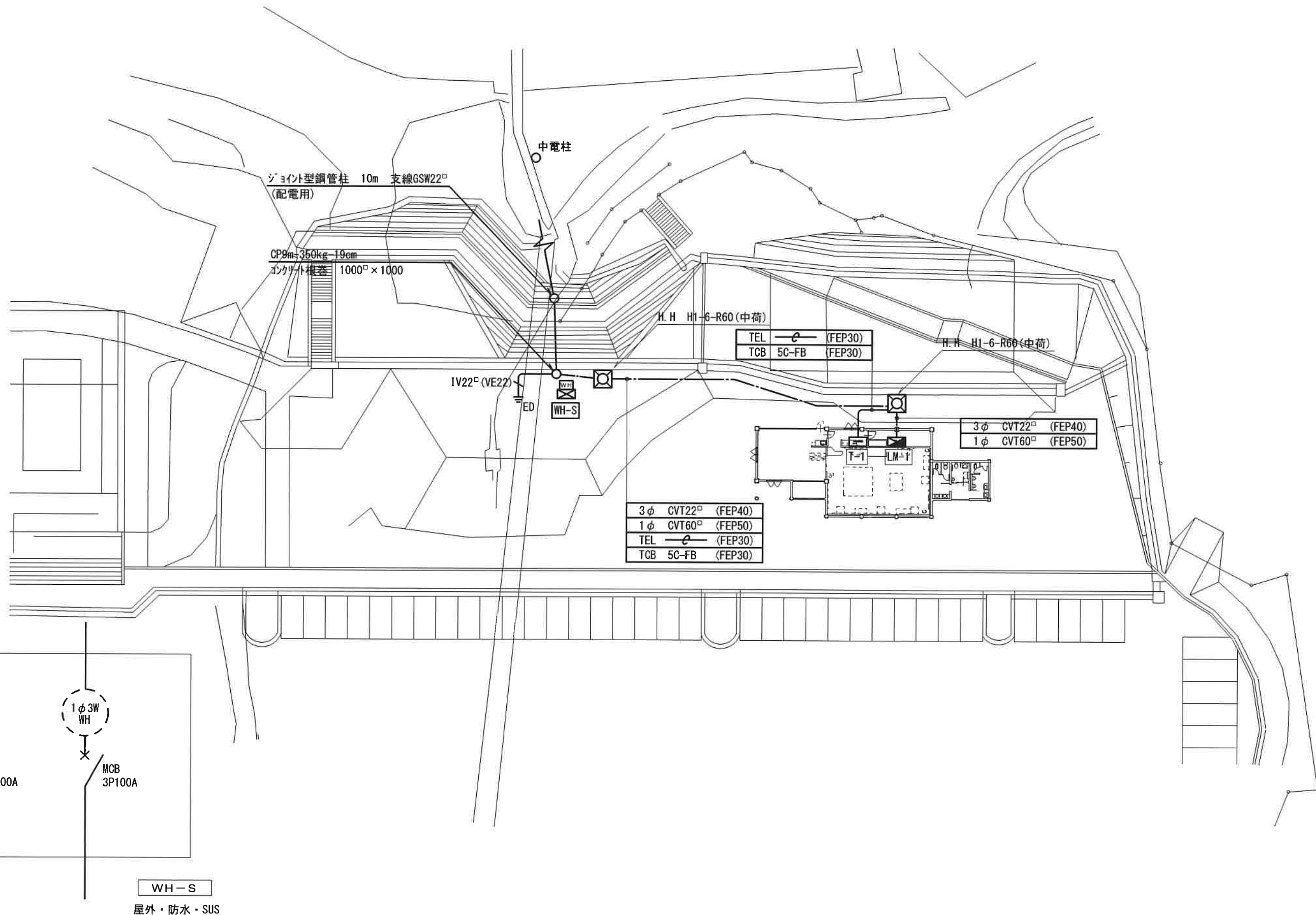
担当 安谷

作図 小村

TITLE 日韓友好資料館サクソルステーション模様替え工事

電気設備工事特記仕様書（2）

NO E-02 / 14



住空間デザイン
KANNON

カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

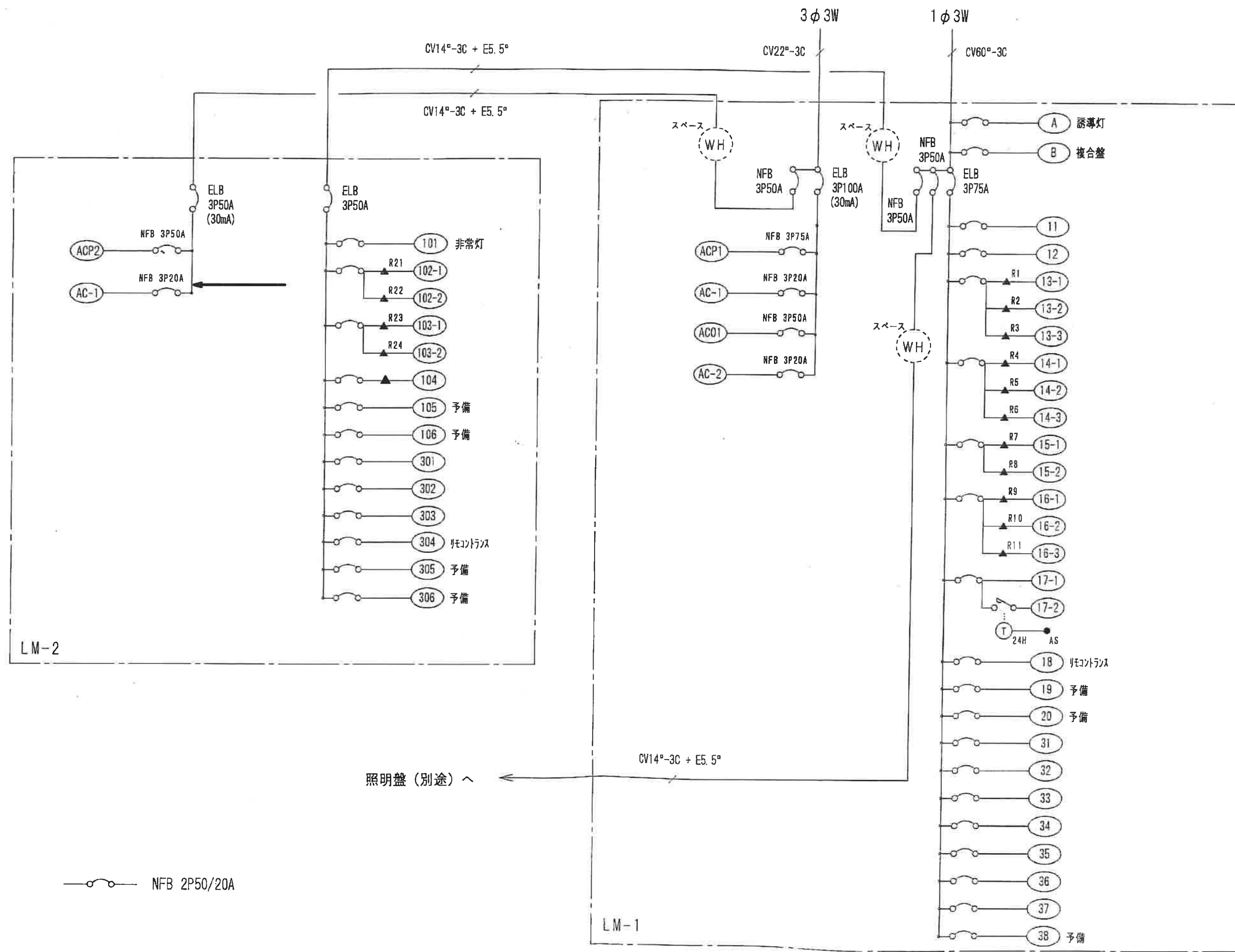
1級建築士登録第304900号
安谷潔美

承認	管理技術者	担当	作図
安谷	安谷	安谷	小村

縮尺	1/400
設計年月日	2026. 4

工事名称	日韓友好資料館サイクリングステーション模様替え工事
図面名称	外構設備 既存図

図面番号	E-03
	14



住空間デザイン
KANNON

カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

1級建築士登録第304900号
安谷潔美

承認

安谷

管理技術者

安谷

担当

安谷

作図

小村

縮尺

-

設計年月日

2026. 4

工事名称

日韓友好資料館リノベーション模様替え工事

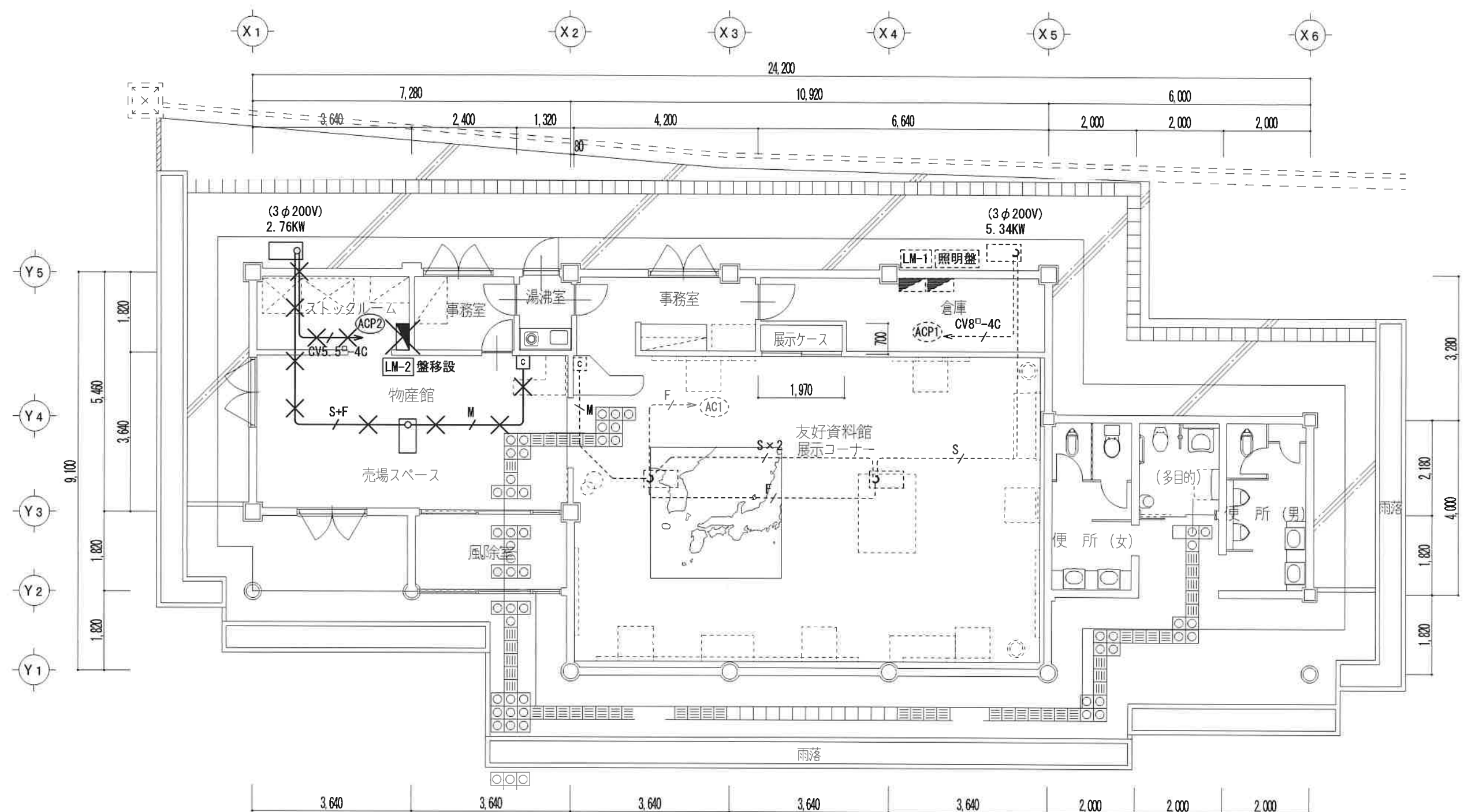
図面名称

強電盤図面 既存分電盤

図面番号

E-04




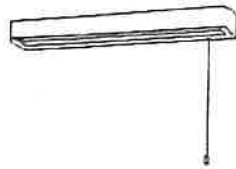

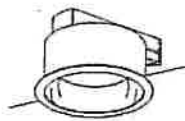
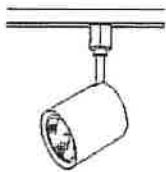
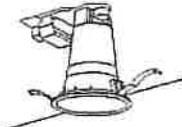




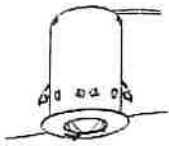
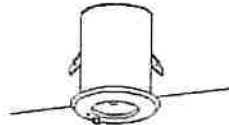

14



平面図 1:100

	VVF2. 0-3C
	CVV-S2 [□] -3C
	MVVS0. 75 [□] -3C
	破線は既設を表す
	コントロールスイッチ(機械設備支給)

※ 室外機への配線は、冷媒ライン内配線とする。

F401	FL40W×1 富士型	F402	FL40W×2 富士型	G 18	FDL18W×1 タウンライト	H201	FL20W×1 キッチンライト	I201	FL20W×1 フラケット
 <p>本体：亜鉛鋼板（クロムレス） 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） エコ電球使用</p> <p>松下電工 FA41038F</p>		 <p>本体：亜鉛鋼板（クロムレス） 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） エコ電球使用</p> <p>松下電工 FA42038F</p>		 <p>埋込穴φ150 埋込高H=170 枠：プラスチック（高反射ホワイト） 反射板：プラスチック（高反射ホワイト）</p> <p>松下電工 NF11957F</p>		 <p>壁面・棚下兼用取付型 プラスチック（ホワイト）</p> <p>松下電工 HW2018EP</p>		 <p>防湿・防雨型 壁付・天井直付兼用型 本体：ステンレス カバー：ポリカーボネート（乳白） 枠：ステンレス（クリア塗装）</p> <p>松下電工 FW21807</p>	
J 36	FML36W×1 タウンライト	K 65	JD65W×1 スポットライト	L 36	FHT32W×1 タウンライト	M 60	IL60W×1 ユートペンダント	N401	FL40W×1 ショーケース用
 <p>埋込穴φ250 埋込高H=135 枠：（オフホワイト） 反射板：アルミ（銀色鏡面仕上）</p> <p>松下電工 NF31760P</p>		 <p>配線ダクト用 本体：アルミダイカスト（オフホワイトつや消し） ダイケールミラー（φ70）分離型</p> <p>松下電工 NL02621W</p>		 <p>埋込穴φ150 埋込高H=177 枠（オフホワイトつや消し） 反射板：プラスチック（銀色鏡面仕上） ボルトフリー（100～242V）</p> <p>松下電工 NHT31756K</p>		 <p>カバー 支線品</p> <p>松下電工 NF41551F</p>		 <p>本体：銅板（高反射白色粉体塗装）</p> <p>松下電工 NF41551F</p>	
O 24	FHT24W×1 タウンライト	P401	FHF32W×1 フラケット	a 13	JE13W×1 非常灯	b 9	JE9W×1 非常灯	c 20	CF220×1 避難口誘導灯片面
 <p>埋込穴φ200 埋込高H=160 グレアカット30° 防雨型（透明ガラス付） 枠：アルミフォージング枠（オフホワイトつや消し） 反射板：アルミ（銀色鏡面仕上） ボルトフリー（100～242V）</p> <p>松下電工 NHT21733</p>		 <p>グローブ：アクリル（乳白・透明） オフホワイト W=1258・H=93・出ししろ105</p> <p>松下電工 NSF41531</p>		 <p>埋込穴φ100 埋込高H=132 バッテリー交換サイン付 枠：銅板（オフホワイトつや消し） 反射板：アルミ（高効率銀蒸着仕上）</p> <p>松下電工 LB91600</p>		 <p>埋込穴φ100 埋込高H=132 枠：銅板（オフホワイトつや消し） 反射板：アルミ（高効率銀蒸着仕上）</p> <p>松下電工 LB90670P</p>		 <p>B級・B.L形 パネル形 天井直付型 ランプ寿命：60000時間</p> <p>松下電工 FA21157Z+FK02150Z</p>	

ストックルーム	
F401	× 1
(撤去)	

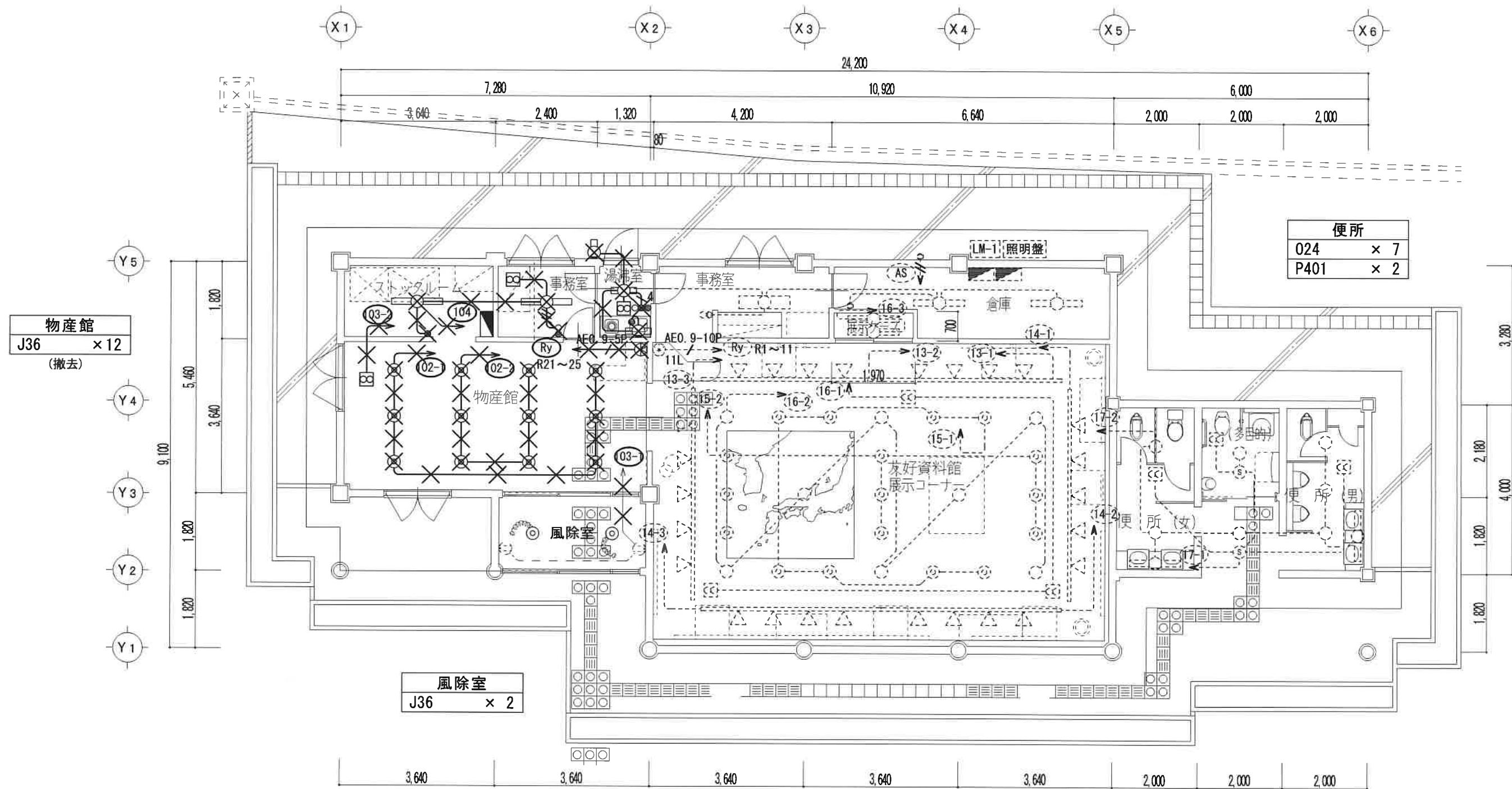
事務室	
F401	× 1
(撤去)	

湯沸室	
G18	× 1
H201	× 1
(撤去)	

外灯	
I201	× 1
(撤去)	

事務室	
F402	× 1

倉庫	
F401	× 2



便所	
O24	× 7
P401	× 2

平面図 1:100

資料室	
K65	× 22
L36	× 17
M60	× 8
N401	× 2

———	VVF2.0-2C
///	VVF1.6-3C
———/———	VVF1.6-2C×2
———	ライティングダクト

住空間デザイン
KANNON

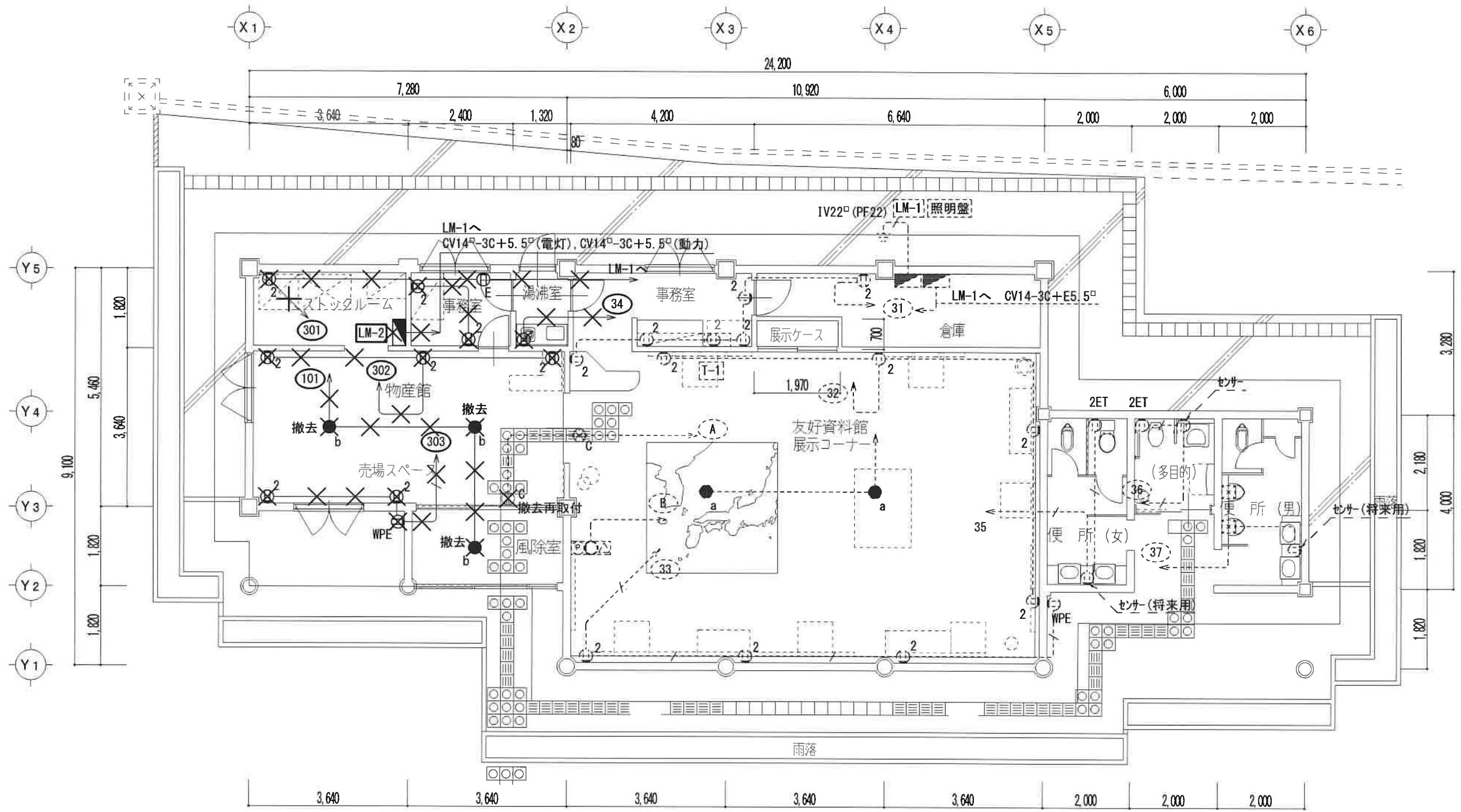
カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

1級建築士登録第304900号
安谷潔美

承認	管理技術者	担当	作図
安谷	安谷	安谷	小村

縮尺	1/100
設計年月日	2026.4

工事名称	日韓友好資料館サウスステーション模様替え工事
図面名称	電灯設備 撤去図



物産館	
b9	× 2
c20	× 1

風除室	
b9	× 1

平面図 1:100

資料館	
a13	× 2
c20	× 1

——	VVF2.0-2C
—— / ——	VVF2.0-2C+E1.6

住空間デザイン
KANNON

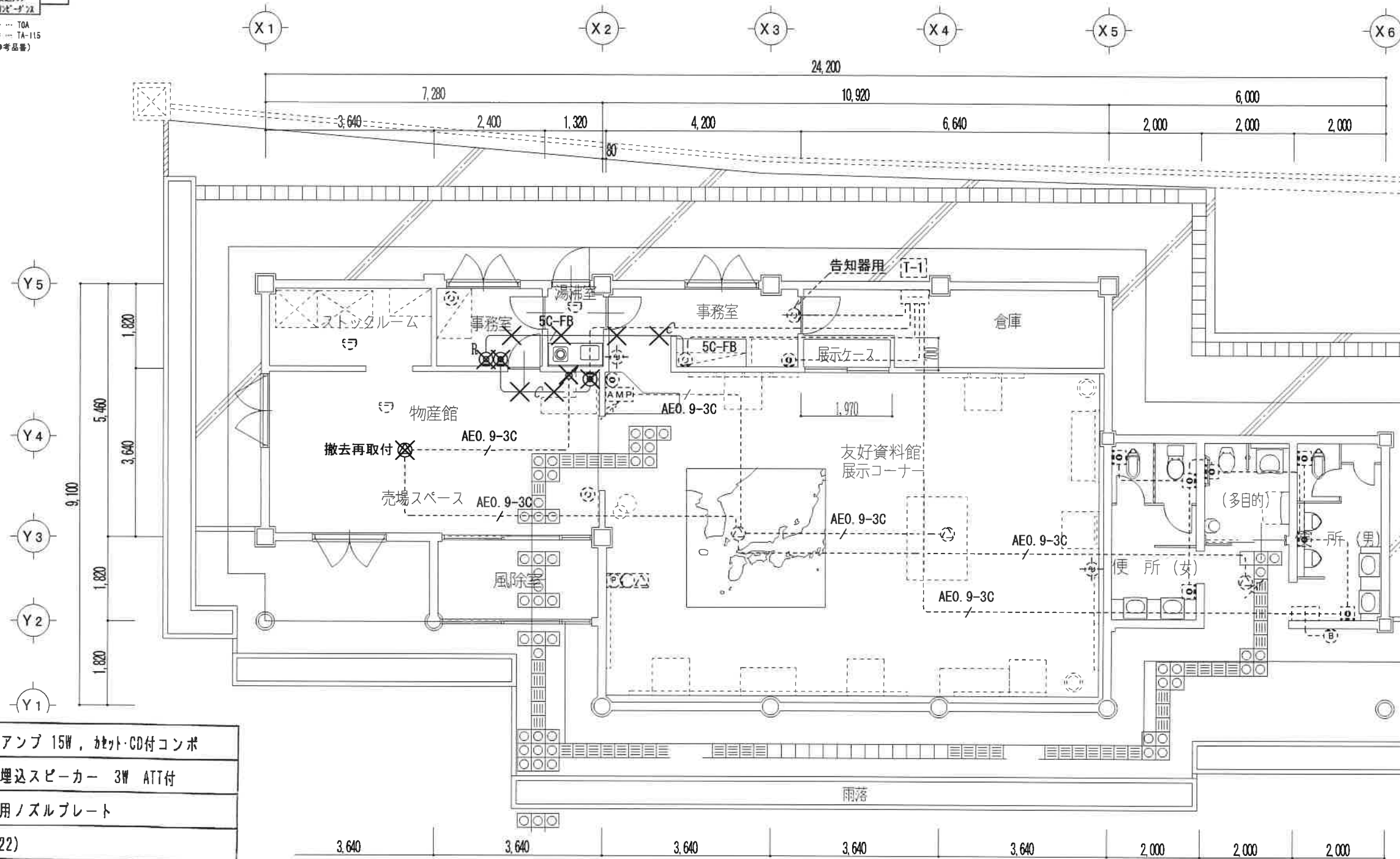
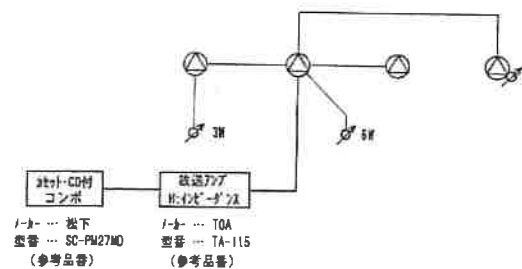
カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

1級建築士登録第304900号
安谷潔美

承認	管理技術者	担当	作図
安谷	安谷	安谷	小村

縮尺	1/100
設計年月日	2026.4

工事名称	日韓友好資料館サウスエントランス模様替え工事
図面名称	コンセント設備 撤去図



AMP	放送アンプ 15W, カセット・CD付コンボ
🔊	天井埋込スピーカー 3W ATT付
📞	電話用ノズルプレート
PF (22)	
TV	TVユニット 中間
TV ^R	" 端末
🔍	
🔍	複合装置
🔥	消火器 (アルミ) ABC-B型 設置台付 (別途)
📡	感知器 (警備会社用) (別途)

※警備及び感知器撤去取付、配線工事は別途とする。

🔍	非常警報制御盤
🔍	警報ブザー フリッカーランプ付
🔍	非常呼出押鈕
—	VVF 1.6-20

住空間デザイン
KANNON

カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

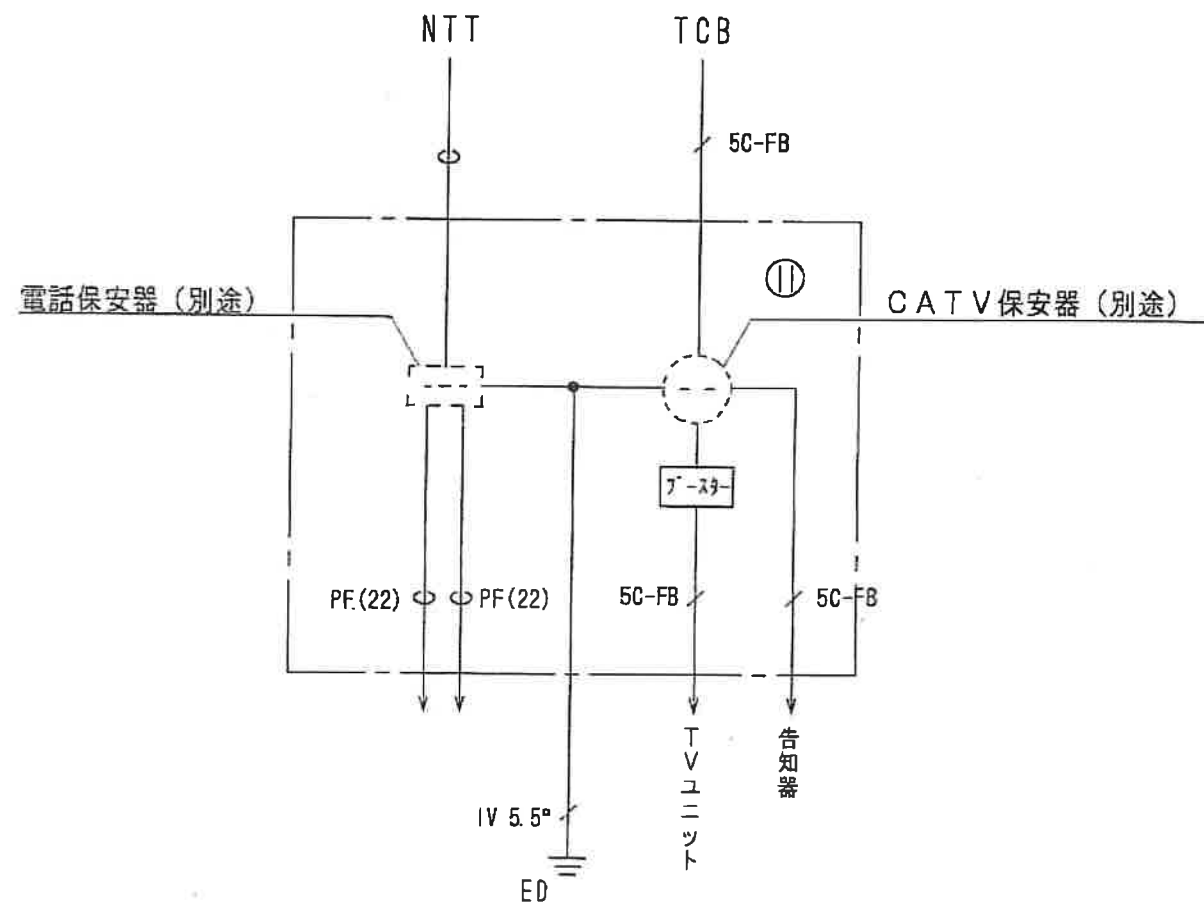
1級建築士登録第304900号
安谷潔美

承認	管理技術者	担当	作図
安谷	安谷	安谷	小村

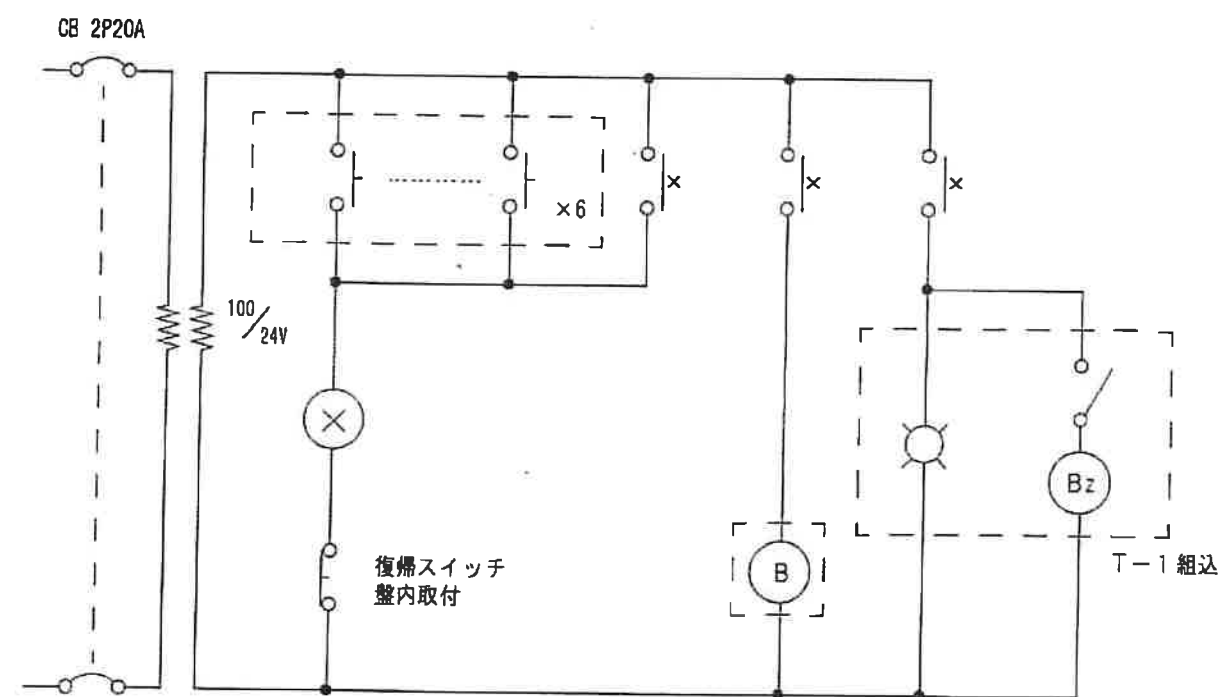
縮尺	1/100
設計年月日	2026. 4

工事名称	日韓友好資料館改修工事模様替え工事
図面名称	弱電設備 撤去図

図面番号	E-09
14	

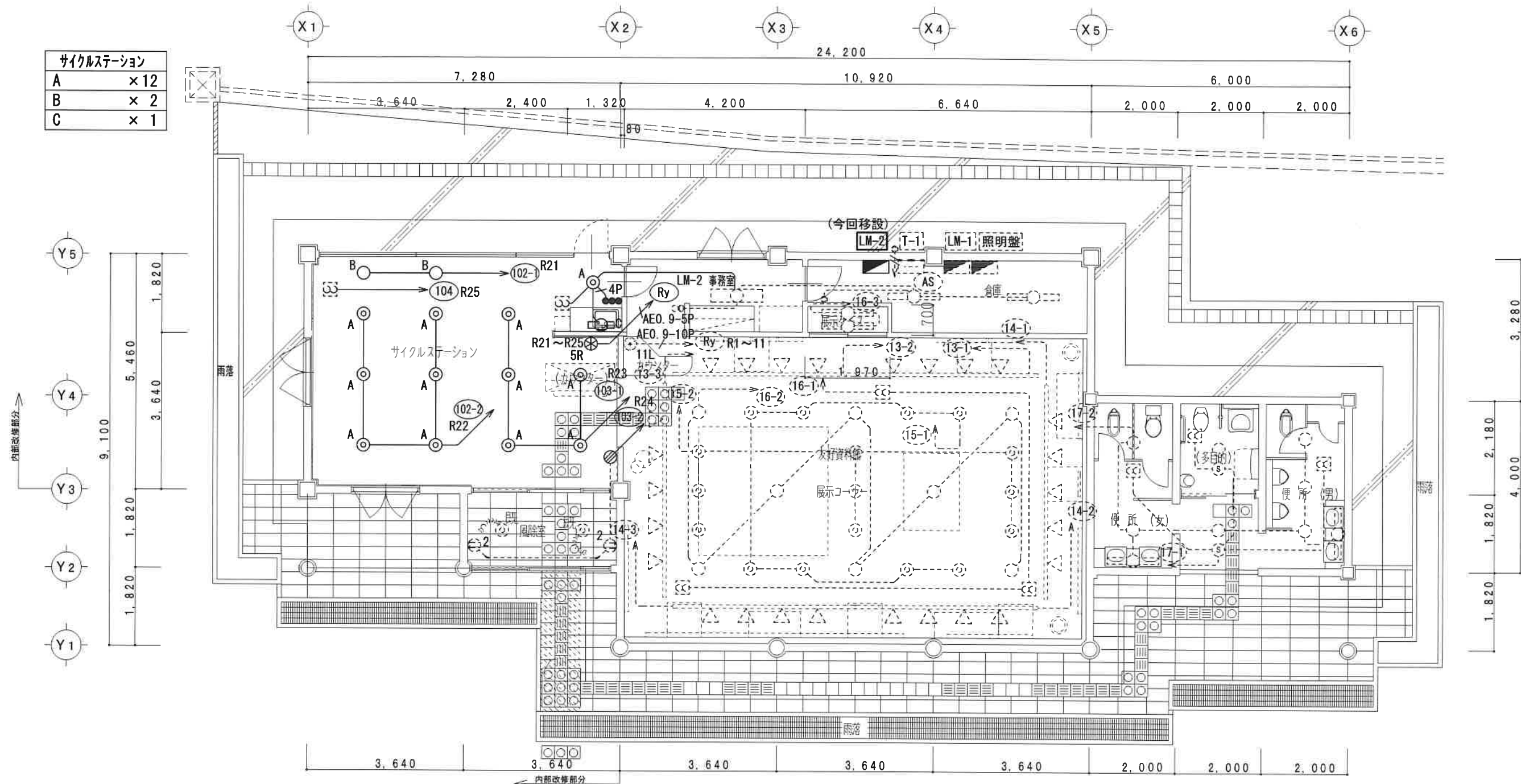


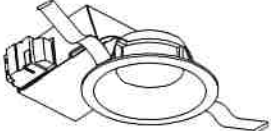

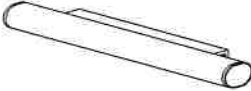
T-1 壁掛，露出型



非常警報制御盤 壁掛，露出型

サイクルステーション	
A	× 12
B	× 2
C	× 1



A	LED13.4W	12	B	LED電球 4.2W	2	C	LED11W	1
	吹抜け・傾斜天井			ペンダント			ブラケット	
 <p>消費電力13.4W 定格光束1300lm 色温度3500K Ra83 施工寸法 φ100mm H=80mm</p> <p>DDL-4971AWG</p>			 <p>消費電力 4.2W 定格光束 410lm 色温度 2700K Ra82</p> <p>DPN-39935YE</p>			 <p>消費電力11W 定格光束890lm 色温度2700K Ra95</p> <p>DBK-40424Y</p>		

—	EM-EEF2.0-2C
///	EM-EEF1.6-3C
/4	VVF1.6-2C×2
—	ライティングダクト

改修平面図 1:100

住空間デザイン
KANNON

カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

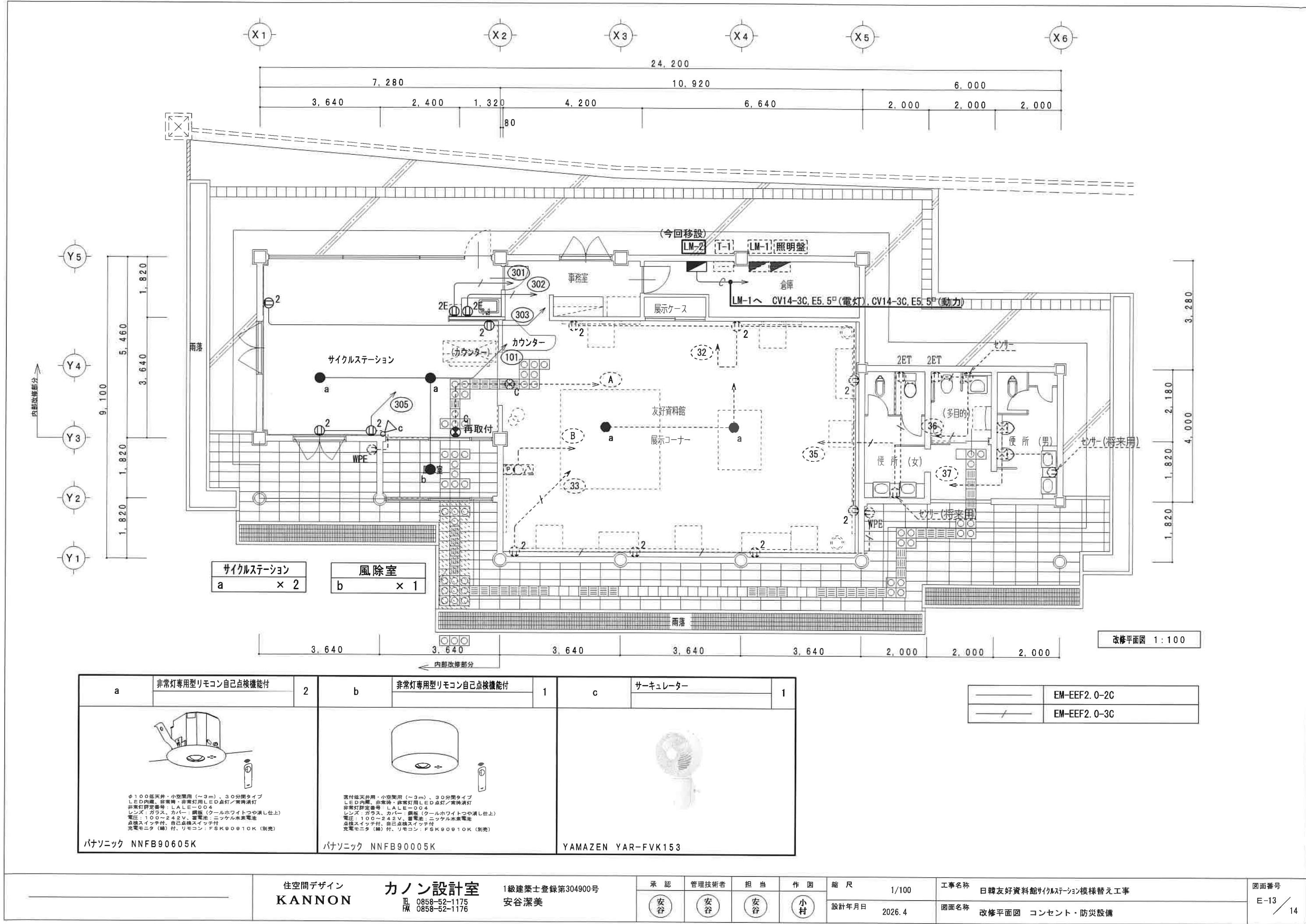
1級建築士登録第304900号
安谷 深美

承認 安谷
管理技術者 安谷
担当 安谷
作図 小村


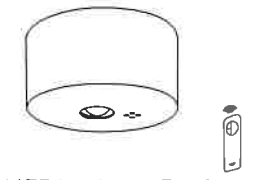

縮尺 1/100
設計年月日 2026.4

工事名称 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事
図面名称 改修平面図 電灯設備

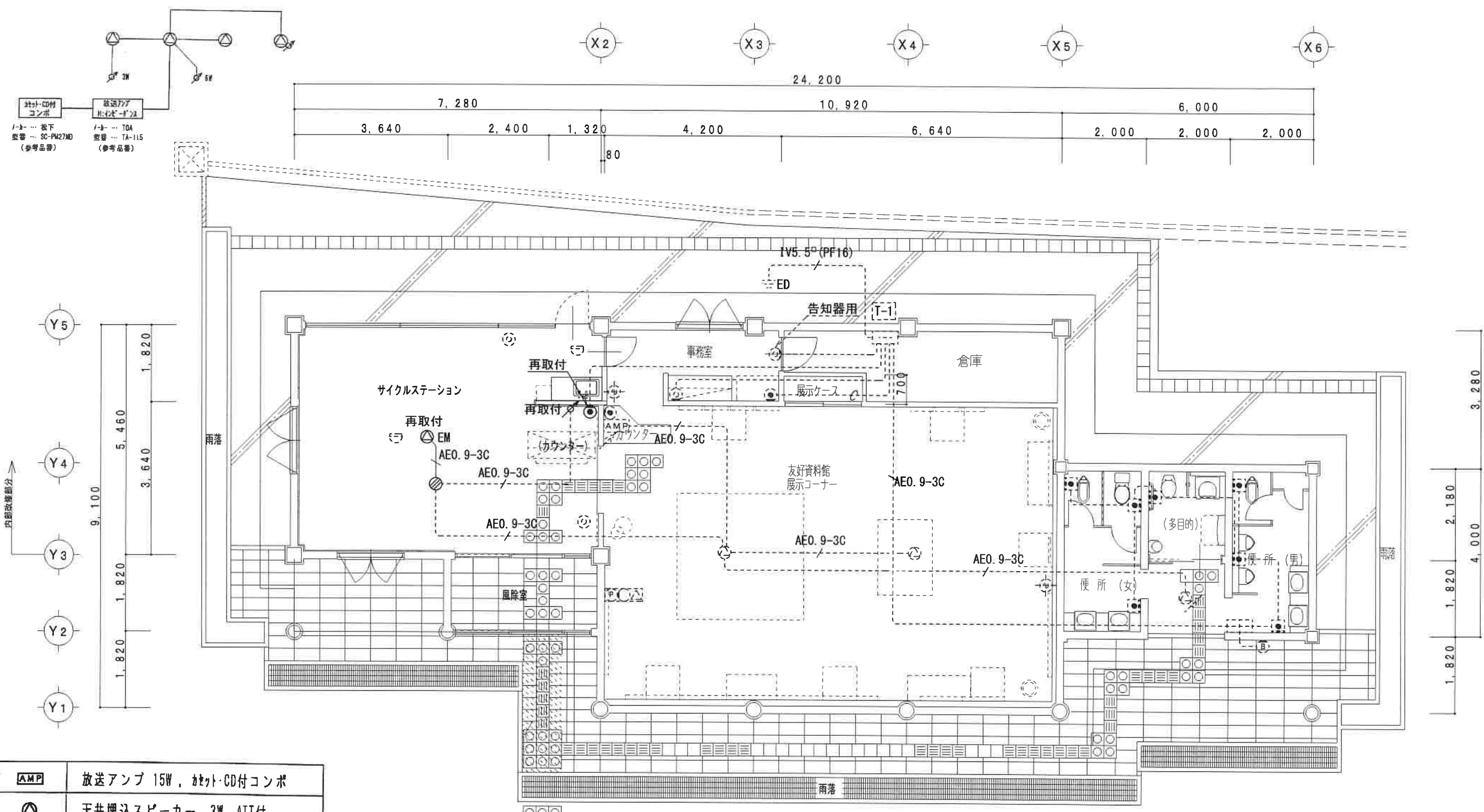
図面番号
E-12
14



改修平面図 1:100

a	非常灯専用型リモコン自己点検機能付	2	b	非常灯専用型リモコン自己点検機能付	1	c	サーキュレーター	1
 <p>φ100 低天井・小空間用 (～3m)・30分間タイプ LED内蔵・非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯許容番号: LALE-004 レンズ: ガラス、カバー: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧: 100～242V、蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニター (緑) 付、リモコン: FSK90910K (別売)</p>			 <p>直付低天井用・小空間用 (～3m)・30分間タイプ LED内蔵・非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯許容番号: LALE-004 レンズ: ガラス、カバー: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧: 100～242V、蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニター (緑) 付、リモコン: FSK90910K (別売)</p>			 <p>YAMAZEN YAR-FVK153</p>		
パナソニック NNFB90605K			パナソニック NNFB90005K					

—	EM-EEF2. 0-2C
—	EM-EEF2. 0-3C



AMP	放送アンプ 15W, ネット・CD付コンボ
Ⓜ	天井埋込スピーカー 3W ATT付
⊙	電話用ノズルプレート
—○—	PF (22)
⊙	TVユニット 中間
⊙ ^R	" 端末
⊙	
Ⓜ	複合装置
Ⓜ	消火器 (アルミ) ABC-6型 設置台付 (別途)
Ⓜ	感知器 (警備会社用) (別途)

※警備用センサ及び感知器撤去取付及び配線工事は別途とする

改修平面図 1:100

Ⓜ	非常警報制御盤
Ⓜ	警報ブザー フリッカーランプ付
Ⓜ	非常押出押釦
—	VVF 1.6-2C

東伯郡琴浦町別所地内

(◎ 印の付いたものが対象工事種目)

◎ 印の付いたものを適用する。

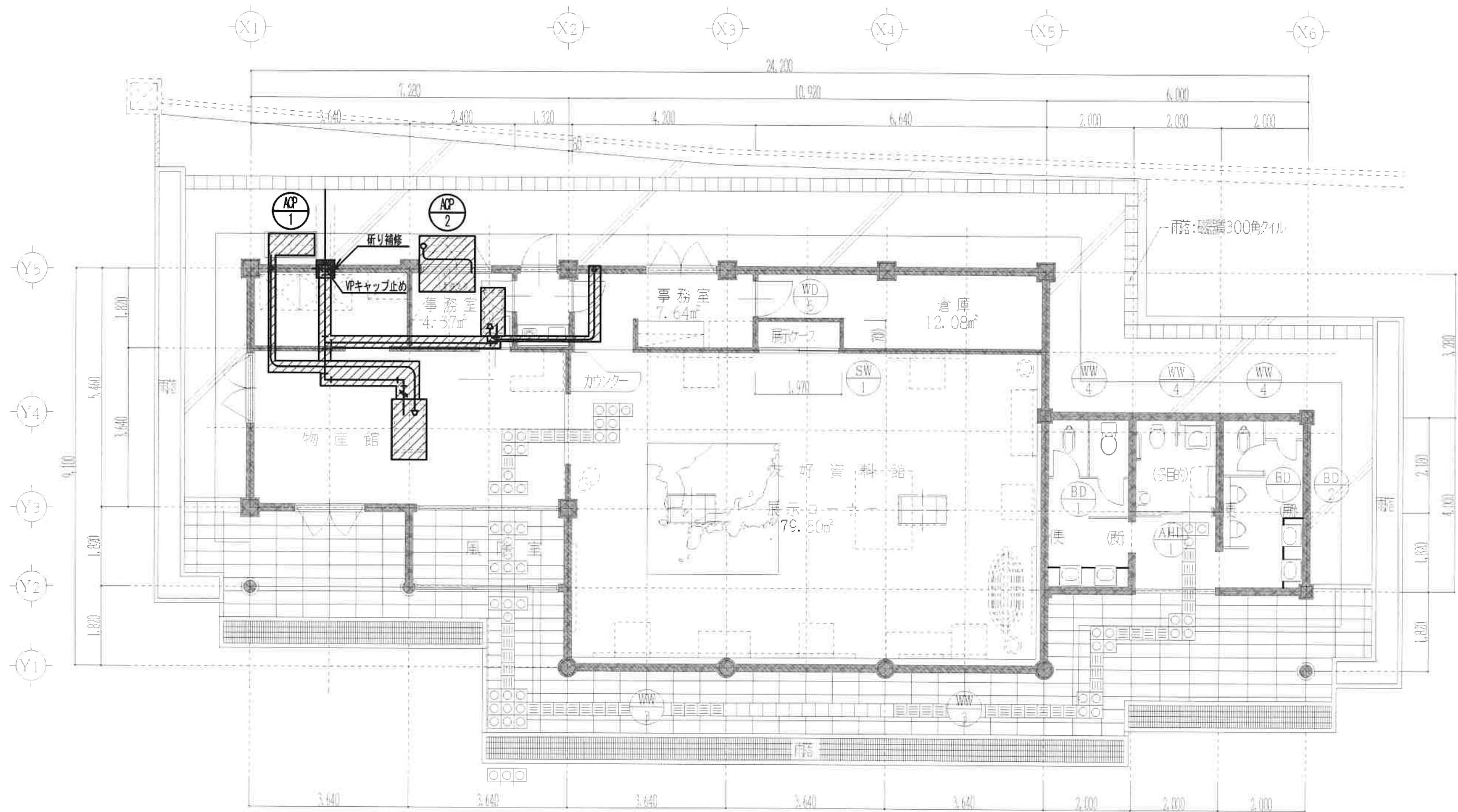
1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		承認 安谷	管理技術者 安谷	担当 安谷	作図 安谷	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO M — 1
DATE R8.4	CHIEF	DRAW	KANNON					S 1:1 特記仕様書(1)	DRAWING NO

20 保温工事	(イ) 建設発生土処分	● 構外に露出	● 構内に敷ならし	● 構内の指示する場所に堆積
	● 温水管	(● ロックウール	● グラスウール	● ポリスチレンフォーム ●)
	● 蒸気管	(● ロックウール	● グラスウール	●)
	① 給水管	(● ロックウール	● グラスウール	● ポリスチレンフォーム
		② 保温チューブ (厚さφ 10)	●)
	● 排水管	(● ロックウール	● グラスウール	● ポリスチレンフォーム ●)
	● 給湯管	(● ロックウール	● グラスウール	● 保温チューブ (厚さφ))
	● 消火管	(● ロックウール	● グラスウール	● ポリスチレンフォーム ●)
	● ダクト	(● ロックウール	● グラスウール	●)
	● 燃焼熱源等機械室内の配管	(● ロックウール	● グラスウール)	
	● 全熱交換機の給気ダクト	(● 機器外気側	● 機器室内側)	は保温 (グラスウール25mm厚) する。
	① 冷媒管の保温外装	屋内 (● 樹脂製化粧ケース	● 合成樹脂製シート ●)	
		屋外 (● 樹脂製化粧ケース	② SUS鋼板 ●)	
21 鋼管類の防食処置	地中埋設	● ペトロラタム系	● ブチルゴム系	● 熱収縮チューブ及びシート
22 絶縁継手	● 標準図 (施工3)	● (1)絶縁フランジ	● (2)絶縁シート	● (3)絶縁スリーブ
23 防振継手	※ 合成ゴム製 (球形)	● ポリテトラフルオロエチレン製	● ペローズ形 (ステンレス製)	
24 伸縮管継手	※ ペローズ形	● スリーブ形		
25 塗装	各種塗材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)			
	(ア)埋設されるもの (ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面			
	(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属風雨管、鋼製架台及び支持金物類			
	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面			
	(キ)アルミ、ステンレス、鋼、溶融アルミニウム－亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面			
	(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面			
	(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管			
	● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ()			
26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60S以下の継手は、SAS322を満足するものとする。			
27 溶接配管の検査	● ガス配管	● 冷温水配管	● 冷却水配管	
	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)			
	抜 取 率 (● 標準仕様書による ● %)			
28 埋設表示	● 地中埋設位置を図示する箇所に設ける。			
	● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●)			
29 支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。			
	屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。			
30 総合試験調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。			
	① 湿度	● 湿度	● 風量	● 騒音
	② 水量	● 浄化槽放流水質		
	● 風速	● じんあい	● 飲料水水質 (● 一般飲料水適否検査 ●)	
	● その他水質等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●)			
31 アスベスト含有塗材の処理	処理を行うアスベスト含有塗材の仕様等			
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲	
	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。			
	※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。			
	● 施工調査 (分析によるアスベスト含有塗材の調査) を行う。			
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。			
	● アスベスト粉じん濃度測定を行う。			
	(測定時期：	測定場所：	測定点：	
	● 洗浄設備 (洗濯、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。			
	● 作業場の発生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。			
	対象箇所 ()			
	工事の施工に伴い既成部分が汚染又は損傷した場合は、既成にならひ補修する。			
	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。			
	探査方法	※電磁誘導式	● 放射線透過検査	
	実施する。			
	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。			
	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[観ね工期+21日]とする。)			
	グリーン購入は次のものとする。			
	● 空調用機器 (エアコン)	● 衛生器具 ()		
	● 断熱材 ()	● 配管材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管)		
	● その他 ()			
38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事			
39 建築物省エネ法	対象工事			
40 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。			
	(1) 機器の据付け及び取付け			
	設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN] に、地域係数と次に示す設計用標準水平露度を乗じたものとする。			

設計用標準水平露度	● 特定の施設	● 一般の施設
設置場所	● 重要機器	● 一般機器
上 層 階	機 器	2. 0 1. 5 1. 5 1. 0
屋上、塔屋	防振設置機器	2. 0 2. 0 2. 0 1. 5
	水 槽 類	2. 0 1. 5 1. 5 1. 0
中 間 階	機 器	1. 5 1. 0 1. 0 0. 6
	防振設置機器	1. 5 1. 5 1. 5 1. 0
	水 槽 類	1. 5 1. 0 1. 0 0. 6
地階・1階	機 器	1. 0 0. 6 0. 6 0. 4
	防振設置機器	1. 0 1. 0 1. 0 0. 6
	水 槽 類	1. 5 1. 0 1. 0 0. 6
上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階		
中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの		
重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置		
● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類 (燃料小出槽を含む)		
● ()		
(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。		
(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」((一財) 日本建築センター) を参考にする。		

1 設計用温度湿度条件		室 内 (調査目録値)
	外気条件	一 般 ()
	温 度 湿 度	温 度 湿 度 温 度 湿 度
	(DB) (RH)	(DB) (RH) (DB) (RH)
夏 季	℃ %	℃ % ℃ %
冬 季	℃ %	℃ % ℃ %
※ SGP (白) ● SGP-V A ● SGP-P A		
※ SGP (白) ● SGP-H V A ● ステンレス鋼管 (SUS304)		
● 兼備ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る)		
※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)		
※ SGP (黒)		
※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)		
一般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管		
※ 断熱材被覆鋼管		
● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●		
※ SGP (白) ④ V P		
※ 5 K ● 10 K		
※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。		
(ア) 防塵ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式		
(イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●		
※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト		
● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)		
(長さ1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。)		
● アングルフランジ工法		
● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。		
ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製		
シーリングディフューザーの接続は、標準図 (施工49) を参考とする。		
接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。		
鋪設吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300Hの接続チャンパーを設ける。		
外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。		
吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。		
内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。		
吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口 (原則400×600) を取付ける。		
形式はビトー管式 (コック付) とする。 ● 潜脱式 ● 固定式		
下記の箇所、若しくは図示により取付ける。		
● 冷凍機種の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング		
● 冷凍機種の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング		
● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング		
● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング		
● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング		
● メカニカル形 ● 風速センサー形		
機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計		
空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。		
※ 手動 ● 自動		
自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38 (g))		
機械室の手動式空気抜き配管の保溫は分岐から2mの範囲とする。		
トラップ形式はフロートボール式 (床型型) ※ FRP製保溫型 ● FRP製 ● SUS製		
材質及び厚さ ● SS400 (※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS (※ 1.5mm ● 3.0mm)		
煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける		
煤じん量測定口 (φ 0 φ × 2) ※ 取付ける ● 取付けない		
油面計はゲージ式 (鋼針計) とする。		

25 地下オイルタンク	据付け方法	● 標準図 (施工32) (二重壁タンク・タンク室無し)	● 標準図 (施工33) (タンク室有り)
	タンクの保護被覆	※ 強化プラスチック	● エポキシ樹脂 ● アスファルト
	基礎杭	※ 不要	● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)
	土留め工事	● 要	● 不要
	タンクローリー用アース端子を設ける。		
	油面制御装置の機能	● 給油ポンプの起動停止	● 満油警報 ● 減油警報 ●
	● 機器表特記による。		
	● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。		
	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。		
	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。		
1 ダクト	※ 亜鉛鉄板製	● 鋼板製 (厚1.6mm)	
2 排煙口	形状	● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形	
3 排煙口開放及び復帰方式	取付け	● 天井取付 ● 壁取付	
4 排煙風量測定	電気式 (遠隔操作	※ 不要	● 要)
	建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の検査方法に準ずる。		
○	1 中央監視制御盤装置	● 有り (構成機能は、図示による)	● 無し
	2 電源装置	● 要 (● 本工事 ● 別途工事)	● 不要
	3 温度調節器等	取付高さ	※ 1300mm ● mm
	④ 計装工事の配線	● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	
	● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。		
○	① 衛生器具の参考型番	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。	
	2 小便器用節水装置	※ 小便器一体型	● 小便器分離型
		● 洗浄水量4リットル／回以下	
	※ 留別感知方式 (● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池)	● 手動式	
	3 自動水栓	電源供給方式	● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池
	4 大便器洗浄弁	操作方式	● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)
		● 手動式	
	5 温水洗浄便座	洗浄用水加温方式	● 開閉式 ● 貯温式
	6 器具と排水管接続	※ 標準図 (施工64)	● 標準図 (施工65)

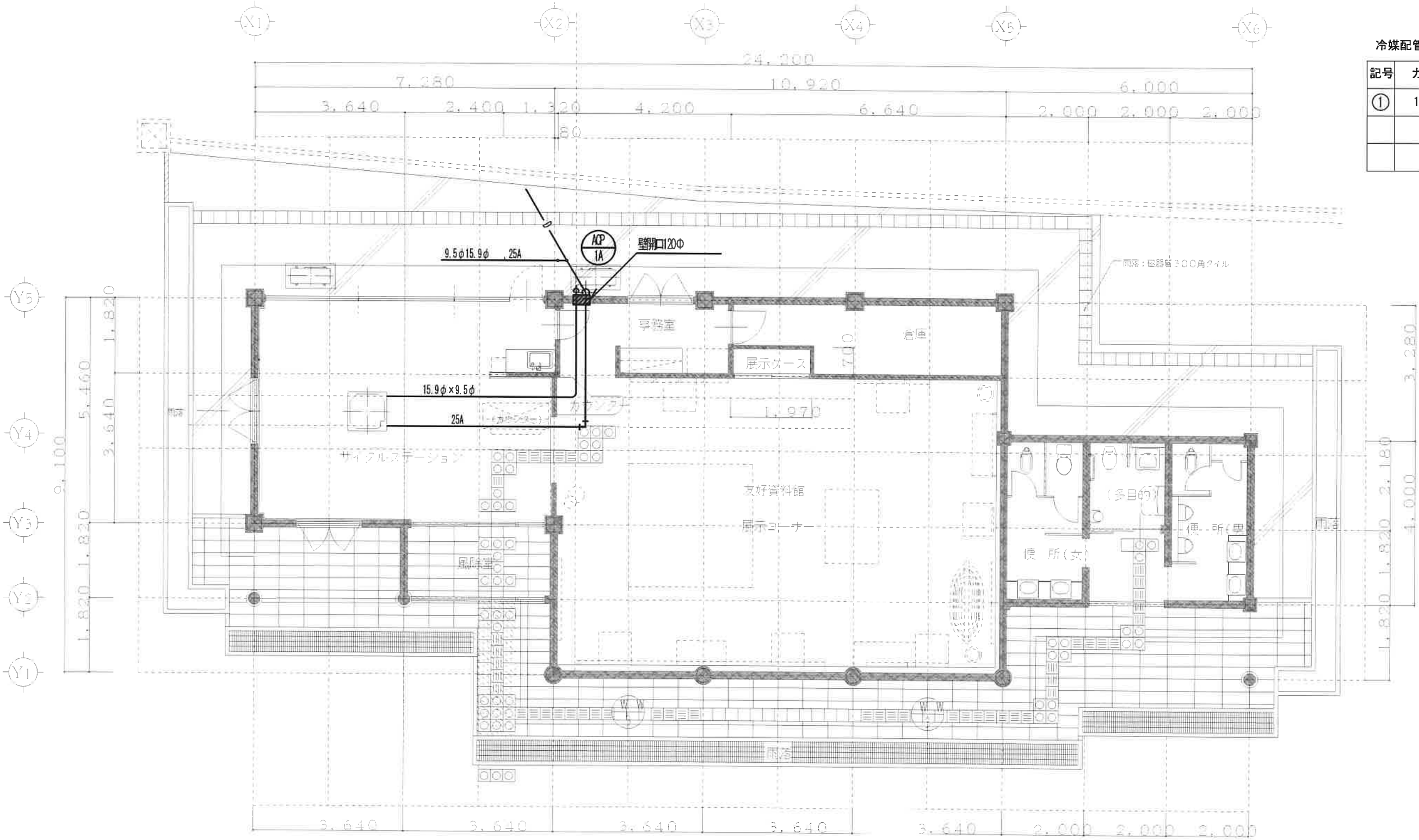


平面図 1:100

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン				カノン設計室				承認				管理技術者				担当				作図				TITLE				NO			
DATE				CHIEF				KANNON				安谷				安谷				安谷				河本				日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事				M-3			
R8.4								TEL 0858-52-1175																				改修前空調機器撤去平面図				9			
								FAX 0858-52-1176																				S							
																												1:100							

冷媒配管表

記号	ガス管	液管
①	15.88φ	9.52φ



改修平面図 1:100

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON				カノン設計室				承認 安谷				管理技術者 安谷				担当 安谷				作図 河本				TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事				NO M-4 / 9			
DATE R8.4				CHIEF				DRAW				TEL 0858-52-1175				FAX 0858-52-1176				改修後空調設備平面図				S 1:100											

改 修 前 機 器 表

記 号	名 称	仕 様	電 気	数量	備 考
FE-2	天井埋込形換気扇 低騒音タイプ	風 量 360m3/h×60Pa 消費電力 60.0W	1φ-100V	1	物産館
FE-3	天井埋込形換気扇 低騒音タイプ	風 量 60m3/h×20Pa 消費電力 15.0W	1φ-100V	1	事務室
FE-4	天井埋込形換気扇 低騒音タイプ	風 量 40m3/h×20Pa 消費電力 20.0W	1φ-100V	1	湯沸室

改 修 後 機 器 表

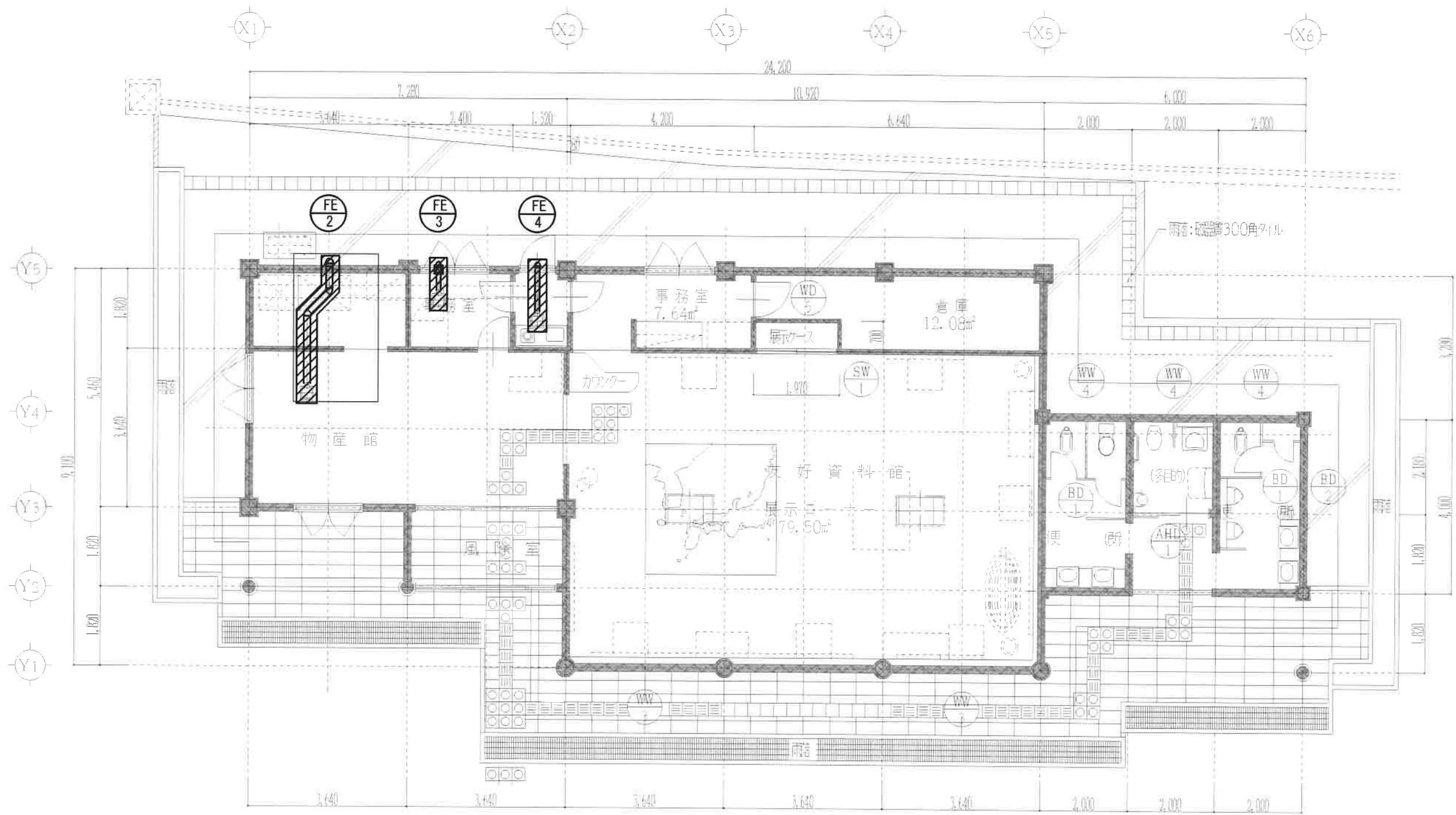
記 号	名 称	仕 様	電 気	数量	備 考
FE-1	天井埋込形換気扇 低騒音タイプ	風 量 200m ³ /h×55Pa 消費電力 35.5W	1φ-100V	1	VD-18ZLSC14-S (参考品番)
		付属品 SUS深形フード 重塩害+指定色(防虫網付)・天吊金具共			サイクルステーション
FE-2	天井埋込形換気扇 低騒音タイプ	風 量 100m ³ /h×40Pa 消費電力 15.5W	1φ-100V	1	VD-13ZLC14-S
(24時間換気)		付属品 SUS深形フード 重塩害+指定色(防虫網付)・天吊金具共			サイクルステーション
		コントロールスイッチ(強・弱タイプ)※電気設備へ支給、			(参考品番)

特 記 事 項

1. ベントキャップ壁貫通部は既存の開口を再使用とする。
2. ベントキャップ撤去後の開口補修は建築工事とする。
3. ☑ 部分は撤去とし、マニフェスト提出とする。

建築基準法による換気設備計算（第3種換気方式による）

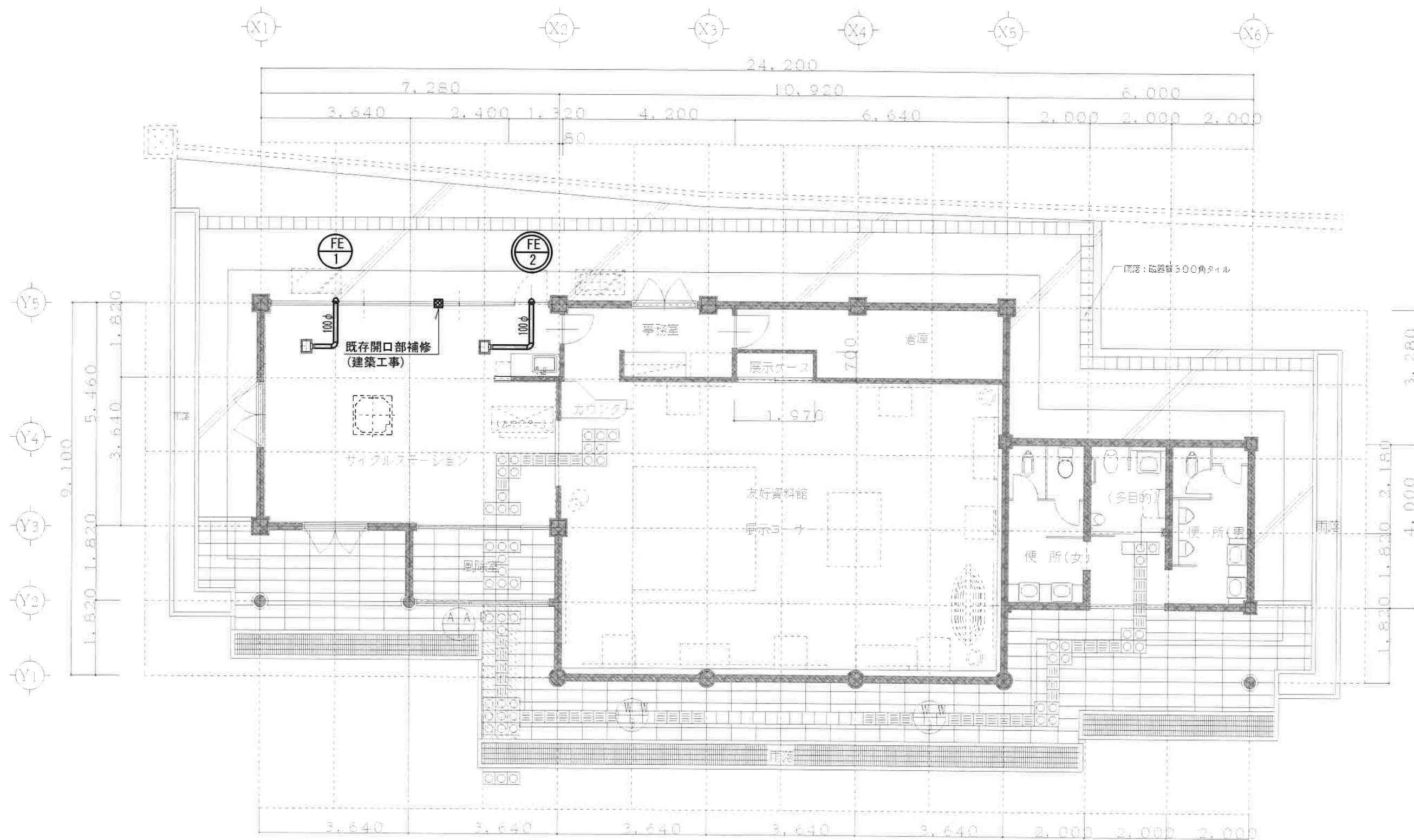
室 名	床 面 積 Af (㎡)	天 井 高 さ (m)	室 容 積 Q (m3)	換 気 量 の 算 定		換 気 扇 能 力 (m3/h)	換 気 回 数	選 定 換 気 扇	備 考
				換 気 回 数 に よ る (V=QN)					
				換 気 回 数 N(回/h)	必 要 換 気 量 (m3/h)				
物 産 館	39.75	2.7	107.33	15人×20m3/h	260	390	3.63	EF-1・2	収 容 人 数 に 基 ず く 算 定
物 産 館	39.75	2.7	107.33	0.3	32.2	130	0.45	EF-2	24時 間 換 気 弱 運 転



平面図 1:100

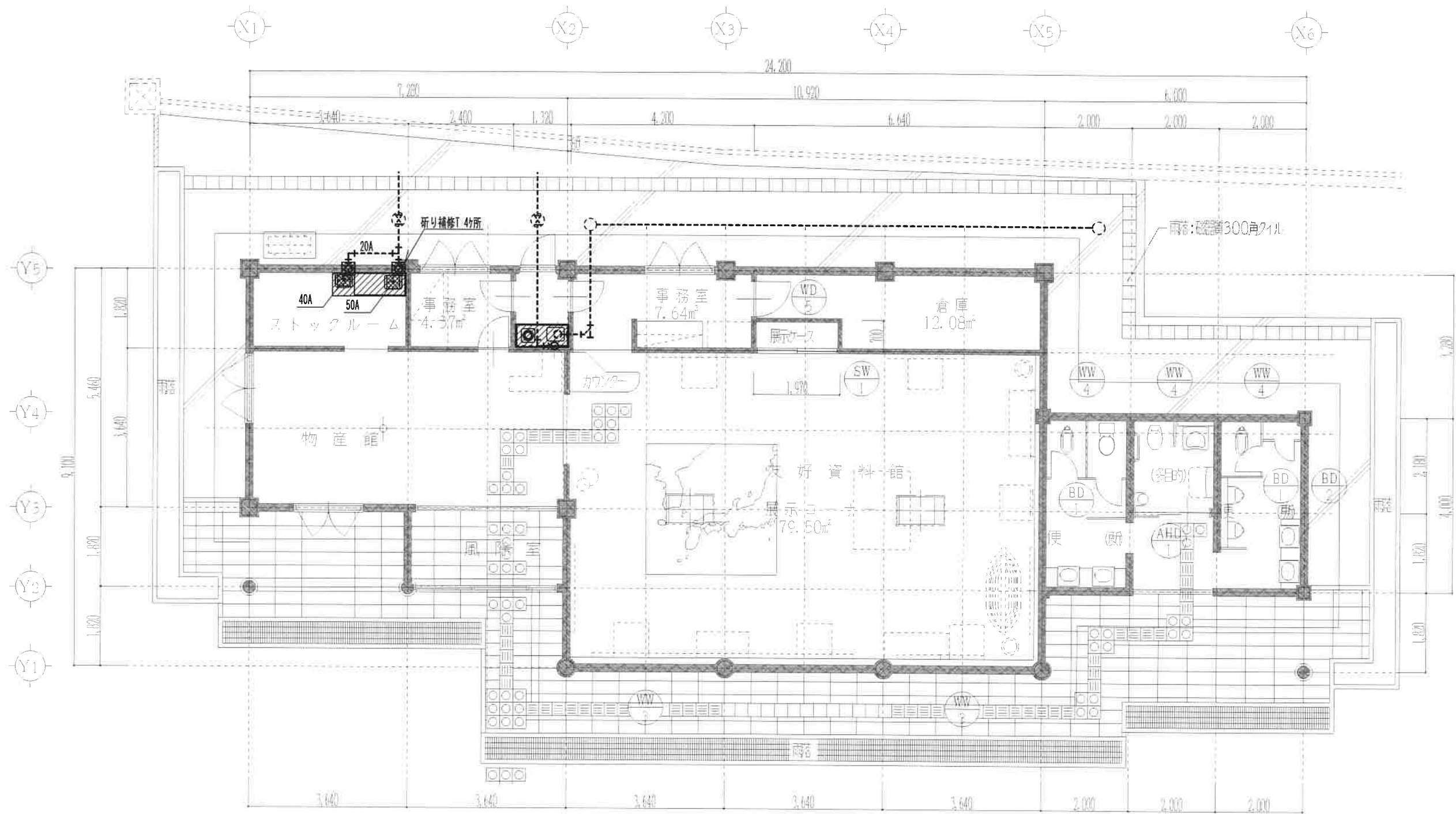
1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	承認	管理技術者	担当	作図	TITLE 日韓友好資料館サリステーション模様替え工事 改修前換気設備撤去平面図	NO M-6 / 9
DATE R8.4	CHIEF	DRAW			安谷	安谷	安谷	河本		

1:100



改修平面図 1:100

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	承認	管理技術者	担当	作図	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 改修後換気設備平面図	NO M-7 / 9
DATE R8.4	CHIEF	DRAW			安谷	安谷	安谷	河本		

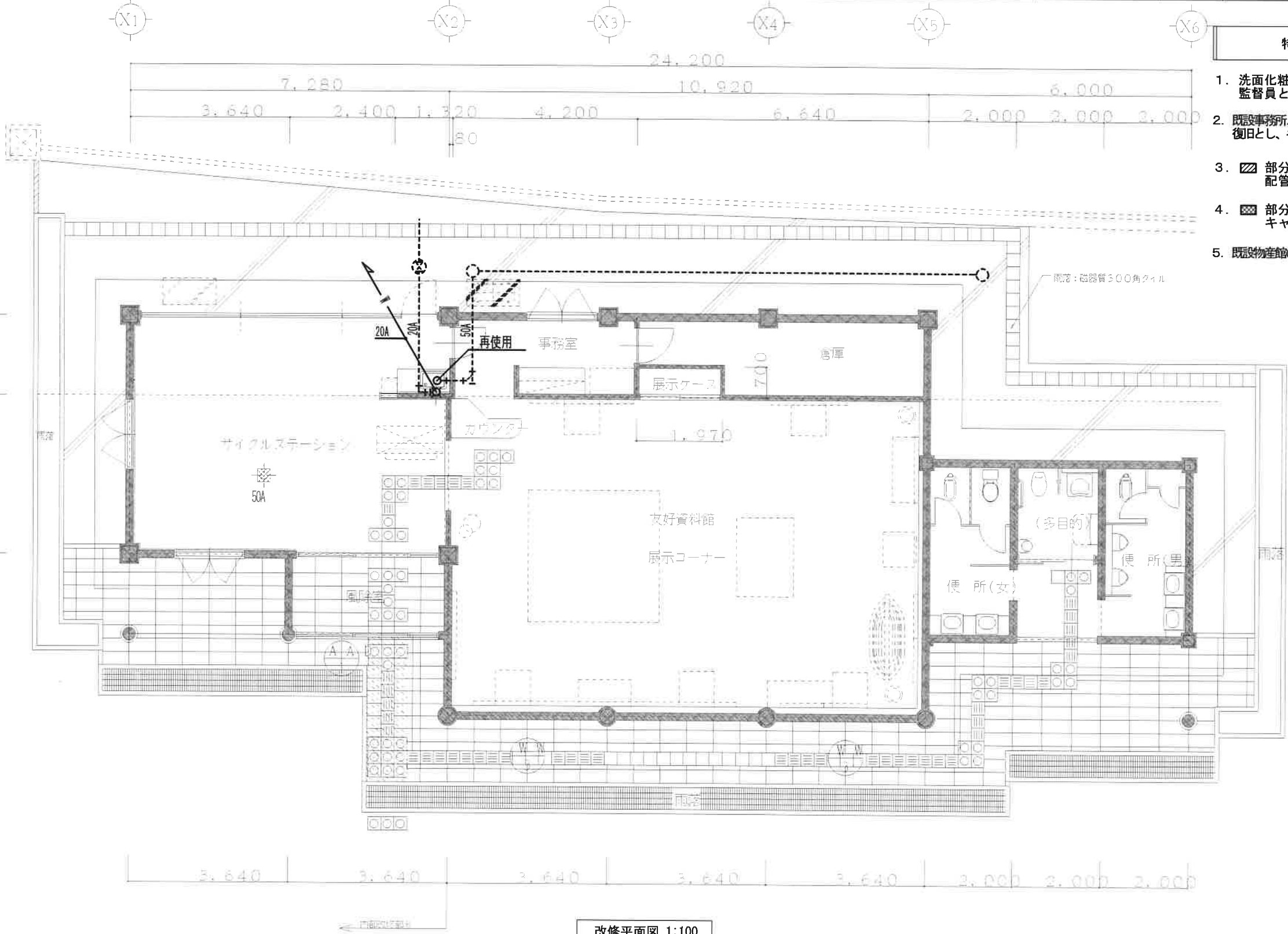


平面図 1:100

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	承認	管理技術者	担当	作図	TITLE 日韓友好資料館サイルステーション模様替え工事 改修前衛生設備撤去平面図	NO M-8 / 9
DATE R8.4	CHIEF	DRAW			安谷	安谷	安谷	河本		

機 具 表

名 称	適 用	備 考	電 気	数 量	部 屋 名
洗面化粧台	LDSZB120BEL626, LTL4D12U, REN622N, LMZB060G4MGG16	2枚扉間口調整棚, 湯ぼっとキット(6L), 床止水栓, L接手, 木枠一面鏡	1φ-100V	1	サイクルステーション



特 記 事 項

1. 洗面化粧台の配管は撤去後、配管位置調査の上監督員と協議し決定とする。
2. 既設事務所、ストックルームの給水・排水は断り復旧とし、キャップ止めとする。
3. [Hatched Box] 部分は撤去(建築工事)とし、配管は切離しは本工事とする。
4. [Hatched Box] 部分は断り復旧とし、配管切断後キャップ(塩ビ管)止めとする。
5. 既設物産館の排水は断り復旧とし、キャップ止めとする。


改 修 前 機 器 表

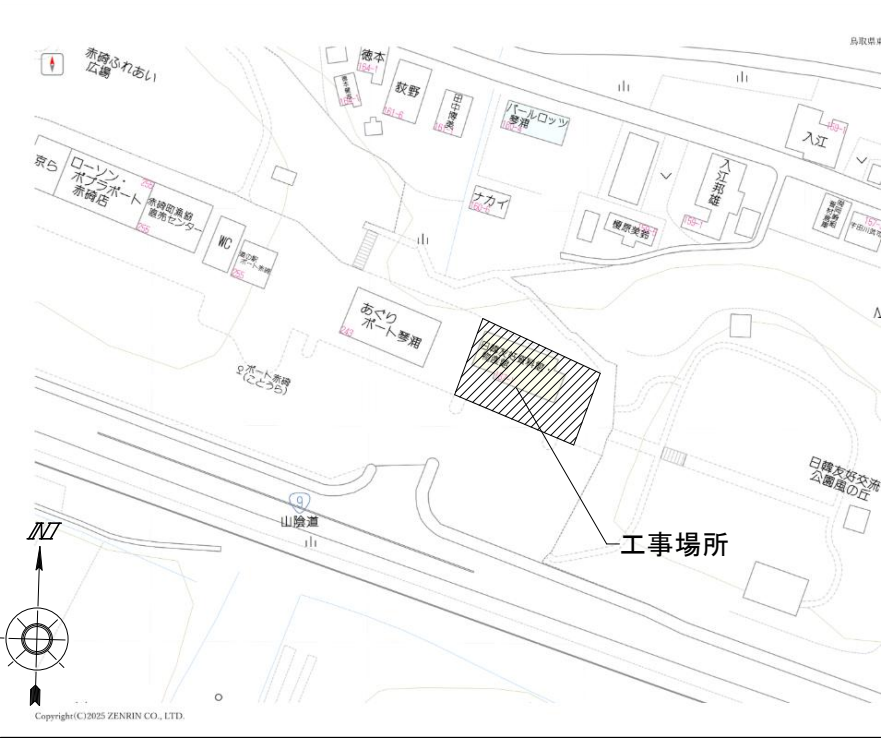
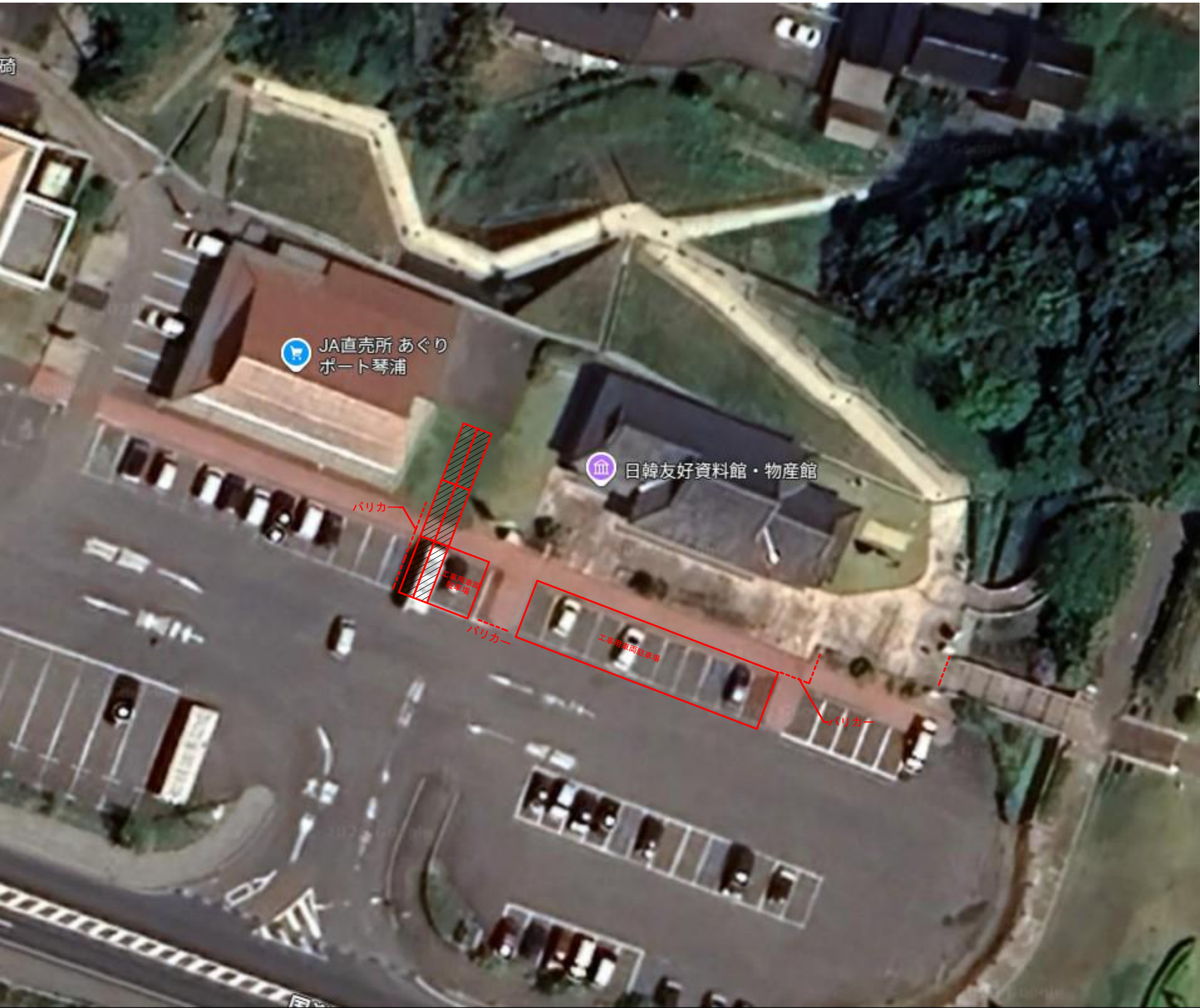
記 号	名 称	仕 様	電 気	数量	備 考
ACP-1	空冷ヒートポンプエアコン	冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW	3φ-200V	1	物産館
(撤去機器)	天井カセット二方向型	圧縮機 1.1KW			(参考品番 FDTWXP634HAG4AG)
		送風機 (内) 0.04KW (外) 0.034			
		室外機架台 (溶融亜鉛メッキ) 耐重塩害仕様			
ACP-2	空冷ヒートポンプエアコン	冷房能力 2.2KW 暖房能力 2.2KW	1φ-100V	1	事務室
(撤去機器)	壁掛け型	圧縮機 0.6KW			(参考品番 MSZ-GV2222)
		送風機 (内) 0.028KW (外) 0.022			※撤去・再使用

改 修 後 機 器 表

記 号	名 称	仕 様	電 気	数量	備 考
ACP-1A	空冷ヒートポンプエアコン	冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW	3φ-200V	1	サイクルステーション
	天井カセット四方向型	圧縮機 3.0KW			(参考品番 FDTV1406H6S)
		送風機 (内) 0.12KW (外) 0.144KW			
		室外機重耐塩仕様, 室外機架台 (溶融亜鉛メッキ), 付属品共			

特 記 事 項

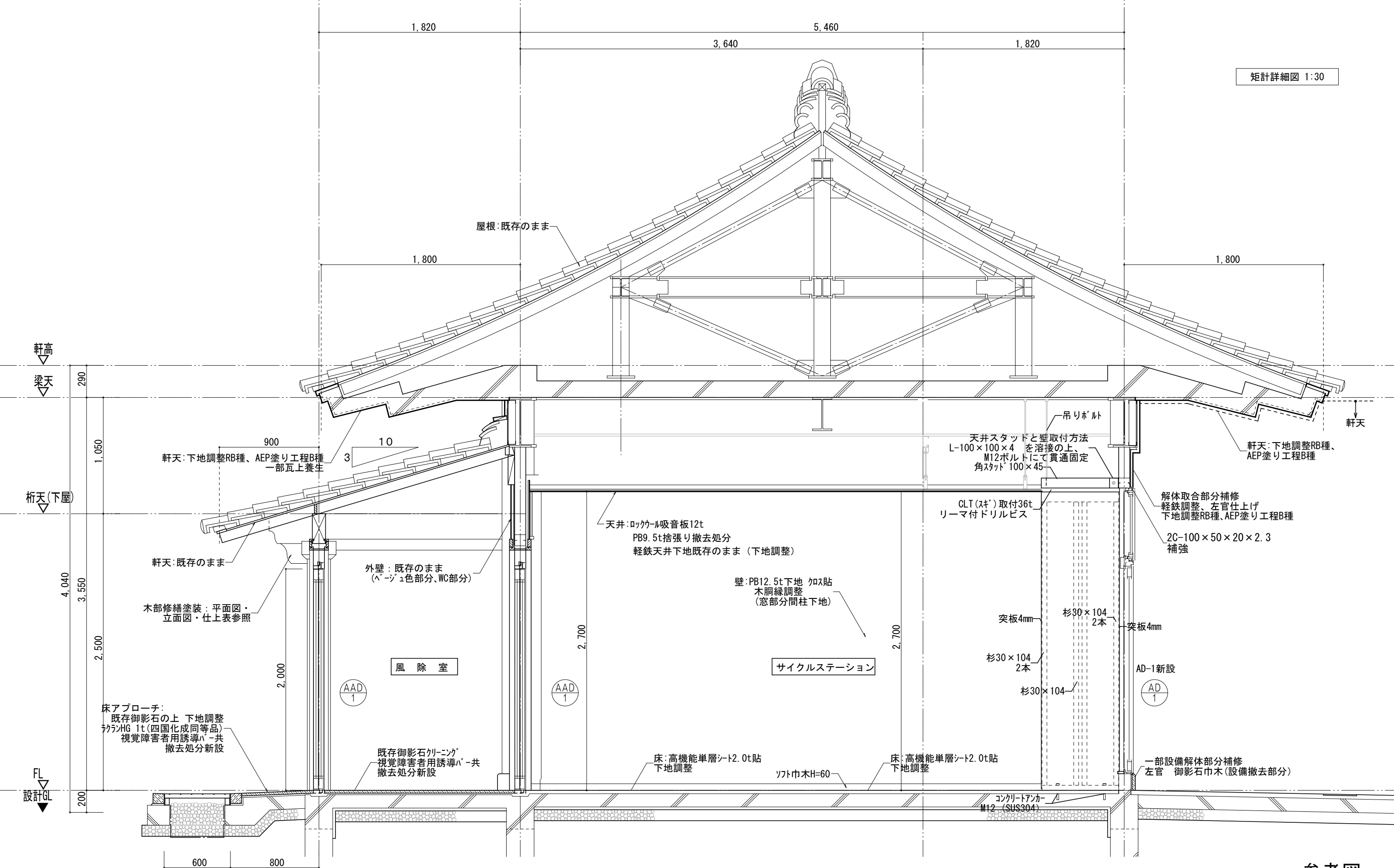
1. 冷媒管サイズは、液管φ9.52（保温厚10mm）／ガス管φ15.88（保温厚20mm）とする。
2. 室内機用屋内ドレン管は、結露防止層付硬質塩化ビニール管とする。
3. 屋外 冷媒管・ドレン管は、樹脂製保温化粧ケース（参考：スレリムダクトSD）保護とする。
4. 屋外ドレン配管は逆止弁取付とし、GL+100とする。
5. 室外機架台は、既存コンクリート基礎にアンカー固定とする。（ケミカルアンカー：M10（SUS）×4本・・・1台）
6. 屋外に使用する固定金具、支持金物等はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
7. 室内外渡り配線は冷媒管共巻きとする。
8.  部分は撤去とし、冷媒ガスは回収破壊処分の上マニフェスト提出とする。
9. 改修前機器のACP-2は、撤去及び再使用もしくはわ保管とし監督員と別途協議とする。



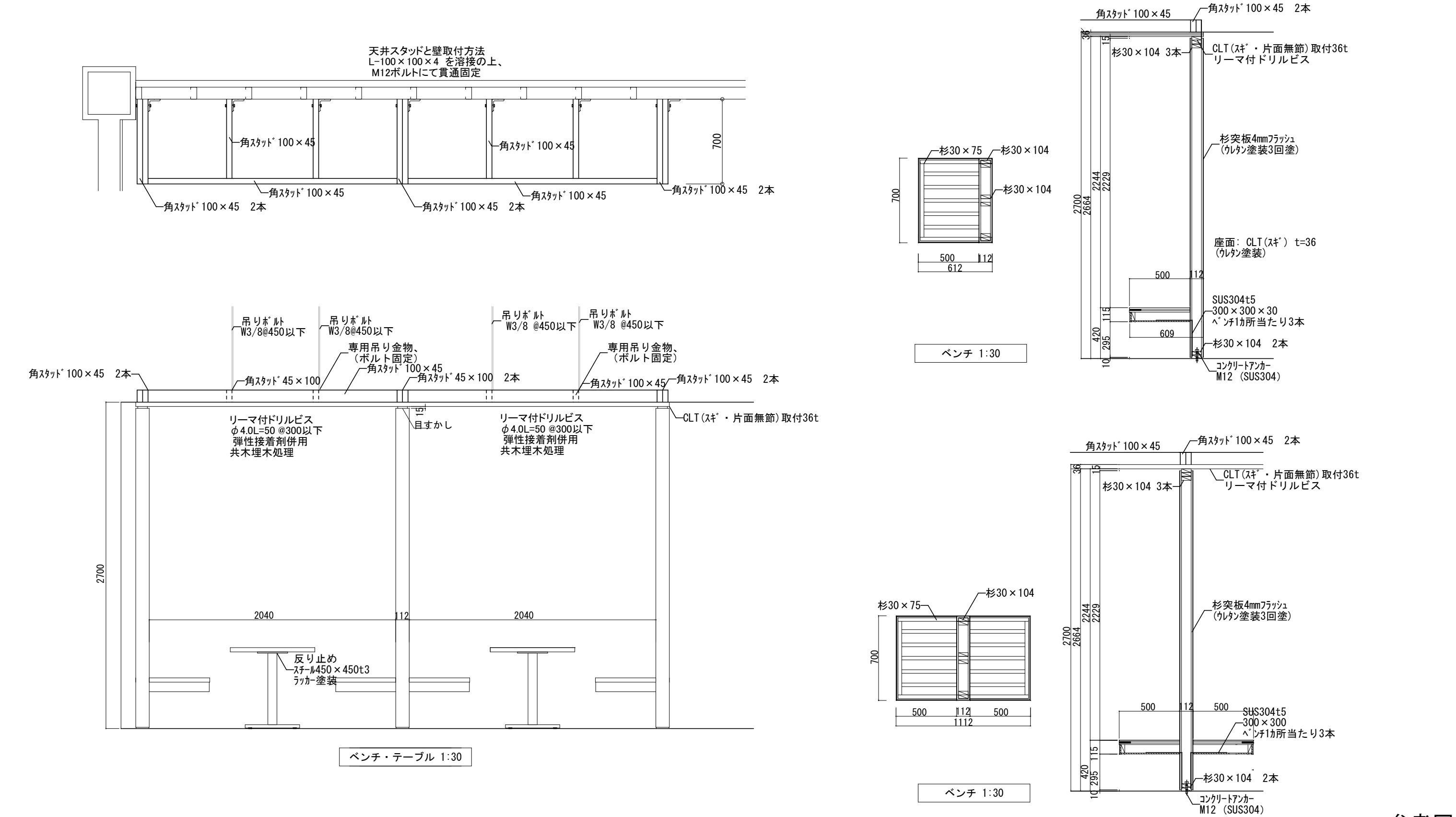
付近見取図

参考図

			1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事		NO A — 3
			DATE R8. 4	CHIEF		DRAW 安谷	付近見取図、仮設計画 1:400	



	1級建築士登録第304900号 安谷 潔 美	住空間デザイン カノン設計室	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A — 23
	DATE R8. 4	CHIEF	DRAW	DRAWING NO
			KANNON TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	S 1:30
			改修矩計詳細図 (家具参考図)	



参考図

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事	NO A —
DATE R8. 4	CHIEF	DRAW 安谷				S 窓側ベンチ・テーブル、天井補強（参考図） 1:30, 15	DRAWING NO